

第4章 長宮遺跡第41地点の本調査

I 遺跡の立地と環境

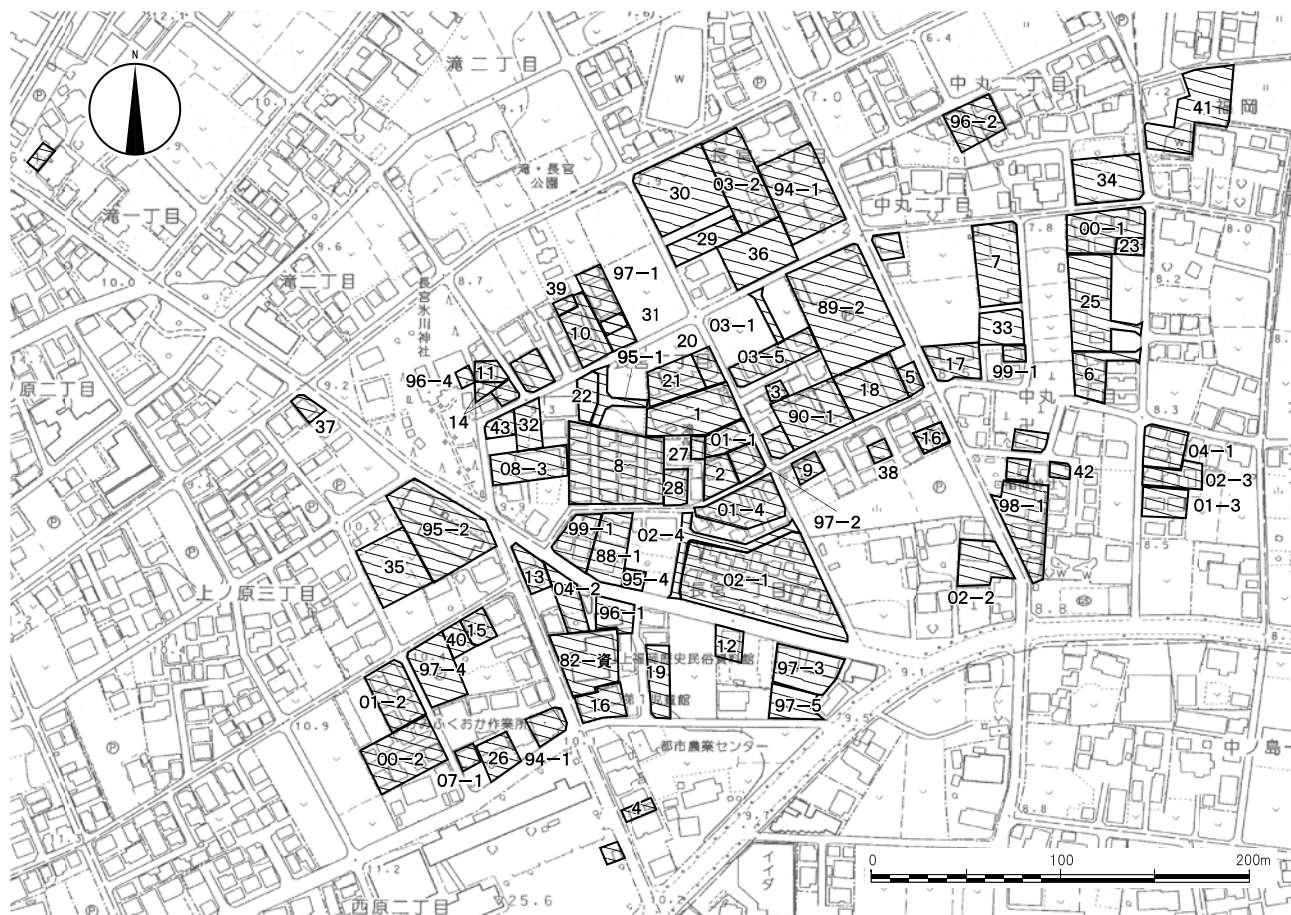
長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅 100 m ほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500 m 南側には福岡江川が流れ、標高 9 ～ 10 m 前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北 300 m、東西 500 m 以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中・近世の松山遺跡が隣接する。1977 年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる

遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより 2013 年 9 月現在 46 ケ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に關係のある溝跡などである。

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 4 月 3 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲外だが、1,000 m²を超える開発のため指導要項により事前協議書の提出を求めた。また、隣接する箇所で縄文時代前期の住居跡を検出したため、原因者と協議の結果、遺跡範囲の確認のため試掘調査を実施した。試掘調査は 2012 年 4 月 17 日から 4 月 25 日まで行なった。幅約 3 m のトレンチ 1 本、1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、土坑、ピット、炉穴、溝等を確認し

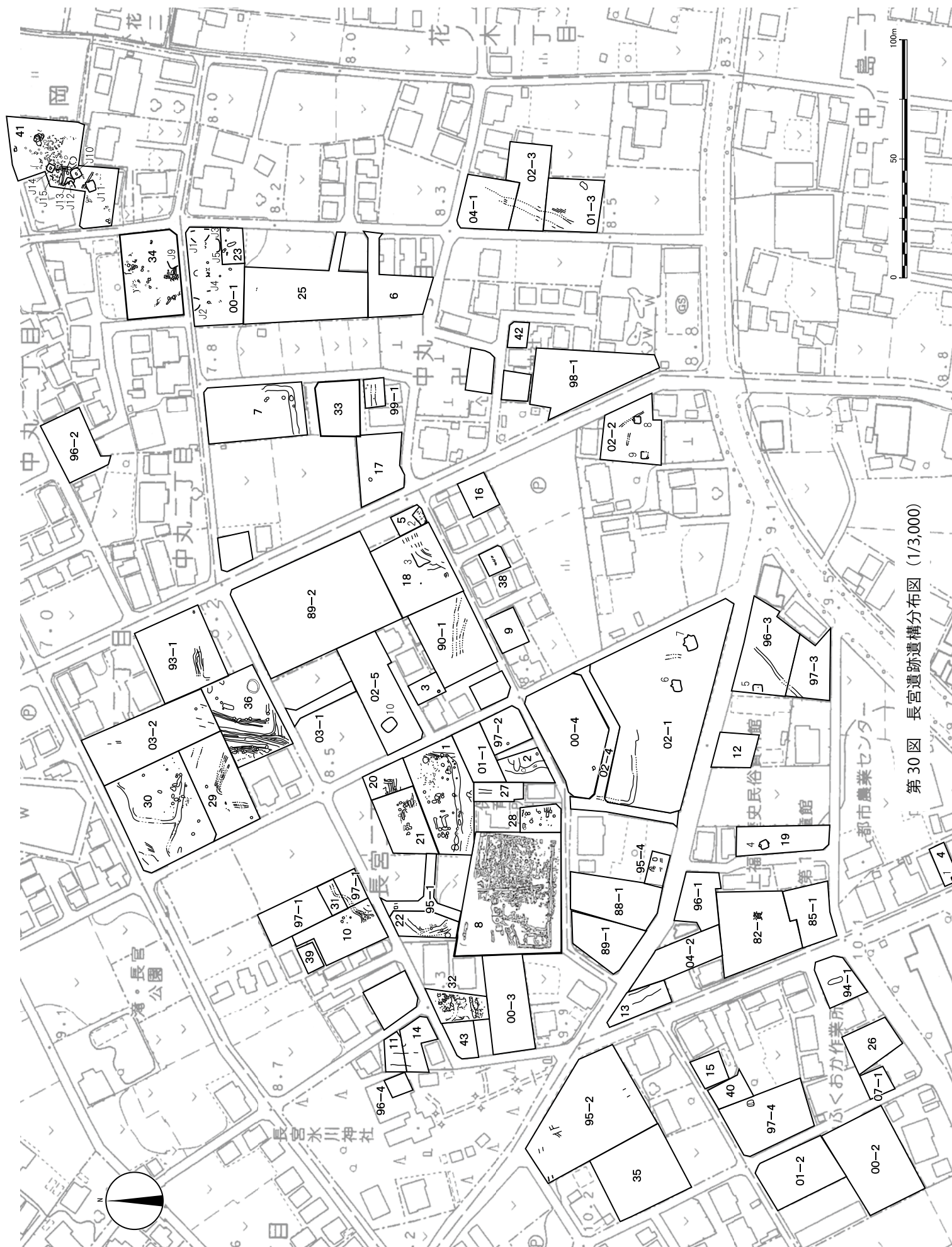


第 29 図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第8表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	長宮 2-1-23	1977.10.3～30	1,000	保育園	溝3、土坑48、柱穴	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
2次	長宮 2-1-27	1978.4.25～5.15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石磨臼、板碑、磁石、古銭、陶器、馬骨	埋(Ⅰ)
3次	長宮 2-5-11	1978.7.24～30	111	民間宅地	土坑1	埋(Ⅰ)
4次	長宮 1-1-14	1978.10.6～9	37		住居跡1、土師器、須恵器、鉄製品	埋(Ⅰ)
5次	長宮 2-5-2	1979.4.16～20	110		縄文前期住居跡1、縄文土器片	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
6次	中丸 1-4-13	1980.4.21～30	515		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
7次	中丸 1-3-6	1980.5.13～31	869		溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
8次	長宮 2-1-10～13	1980.9.8～10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、板碑、磁石、陶磁器、古銭、馬歯	遺調1集
9次	長宮 1-4-10	1980.9.21～30	200		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
10次	長宮 2-3-4	1980.12.5～15	485		溝、土坑他、縄文前期土器・石器、中世以降古銭・陶器	埋(Ⅲ)
11次	長宮 2-2-10	1980.12.16～22	117		溝、縄文土器片、中世以降陶器	埋(Ⅲ)
12次	長宮 1-2-7	1981.5.26～30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、縄文土器片	埋(Ⅳ)
13次	長宮 1-2-13	1981.6.3～11	251	個人住宅	遺構なし、中世陶器片	埋(Ⅳ)
82試	長宮 1-2-12		1,000	歴史民俗資料館	溝2	57年教要、59年度報告?
14次	長宮 2-2-1	1985.9.24～27	156	個人住宅	溝1	埋(Ⅶ)
15次	西原 2-5-8	1985.10.22～31	116	個人住宅	なし	埋(Ⅶ)
85試	長宮 1-2-11	(1986.3.6～15)	400	学童保育	溝2	60年教要
16次	長宮 1-4-7	1986.6.9～17	173	個人住宅	縄文土器片	埋(Ⅸ)
17次	中丸 1-3-11	1987.6.19～30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	埋(Ⅹ)
88試	長宮 1-3-8	(1988.9.13～16)	657	住宅建設	なし	埋(11)
89試(1)	長宮 1-3-9	(1989.9.20～30)	448	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	長宮 2-5-19	(1989.11.14～24)	1,778	住宅建設	なし	埋(12)
90試	長宮 2-5-4	(1990.11.27～30)	919	共同住宅	なし	埋(13)
18次	長宮 2-5-3	1992.10.6～12.2	925	共同住宅	縄文住居跡1、中近世土坑2、溝5	埋(15)
19次	長宮 1-2-21,35	1993.12.17～1994.1.22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(15)
93試	長宮 2-4-2の一部	(1994.2.10～28)	1,502	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期板碑	5年教要
94試	西原 2-5-1	(1994.7.25～8.2)	314	心身障害者デイケア施設	断面図形溝1	埋(17)
20次	長宮 2-1-22の一部	1995.4.10～5.9	170	個人住宅	中近世溝4	埋(18)
21次	長宮 2-1-63,65	(1995.6.19～8.8)	361	個人住宅	中近世溝1、井戸7	埋(18)
95試(1)	長宮 2-1-20外	(1995.8.9～28)	421	市道敷設	なし	埋(18)
95試(2)	上/原 3-1-6外4筆	(1995.10.4～12)	1,528	共同住宅	溝1	埋(18)
95試(3)	長宮 2-1-60	(1995.10.23～25)	269	駐車場	中近世溝1、井戸4	埋(18)
22次	長宮 2-1-60	1995.10.27～11.9	269	駐車場	中近世井戸跡4、溝1、陶器、板碑破片、かわらけ、	遺調6集
95試(4)	長宮 1-3-13	(1995.12.12～25)	120	駐車場	なし	埋(18)
96試(1)	長宮 1-2-16	(1996.7.12～18)	349	宅地造成	なし	埋(19)
96試(2)	中丸 2-2-9他3筆	(1996.11.7)	568	宅地造成	なし	埋(19)
96試(3)	長宮 1-2-4	(1997.1.14～21)	794	共同住宅	古墳～奈良住居跡1	埋(19)
96試(4)	長宮 2-2-4	(1997.2.24)	205	社務所改築	なし	8年教要
97試(1)	長宮 2-3-3	(1997.4.8～9)	611	農地天地返し	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	長宮 2-1-2	(1997.4.9～11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	埋(20)
97試(3)	長宮 1-2-36,37	(1997.6.4～5)	423	駐車場	溝1	埋(20)
97試(4)	西原 2-5-6	(1997.8.15～21)	753	駐車場	中近世堅穴状遺構1	埋(20)
98試	中丸 1-2-4	(1998.11.24～27)	1,014	宅地造成	なし	埋(21)
99試	中丸 1-3-12	(1999.11.8～16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期集石2	埋(22)
00試(1)	中丸 1-4-7	(2000.7.4～11)	932	宅地造成(土地分譲)	縄文前期(関山期)住居跡5、土坑13	埋(23)
00試(2)	西原 2-4-8,10	(2000.7.17～24)	1,081	宅地造成(土地分譲)	なし	埋(23)
00試(3)	長宮 2-1-17	(2000.8.21～23)	687	共同住宅	なし	埋(23)
00試(4)	長宮 1-3-3A,4A	(2001.1.17～23)	1,119	宅地造成(土地分譲)	近世以降土坑1	埋(23)
23次	中丸 1-4-7	2001.7.18～26	137	個人住宅	土坑6(縄文早期後葉1、縄文前期4、近世以降1)	埋(24)
01試(1)	長宮 2-1-3	(2001.4.20～24)	330	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	西原 2-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	なし	埋(24)
01試(3)	中丸 1-1-3	(2001.8.7～24)	513	共同住宅	道路状遺構1、縄文前期土坑1	埋(24)
01試(4)	長宮 2-8-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	なし	13年教要
02試(1)	長宮 1-3-2～5	(2002.6.5～11)	3,536	宅地造成(土地分譲)	住居跡2【盛土保存】	埋(25)
02試(2)	長宮 1-4-3	(2002.6.20～7.2)	575	確認調査	住居跡2、溝2	埋(25)
02試(3)	中丸 1-1-5	(2002.9.3～11)	622	宅地造成(土地分譲)	道路状遺構1	埋(25)
02試(4)	長宮 1-3-31	(2002.9.20～25)	362	地区計画道路	溝1	埋(25)
24次	長宮 1-4-3	2003.1.30～2.14	72	個人住宅	住居跡2	14年教要
02試(5)	長宮 2-5-6	(2003.3.10～12)	827	宅地造成	住居跡1【盛土保存】	14年教要
03試(1)	長宮 2-5-30,32	(2003.9.16)	197	区画道路	なし	埋(26)
03試(2)	長宮 2-4-7	(2003.12.16～18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	埋(26)
04試(1)	中丸 1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	長宮 1-2-15	(2004.12.7～9)	466	農地改良	なし	埋(27)
25	中丸 1-4-8	(2007.2.15～16)	1,161	個人住宅	ピット3、縄文土器・石器他	市内3
26	西原 2-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長宮 2-1-4	(2007.5.30～31)	175	個人住宅	溝。保存措置	市内4
28	長宮 2-1-8	(2007.5.31～6.5) 2007.6.6～22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ピット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内4
工事立会	西原 2-5-31	2007.10.15	120	個人住宅		市内4
29	長宮 2-4-6の一部	(2007.11.20～12.3) 12.4～5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ピット10、縄文土器、中近世土器他	市内4
30	長宮 2-4-6	(2009.9.28～11.2) 11.4～12.8	1,362	老人福祉施設	中近世土坑、井戸、ピット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内7、8
31	欠番					
32	長宮 2-1-18	(2010.1.15～25) 2011.2.4～26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ピット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器他	市内7、8
33	中丸 1-3-2	(2011.5.19～5.31)	534	分譲住宅	堀跡1	未報告
34	中丸 2-2-2,46	(2011.6.27～7.16) 2011.11.2～12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(関山)住居跡1、近世溝、縄文土器他	市内9
35	上/原 3-1-4	(2011.9.9～27)	1,157	共同住宅	縄文時代焼土跡1	未報告
36	長宮 2-4-3	(2011.10.4～17) 10.21～11.14	981	個人住宅	中近世井戸15、土坑5、溝15、ピット多数、板碑他	市内9
37	上/原 3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	未報告
38	長宮 1-4-27	(2011.11.24～25)	101	分譲住宅	なし	未報告
39	長宮 2-3-23	(2012.2.1)	130	個人住宅	なし	未報告
40	西原 2-5-7の一部	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
41	福岡字丸橋 988-1～3、989-2～5、990-3	(2012.4.17～5.31) 6.11～7.23	1,152	分譲住宅	炉穴1、焼土面1、落とし穴1、土坑12、ピット33、溝1、縄文前期土器片・石器、近世陶磁器等	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市内市内遺跡群報告書



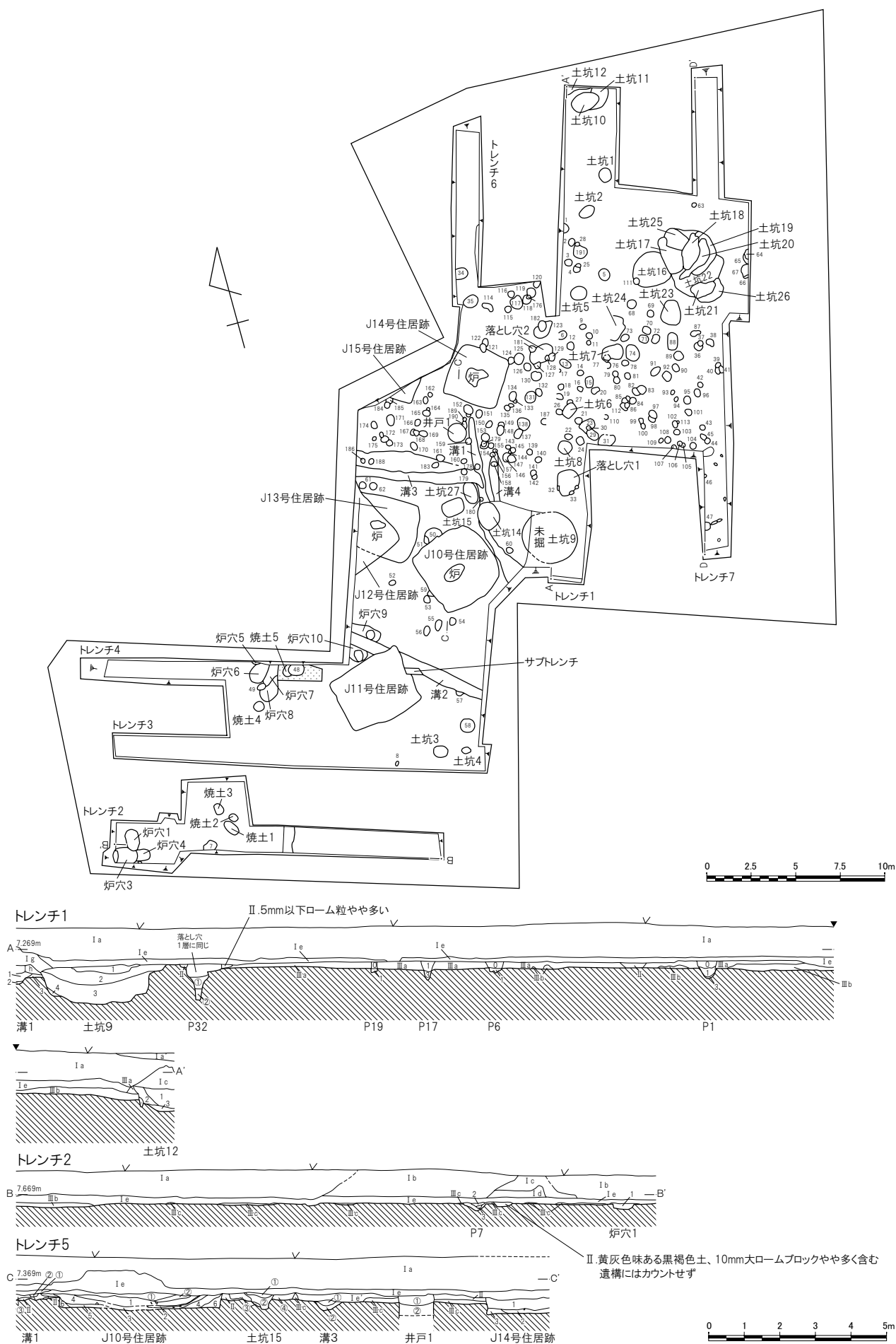
第30図 長宮遺跡遺構分布図 (1/3,000)

たため、同年5月18日付で変更増補をおこない遺跡の範囲を拡大した。

遺跡確認面までの深さは約40～80cmだが、地盤改良を行う予定で、遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施することになった。調査費用積算のために5月1日～31日まで、再度トレンチを2本追加で設定し確認したところ、トレンチ6より縄文時代前期の住居跡を確認した。本調査は2012年6月11日から7月25日まで行い、縄文時代炉穴10基、縄文時代前期住居6軒、落とし穴2基、土坑27基、ピット190基、溝4条等を検出した。

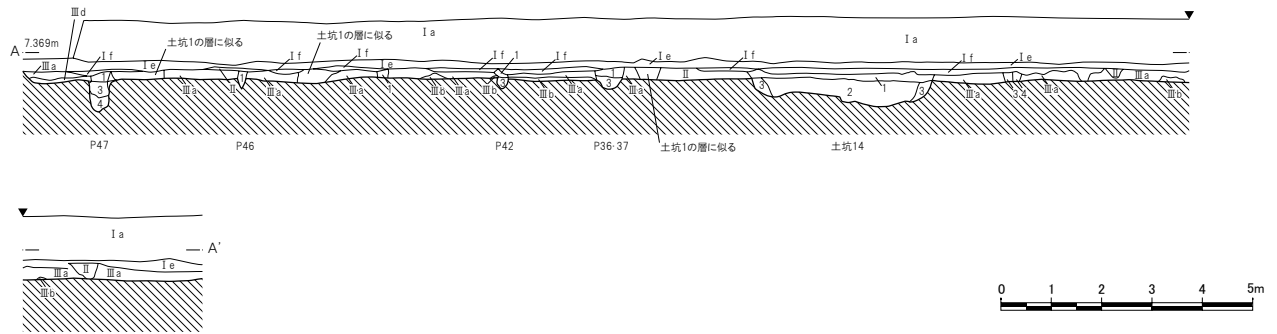
第9表 長宮遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉 カマド K	設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
H1	1978	4 地点 1 号住居	1/4	(方形)	×	K	東	×	○				埋蔵文化財の調査 I
H2	1993	19 地点 4 号住居	完掘	方形	×	K	北	×					埋蔵文化財の調査 15
H3	1997	96 年試掘 (3)			×			×					埋蔵文化財の調査 19
H4	2002	02 年試掘 (1)6 号住	完掘	台形	470 × 340	K	北	×	○		7C 後半～8C 初頭		埋蔵文化財の調査 25
H5	2002	02 年試掘 (1)7 号住	完掘	長方形	530 × 450	K	北・東	×	○	N-15-W	8C 初頭		埋蔵文化財の調査 25
H6	2002	02 年試掘 (2)8 号住	完掘	方形	280 × 280	K	北	×			7C 末～8C 第 1 四半期		埋蔵文化財の調査 25
H7	2002	02 年試掘 (2)9 号住	1/2	方形	280 × 280	K	南西	×	○		7C 末～8C 第 1 四半期		埋蔵文化財の調査 25
J1	1979	5 地点 2 号住居		長梯形	600 ×	炉		×	○		関山期		埋蔵文化財の調査 II・IV
J2	1992	18 地点 3 号住居			×			×			関山期		埋蔵文化財の調査 15
J3	2000	00 年試掘 (1)1 号住	プラン		×								埋蔵文化財の調査 23
J4	2000	00 年試掘 (1)2 号住	プラン		×								埋蔵文化財の調査 23
J5	2000	00 年試掘 (1)3 号住	プラン		×								埋蔵文化財の調査 23
J6	2000	00 年試掘 (1)4 号住	プラン		×								埋蔵文化財の調査 23
J7	2000	00 年試掘 (1)5 号住	プラン		×								埋蔵文化財の調査 23
J8	2003	02 年試掘 (5)	プラン		×			×	○				14 年教要
J9	2000	34 地点 J9 号住	1/4	(方形)	(395) × (330)	炉 2		①52×68 ②70×51			前期関山 II		市内遺跡群 11
J10	2012	41 地点 J10 号住	完掘	方形	400 × 418	炉		123×78	○	N-108-W	前期関山 II		市内遺跡群 12
J11	2012	41 地点 J11 号住	完掘	長方形	420 × 365	炉 2		①57×60 ②55×41		N-94-W	前期関山 II		市内遺跡群 12
J12	2012	41 地点 J12 号住	1/2	(方形)	(320) × (360)				○	N-25-W	前期関山 II		市内遺跡群 12
J13	2012	41 地点 J13 号住	3/4	(長方形)	(355) × (340)	炉		78×49		N-60-W	前期関山 II		市内遺跡群 12
J14	2012	41 地点 J14 号住	完掘	方形	310 × 310	炉		125×98	○	N-34-E	前期関山 II		市内遺跡群 12
J15	2012	41 地点 J15 号住	一部	(方形)	(125) × (170)				○	N-34-E	前期関山 II		市内遺跡群 12



第31図 長宮遺跡第41地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)

トレンチ7



トレンチ1

- I a.暗黄褐色土 締りやや弱、粘性有、暗褐色土を主体に、ロームブロックを多く含む
 I a'.黒褐色土 締り強、粘性やや弱、5cm以下角礫を多く含む
 I b.黒褐色土 締り強、粘性弱、10cm以下円礫を多く含む
 I c.褐灰色土 締り強、粘性強、ローム粒を少し含み、粘土質
 I d.褐灰色土 締り有、粘性強、5～30mmロームブロックをやや多く含み、粘土質
 I e.暗灰色土 締り強、粘性強、3cm以下ロームブロック・炭化物を少し含み、粘土質、ローム面を水平に広く覆う水稲耕作跡、ビニール含む
 I f.黄灰色土 灰色土 締り強、粘性強、転圧を受けたように締り、粘性が強い、マーブル状にローム土と3mm以下灰白色土粒やや多く含む
 I g.褐灰色土 締り強、粘性強、ローム粒を少し含み、粘土質
 I h.褐灰色土 締り有、粘性強、5～30mmロームブロックをやや多く含み、粘土質
 II.黄灰色土 締り強、粘性強、5mm以下ローム粒をやや多く含む、
 III a.灰オリブ色土 締り強、粘性強、5mm以下ローム粒をやや多く含む
 III b.浅黄色土 締り強、粘性強、淡黄色のローム土と灰オリブ色土が混ざる、粒状の5mm以下ローム土もやや多く混ざる
 III c.黄褐色土 締り強、粘性強、灰色味が有る、ローム粒を伴う黒褐色土がシミ状に混ざる
 土坑9
 1.黒褐色土 締り強、粘性強、しみ状に3cm以下ロームブロック多く含む
 2.灰白色土 締り強、粘性強、しみ状に3cm以下ロームブロックやや多く含む
 3.黒褐色土 締り有、粘性強、1～2cmロームブロック少し材を含む
 4.灰オリブ色土 締り有、粘性強、5～10mmロームブロックやや多く含む

溝1

- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、5～20mm灰白色土ブロックを多く含む、酸化土が目立つ
 2.黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下灰白色土粒少し含む
 3.黒褐色土 締り強、粘性強、色調灰色味がある、5mm以下灰白色土粒やや多く含む

ビット32

- ①. 黒褐色土 締り強、粘性強、しみ状に灰白色土をやや多く含む、5～40mmロームブロック少し含む
 ②. 黒褐色土 締り強、粘性強、しみ状に灰白色土、5mm以下ローム粒やや多く含む

トレンチ5

溝1

- ①. 褐灰色土 締り強、粘性強、5～10mm灰白色ロームブロック多く含む、酸化土目立つ
 ②. 黒褐色土 締り強、粘性強、しみ状に灰白色土、2cm大ロームブロックやや多く含む
 ③. 黒褐色土 締り強、粘性強、しみ状に灰白色土、5～20mmロームブロック少し含む

J10号住居跡

- ①. 灰色土 締り強、粘性強、粘土質、酸化目立つ
 ②. 灰黒褐色土 締り強、粘性強、粘土質、住居跡の覆土が混ざったような色調で5mm大炭化物少し含む

- 1.黒褐色土 締り強、粘性強、3mm以下ローム粒やや多く、5mm以下炭化物少し含む
 下部に遺物を多く伴う、酸化目立つ

- 2.黒褐色土 締り強、粘性強、粘土質の白色土(灰?)粒を多く、5～10mm炭化物少し含む
 3.黒褐色土 締り強、粘性強、5mm以下ローム粒、5～20mm炭化物やや多く含む黒色味強い、5mm以下焼土少し含む、含水目立つ
 4.黒褐色土 締り強、粘性強、やや灰色味ある黒褐色土、5mm以下ローム粒多く含む
 4'.灰色土 締り強、粘性強、焼土面を覆う、5mm以下焼土少し含む
 5.黒褐色土 締り強、粘性強、黒色味強い、5mm以下ローム粒多く含む
 6.黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味ある黒褐色土、灰白色の5mm以下ローム土粒をやや多く含む
 4層より黒色味強い

土坑15

- ①. 黒褐色土 締り強、粘性強、3cm以下灰色粘土やや多く含む
 ②. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味ある黒褐色土、しみ状にローム土少し含む
 ③. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味ある黒褐色土、しみ状に灰白色土、3mm以下黄白色粒多く含む
 ④. 黒褐色土 締り強、粘性強、③層より灰白色土粒少なめ

溝3

- ①. 灰黒褐色土 締り有、粘性強、混入物少ない
 ②. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む、
 le'leより褐色味があり、5mm以下ローム粒少し含む

土坑13 井戸もしくはすいこみ

- ①. 暗灰色土 締り強、粘性強、粘土質混入物は5mm以下炭化物わずかに含むのみ
 やや酸化目立つ
 ②. 暗灰色土 締り強、粘性強、しみ状に灰白色土、5cm以下ブロックを上部に多く含む
 上層より酸化目立たない

J14号住居跡

- 1.黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味ある黒褐色土、5mm以下ローム粒多く、5mm以下炭化物少し含む
 2.黒褐色土 締り強、粘性強、1cm以下焼土多く、5～20mm以下灰白色土やや多く含む
 3.黒褐色土 締り有、粘性有、1cm以下灰白色土やや多く、5mm以下焼土少し含む

トレンチ7

土坑18～22

- 1.黒褐色土 締り強、粘性強、3mm以下灰白色ローム粒多く、しみ状に2cm以下灰色粘土やや多く含む
 2.黒褐色土 締り強、粘性強、3mm以下ローム粒少し、2cm以下灰白色土少し含む
 3.黄灰色土 締り強、粘性強、暗色、ローム分含み黄色味ある黒褐色土、しみ状に5mm以下ローム粒少し含む

J10号住居跡

- ①. 灰色土 締り強、粘性強、粘土質、酸化目立つ
 ②. 灰黒褐色土 締り強、粘性強、粘土質、住居跡の覆土が混ざったような色調で5mm以下炭化物少し含む

- 1.黒褐色土 締り強、粘性強、3mm以下ローム粒やや多く、5mm以下炭化物少し含む
 下部に遺物を多く伴う、酸化目立つ

- 2.黒褐色土 締り強、粘性強、粘土質の白色土(灰?)粒を多く、5～10mm炭化物少し含む

- 3.黒褐色土 締り強、粘性強、5mm以下ローム粒、5～20mm炭化物やや多く含む、黒色味強い、5mm以下焼土少し含む、含水目立つ

- 4.黒褐色土 締り強、粘性強、やや灰色味ある黒褐色土、5mm以下ローム粒多く含む

- 4'.灰色土 締り強、粘性強、焼土面を覆う、5mm以下焼土少し含む

- 5.黒褐色土 締り強、粘性強、黒色味強い、5mm以下ローム粒5mm以下多く含む

- 6.黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味ある黒褐色土、灰白色の5mm以下ローム土粒をやや多く含む、4層より黒色味強い

J10号住居跡 ビット2

- 1.黒褐色土、締り有、粘性有、1～3mmローム粒含む、水性酸化物含む
 2.褐色粘土、締り有、粘性有、～3mmローム粒少し含む

J10号住居跡 ビット5

- 1.黒褐色土、締り有、粘性有、1～3mmローム粒含む、水性酸化物含む
 2.灰色粘土、締り有、粘性有、シルト質、～3mmローム粒少し含む

J10号住居跡 ビット7

- 1.灰褐色土、粘性有、～5mmローム粒多く含む。

- 2.灰色粘土、締り有、粘性有、シルト質、～3mmローム粒少し含む

J10号住居跡 ビット18

- 1.灰色粘土、締り有、粘性有、シルト質、～3mmローム粒少し含む、水性炭化物含む
 2.灰褐色土、締り有、粘性有、シルト質、～3mmローム粒含む

J10号住居跡 ビット25

- 1.黒褐色土、締り有、粘性有、1～3mmローム粒含む、水性酸化物含む
 2.灰白色粘土、締り有、粘性有
 3.灰褐色土、締り有、粘性有、～3mmローム粒少し含む

第 32 図 長宮遺跡第 41 地点土層図 (1/150)、土層説明

Ⅲ 遺構と遺物

(1) 住居跡

① J10 号住居跡

【位置】調査区中央に位置する。0.2 m北西に J13 住、1.2m 北西に J12 住、3.5 m西に J11 住、6.8m 北東に J14 住がある。

【形状・規模】主軸方位は N - 108° - W。平面形態は方形だが、主軸に対し左右壁の幅が広がっていき、西壁から 2.5m あたりで最大幅となる。また東壁は弧を描く。規模は主軸の東西方向 4.0 m × 南北 4.18 m、西壁は 3.7m、東壁は 3.5m、確認面からの深さ 30 ~ 35 cm である。壁は垂直に立ち上がる。粘性の強い黒褐色土がレンズ状に堆積し、土器も中央に集中して出土する。

【炉】住居跡の中央から西側にかけて主軸の東西方向に長く位置する。平面形態は楕円形で 123 × 78 cm、床面からの深さ 9cm、被熱による赤化範囲は 96 × 45 cm。焼土粒を多量に含む黒褐色土が堆積する。

炉の東 40cm の床面が焼けて薄く赤化している。範囲は南北 55cm × 東西 50cm である。

【柱穴・周溝】主柱穴は炉周囲の P 1 ~ P 4 と東壁際の P 7・P 9 の 6 本柱と思われる。柱穴の中心間の距離は P 1 - P 2 が 110 cm、P 2 - P 7 が 160 cm、P 7 - P 9 が 110 cm、P 9 - P 3 が 180 cm、P 3 - P 4 が 85 cm、P 4 - P 1 が 75 cm、P 3 - P 2 が 110 cm である。

壁際に小柱穴が並ぶ。西壁は角から角まで 6 本、北壁は 7 本、東壁は主柱穴を含めて 7 本、南壁は 9 本で中心間の距離は最小 18 cm、最大 120 cm あるが、平均的な間隔は各壁で異なり、西壁は 65 ~ 75 cm、北壁は 50 ~ 60 cm、東壁は中央が 30 cm、両脇が 50 ~ 60 cm、南壁は中央が 90cm、両脇が 30 ~ 50cm である。

西壁際にのみ周溝がある。上幅 15 ~ 40cm、下幅 8 ~ 15cm、深さ 3 cm である。

【時期】出土遺物から縄文時代前期関山Ⅱ式期。

② J11 号住居跡

【位置】調査区中央南西寄りに位置する。3.5 m 東に J10 住、4.5 m 北に J12 住・J13 住がある。溝 2 に北東角部分を壊されるが、床面は残る。

【形状・規模】主軸方位は N - 94° - W。平面形態は東西方向の長方形だが主軸に対し左右壁の幅が広がっていき、西壁から 3.0m あたりで最大幅となる。規模は主軸の東西方向 4.2 m × 南北 3.65 m、西壁は

3.1m、東壁は 3.35m、確認面からの深さ 30 ~ 40 cm である。壁は垂直に立ち上がる。粘性の強い黒褐色土がレンズ状に堆積し、土器も中央に集中して出土する。

【炉】2ヶ所検出した。いずれも主軸線上に位置する。炉 1 は主軸奥壁（西壁）寄りに位置し、平面形態は楕円形、規模は東西 57 × 南北 60 cm、床面からの深さ 4cm、被熱による赤化範囲は 35 × 32 cm。炉の奥側に細長い礫（26 × 8 cm）が置かれていた。

炉 2 は炉 1 の東 20cm、中心間では 75 cm に位置する。平面形態は卵形、規模は東西 55 × 南北 41 cm、床面からの深さ 4cm、被熱による赤化範囲は 47 × 37 cm。【柱穴・周溝】主柱穴は炉周囲の P 1 ~ P 4 と東壁際の P 10・P 13 の 6 本柱と思われる。柱穴の中心間の距離は P 1 - P 2 が 165 cm、P 2 - P 10 が 135 cm、P 10 - P 13 が 105 cm、P 13 - P 3 が 130 cm、P 3 - P 4 が 170 cm、P 4 - P 1 が 115 cm、P 2 - P 3 が 95 cm である。

壁際に小柱穴が並ぶ。西壁は角から角まで 6 本、北壁は 7 本、東壁は主柱穴を含めて 7 本、南壁は 6 本で中心間の距離は最小 20 cm、最大 110 cm ある。

【時期】出土遺物から縄文時代前期関山Ⅱ式期。

③ J12 号住居跡

【位置】調査区中央西に位置する。J13 住と重複し、J13 住の埋没後に構築しており、当住居の方が新しい。1.2m 南西に J10 住、3.5 m 南に J11 住、5.5m 北東に J15 住がある。

【形状・規模】南東部のみの検出のため、全体の規模・形態は不明だが、検出部分の東西壁長さ 3.2m、南北壁長さ 3.6 m を測る。南北壁の方位は N - 25° - W。平面形態は方形、確認面からの深さ 30 cm である。壁は垂直に立ち上がる。粘性の強い黒褐色土がレンズ状に堆積する。

【炉】炉は検出していない。

【柱穴・周溝】壁際に小柱穴が並ぶ。南壁は 10 本、東壁は 10 本で中心間の距離は 25 ~ 40cm ある。東壁から 50cm 内側にも小柱穴が 7 本並ぶ。中心間の距離は 20 ~ 60cm ある。

東壁際に周溝がある。上幅 10 ~ 15cm、下幅 5cm、深さ 3 cm である。

【時期】出土遺物から縄文時代前期関山Ⅱ式期。

④ J13 号住居跡

【位置】調査区中央西に位置する。J12 住と重複し、

J12 住によって壊されており、当住居の方が古い。0.2m 南西に J10 住、3.5 m 南に J11 住、6.5m 北東に J14 住、5.5m 北に J15 住がある。

【形状・規模】西側は未調査のため、全体の規模・形態は不明だが、検出部分の東西長 3.55m、南北長 3.4 m を測る。主軸方位は N - 60° - W。平面形態は東側が広く、西側が狭い台形、確認面からの深さ 30 cm である。壁は垂直に立ち上がる。粘性の強い黒褐色土がレンズ状に堆積する。

【炉】住居跡の中央から西側にかけて主軸の東西方向に長く位置する。平面形態は楕円形で被熱による赤化範囲は 78 × 49 cm、中央のくぼんだ範囲は 60 × 35 cm。床面からの深さ 5cm、焼土粒を多量に含む灰色土が堆積する。炉の中央は J12 住のピットで壊される。

【柱穴・周溝】壁際に小柱穴が並ぶ。南壁は 5 本、北壁は 5 本で中心間の距離は 50 ~ 100cm ある。東壁は 12 本で中心間の距離は 15 ~ 50cm ある。

【時期】出土遺物から縄文時代前期関山Ⅱ式期。

⑤ J14 号住居跡

【位置】調査区中央北に位置する。1.4 m 西に J15 住、6.8m 南西に J10 住、6.5m 南西に J13 住がある。

【形状・規模】主軸方位は N - 34° - E。平面形態は方形で北壁がやや狭くなる。規模は主軸の南北方向 3.1 m × 東西 3.1 m、北壁は 2.6m、確認面からの深さ 30 ~ 35 cm である。壁は垂直に立ち上がる。粘性の強い灰褐色土が黒褐色土の上にレンズ状に堆積する。黒褐色土の上は赤化した焼土層が広がる。焼土層は住居中央から南北方向に拡散している。

【炉】住居跡の中央に位置する。平面形態は不整形で 125 × 98 cm、床面からの深さ 5cm、被熱による赤化範囲は 114 × 90 cm。

【柱穴・周溝】、P 5 - P 6 が 55 cm、P 1 - P 6 と P 2 - P 5 が 285 cm である。

壁際に小柱穴が並ぶ。北壁は P 1 と P 2、東壁は北角から 1 m の位置に P 3、南壁は P 4 ~ P 7 の 4 本、西壁は P 8 と P 9 の 2 本である。柱穴の中心間の距離は P 1 - P 2 が 72 cm、P 4 ~ P 7 は 55 ~ 95 cm、P 8 - P 9 は 120 cm である。壁際の P 1、P 2、P 5、P 6 は主軸方位に位置し主柱穴と思われる。

南壁を除き周溝が廻る。上幅 8 ~ 15cm、下幅 2 ~ 8cm、深さ 4 ~ 8 cm である。

【時期】出土遺物から縄文時代前期関山Ⅱ式期。

⑥ J15 号住居跡

【位置】調査区中央北に位置する。1.4 m 東に J14 住、7.4m 南に J10 住、5.5m 南に J13 住がある。

【形状・規模】南東部のみの検出のため、全体の規模・形態は不明だが、検出部分の東西壁長さ 1.25m、南北壁長さ 1.7 m を測る。南北壁の方位は N - 34° - E。確認面からの深さ 40 cm である。壁は垂直に立ち上がる。粘性の強い黒褐色土がレンズ状に堆積する。

【炉】炉は検出していない。

【柱穴・周溝】壁際に小柱穴を検出。南壁と東壁それぞれに 1 本筒である。

東壁際に幅 13 ~ 18cm の段差がある。

【時期】出土遺物から縄文時代前期関山Ⅱ式期。

(2) 炉穴

調査区の南西部に炉穴 10 基と焼土跡 5 ケ所を検出した。A 区の炉穴は 1 ~ 4 が重複して検出した。炉穴 3 が最も古く、炉穴 1 と炉穴 4 が炉穴 3 を埋めた後構築している。炉穴 2 は炉穴 4 の埋没後構築され最も新しい。

B 区の炉穴は 5 ~ 8 が重複して検出した。炉穴 8 が最も古く、8 → 7 → 6 → 5 の順に新しくなる。A 区の炉穴群は 10 m 南西に位置する。5 m 東には炉穴 9・10 がある。

炉穴 9・10 は J 11 住居跡の北に位置し、間を溝 2 が貫く。

(3) 落とし穴

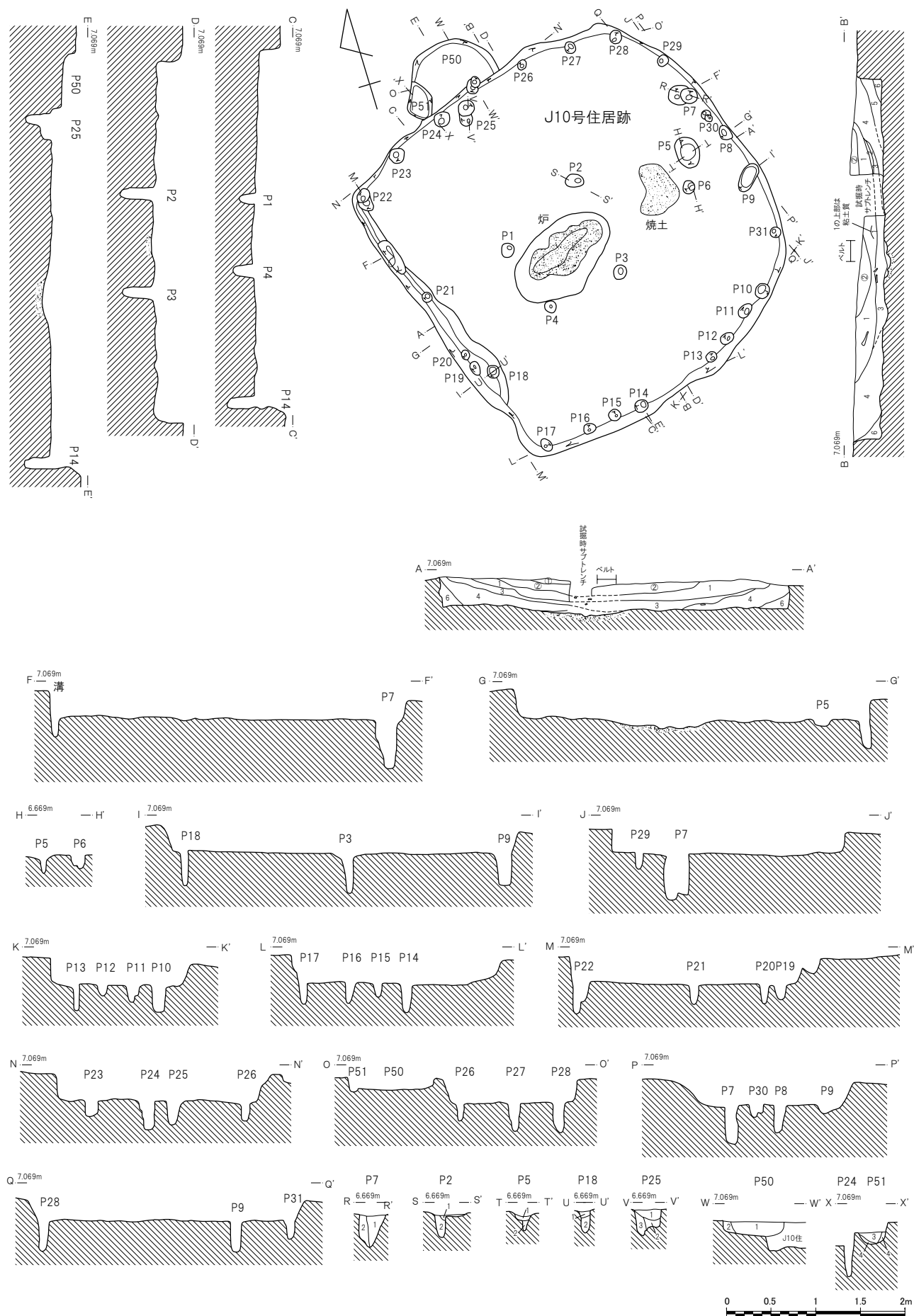
2 基検出した。落とし穴 1 は長軸が北東から南西方向で平面楕円形、底面は平坦である。黒褐色土で埋る。

落とし穴 2 は長軸が東西方向で上端の平面形は楕円形だが、底面は細長い長円形、断面は V 字状に狭くなる。

(4) 溝

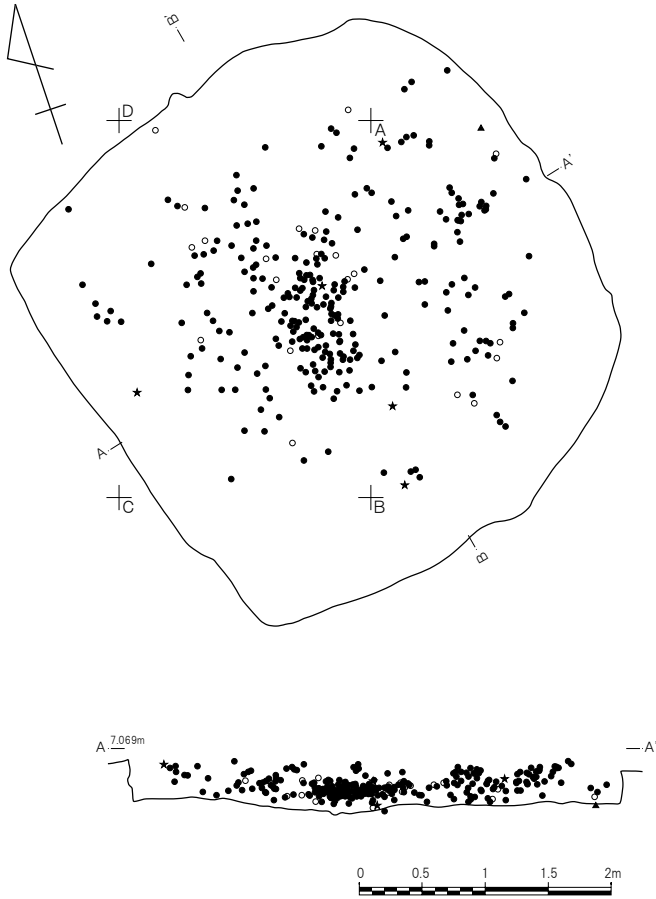
4 条検出した。溝 1 は調査区中央、J14 住居跡の南から始まり、南北方向に位置する。溝 3 および土坑 14 の埋没後に構築され、土坑 14 を越えてからやや南東方向へ向きを変え、そのまま調査区域外へ伸びていく。9.5 m 検出した。上幅 30 ~ 120 cm、下幅 8 ~ 55 cm、確認面からの深さ 8 ~ 24 cm。近世陶磁器が出土した。

溝 2 は調査区南側、北西から南東方向へ向かう溝で、炉穴 9・10、J11 住居跡を壊して構築される。8.2 m 検出した。上幅 57 ~ 80 cm、下幅 30 ~ 58 cm、確認面からの深さ 17 ~ 27 cm。縄文土器のほか、土師器甕破片が出土した。

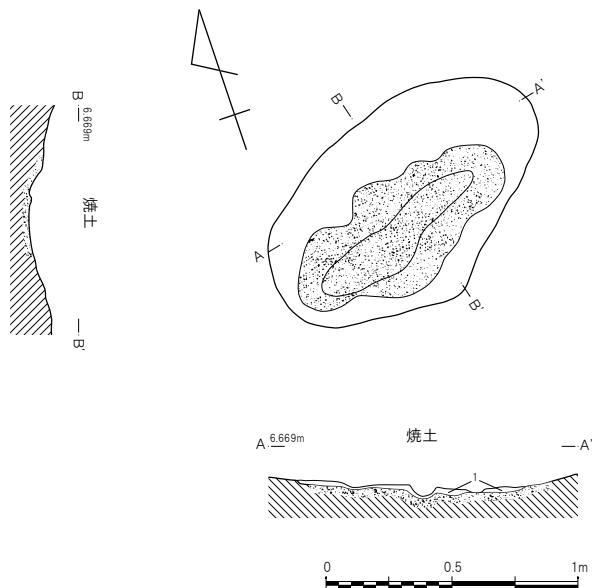


第33図 長宮遺跡第41地点 J10号住居跡 (1/60)

遺物出土状況図



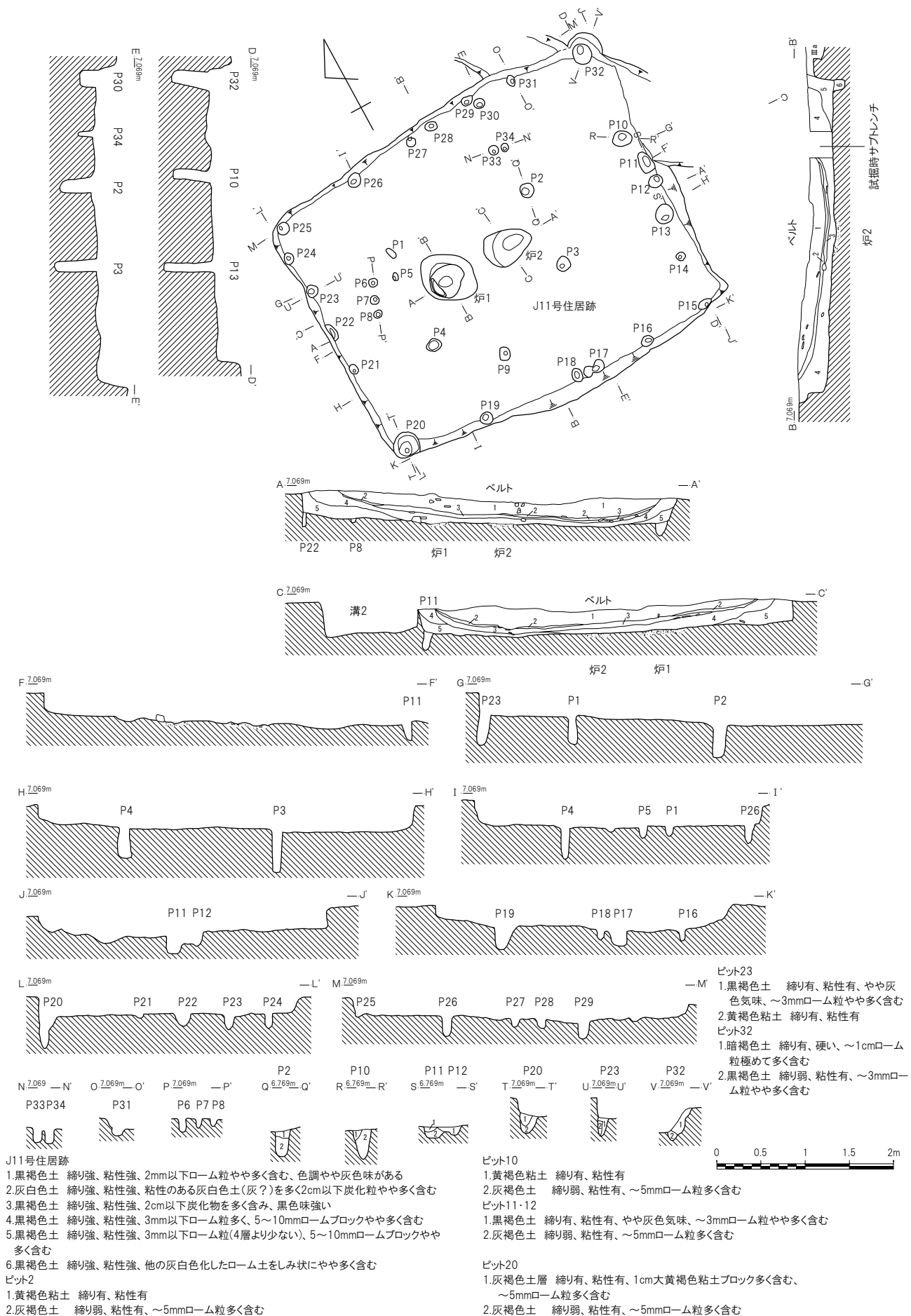
炉



J10号住居跡 炉

1.黒褐色土、締り有、粘性有、～5mm赤褐色焼土極多量含む

第 34 図 長宮遺跡第 41 地点 J10 号住居跡炉 (1/30)、遺物出土状況図 (1/30・1/60)



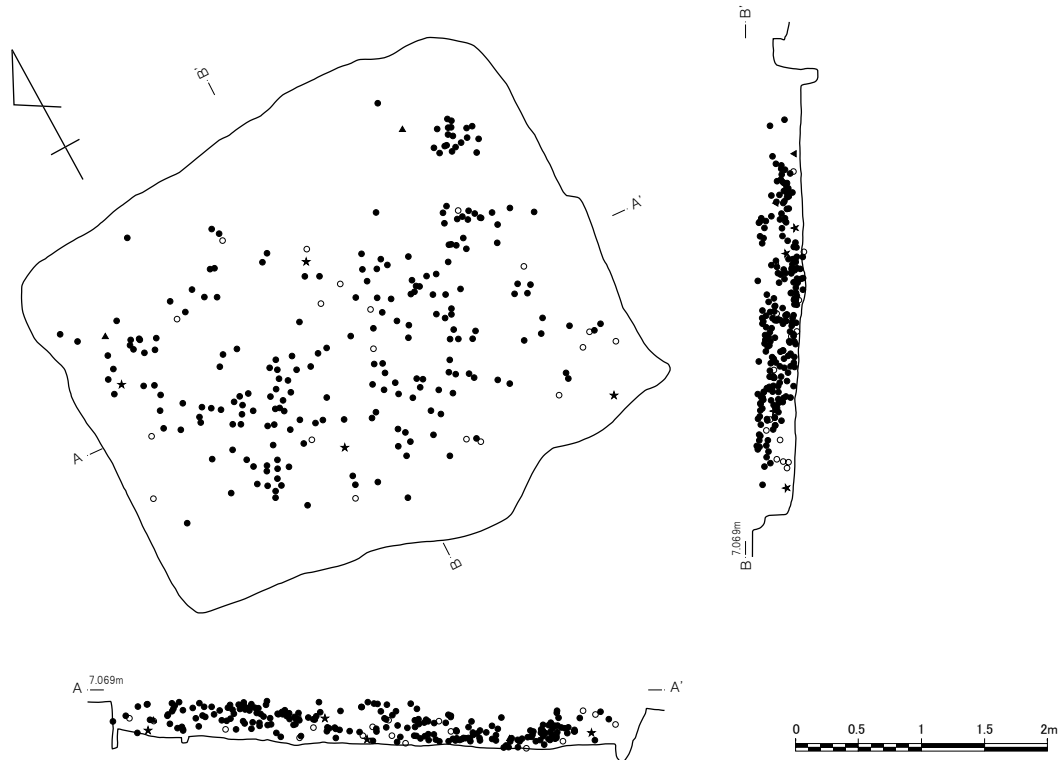
第35図 長宮遺跡第41地点 J11号住居跡 (1/60)

第 10 表 長宮遺跡第 41 地点 J10 号住居跡遺構一覧表 (単位 cm)

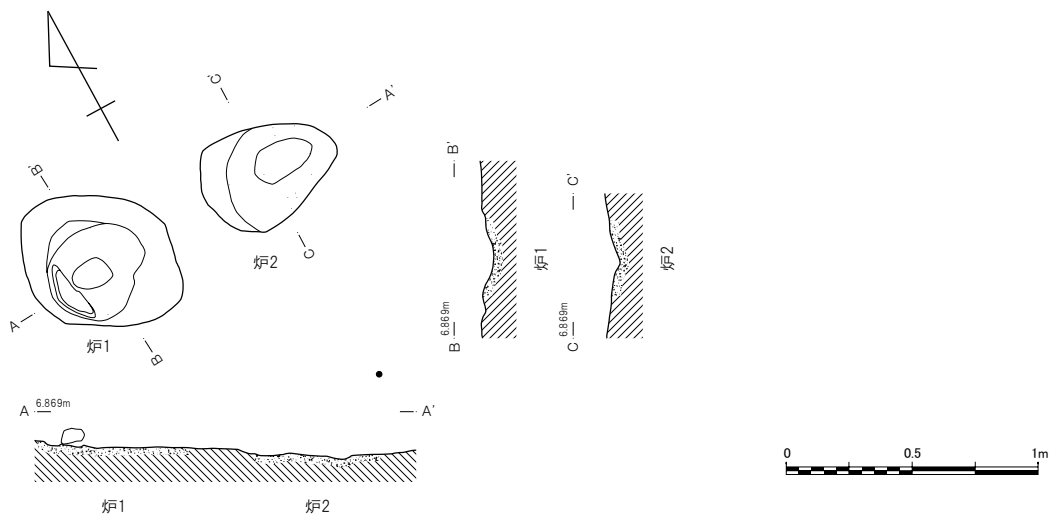
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	円形	15 × 14	5 × 4	18	
P2	円形	21 × 14	7 × 5	40	
P3	円形	15 × 15	7 × 5	35	
P4	円形	13 × 12	3 × 3	25	
P5	円形	37 × 25	21 × 18	22	
P6	円形	15 × 12	2 × 1	16	
P7	だるま形	33 × 21	5 × 4	53	
P8	円形	19 × 12	8 × 5	34	
P9	楕円形	34 × 16	25 × 13	41	
P10	円形	15 × 15	11 × 7	30	
P11	円形	18 × 12	8 × 4	20	
P12	円形	15 × 11	4 × 2	11	
P13	円形	11 × 11	4 × 3	28	
P14	円形	14 × 14	8 × 6	31	
P15	円形	13 × 13	2 × 2	16	
P16	円形	13 × 11	3 × 2	24	

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P17	円形	15 × 10	3 × 3	25	
P18	円形	14 × 13	8 × 8	39	
P19	楕円形	17 × 9	4 × 2	17	
P20	円形	11 × 9	3 × 2	22	
P21	円形	11 × 10	5 × 4	23	
P22	だるま形	26 × 16	7 × 5	37	
P23	円形	17 × 16	6 × 5	40	
P24	円形	17 × 16	6 × 6	39	
P25	だるま形	29 × 17	5 × 3	21	
P26	円形	10 × 9	5 × 3	20	
P27	円形	12 × 11	8 × 4	33	
P28	円形	15 × 12	5 × 3	36	
P29	円形	13 × 10	4 × 4	18	
P30	だるま形	14 × 10	2 × 2	10	
P31	円形	11 × 11	4 × 4	23	
炉	楕円形	125 × 77	76 × 19	9	

遺物出土状況図

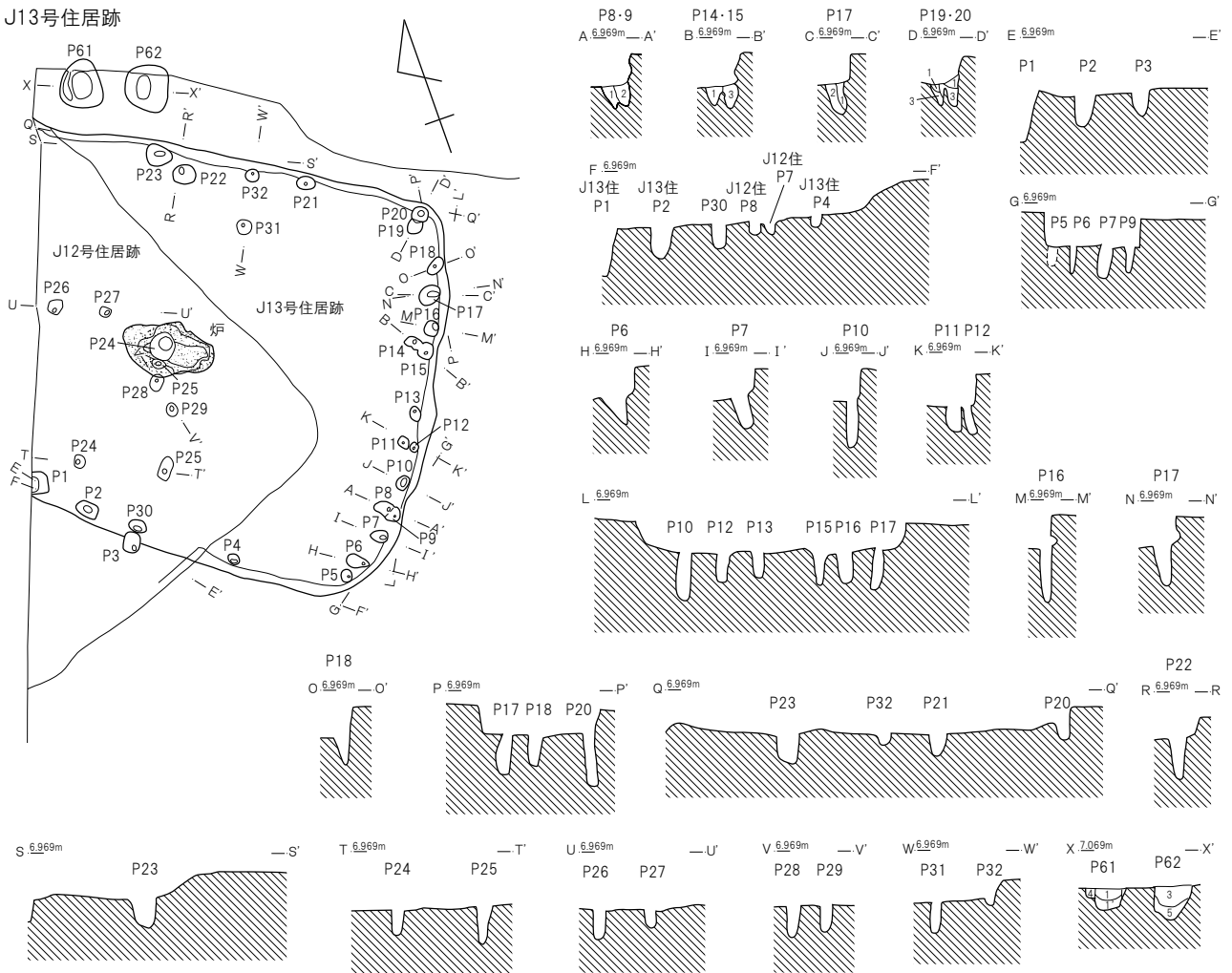


炉

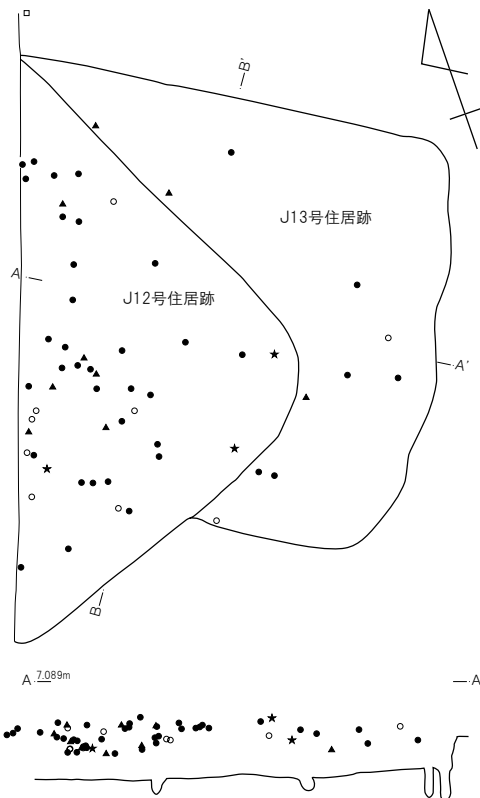


第 36 図 長宮遺跡第 41 地点 J11 号住居跡炉 (1/30)、遺物出土状況図 (1/60)

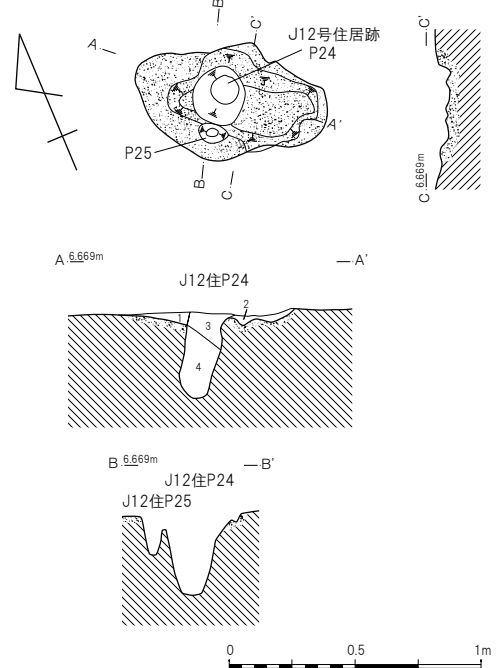
J13号住居跡



遺物出土状況図



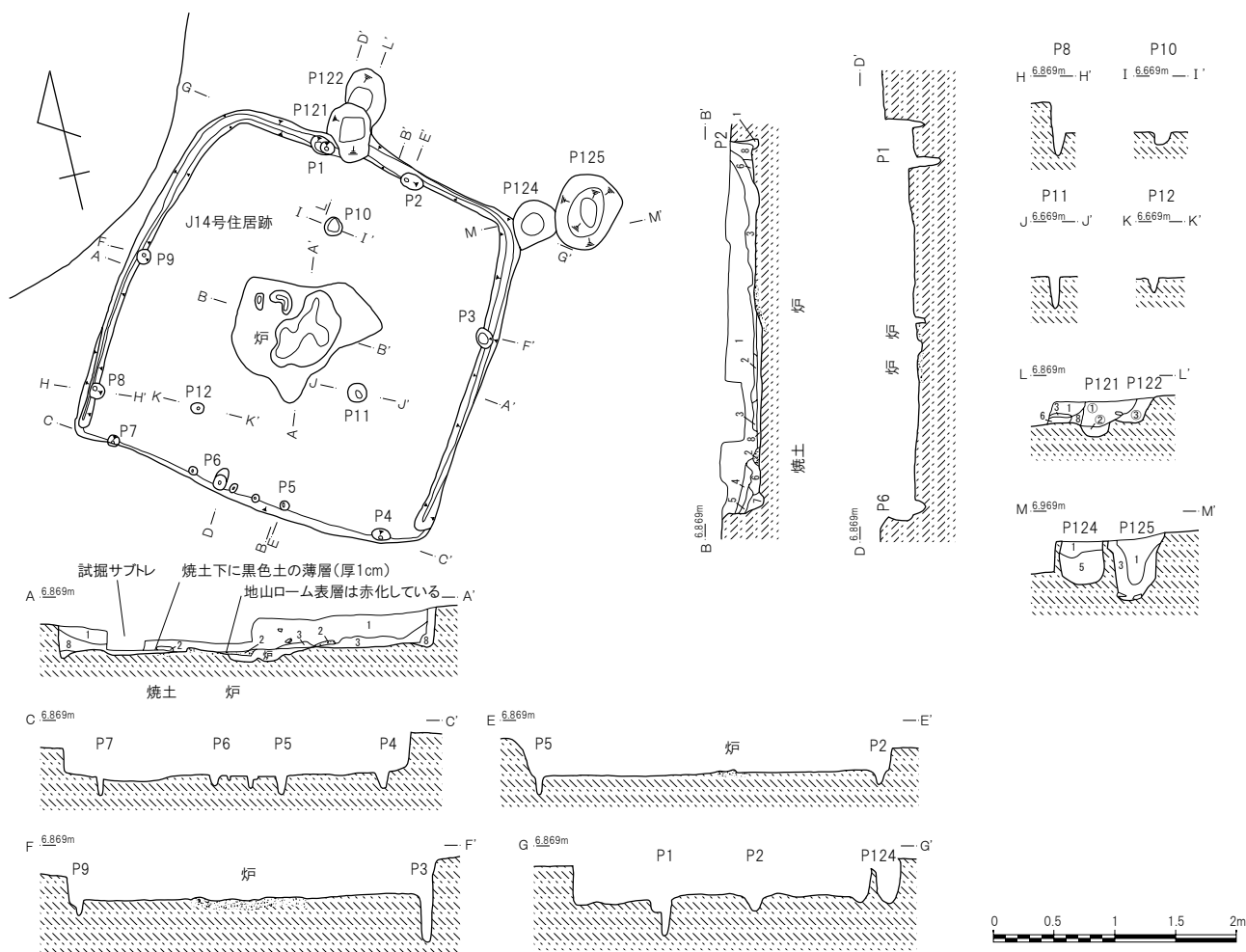
J13号住居跡炉



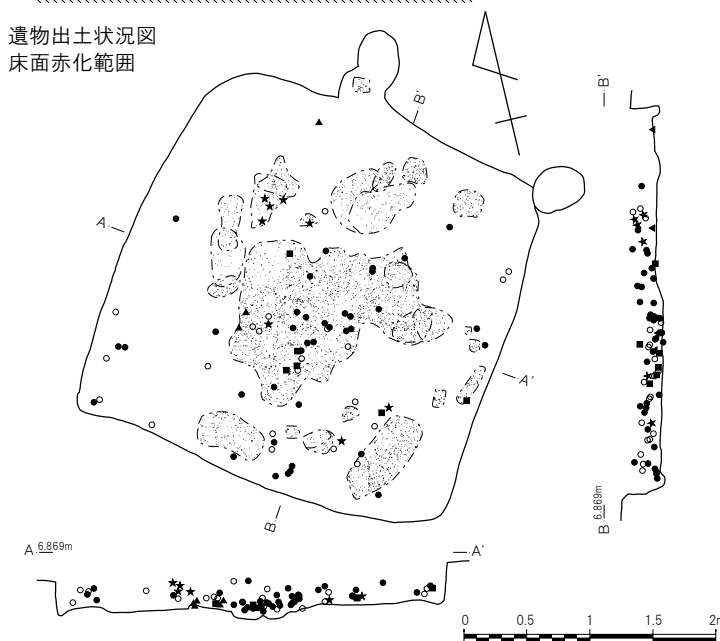
J13号住居跡炉

- ① 黒褐色土 締り強、粘性強、1～3mm口—ム粒、5mm焼土少し含む
- ② 灰色土 締り強、粘性強、5mm焼土多く含む
- 1. 灰褐色土 締り有、粘性有、～3mm口—ム粒多く含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、～3mm口—ム粒含む

第 38 図 長宮遺跡第 41 地点 J12・J13 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、J13 号住居跡炉 (1/30)



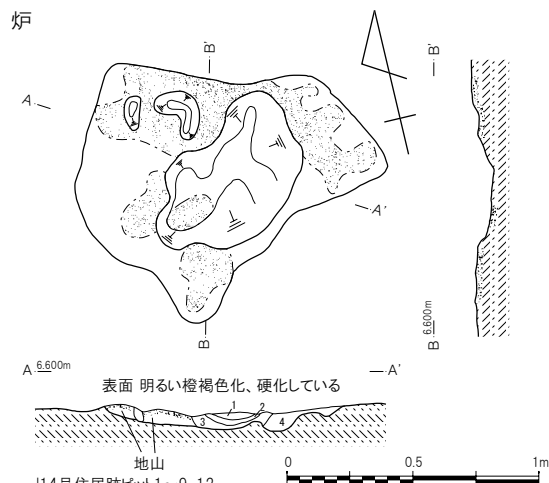
遺物出土状況図
床面赤化範囲



J14号住居跡

1. 褐灰色土 締り強、粘性強、5mm以下灰白色ローム粒多く、3~10mm炭化物・5mm以下焼土少し含む、色調灰色味がある
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下赤褐色焼土多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒多く、5mm以下焼土やや多く含む、褐色味がある、5mm以下炭化物少し含む
4. 褐灰色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒・3~15mm焼土やや多く、しみ状に黒色炭土を少し含む
5. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰白色ローム土を多く、3mm以下焼土・炭化物少し含む
6. 黒色土 締り強、粘性有、炭化物由来と考えられる黒色土主体、5mm以下ローム粒やや多く、3mm以下焼土少し含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状に灰白色ローム土を多く含む、灰色味がある
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、5~10mmロームブロック・3mm以下ローム粒少しやや多く含む

炉



J14号住居跡ビット1~9・12

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック粒やや多く含む

J14号住居跡ビット10

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、色調明るめで10mm以下ロームブロック少し含む

J14号住居跡ビット11

1. 黒褐色土 締り強、5mm以下ローム粒少し含む

J14号住居跡ビット121・122

- ① 褐灰色土 締り強、粘性強、5mm以下灰白色ローム粒多く、3~10mm炭化物・5mm以下焼土少し含む、色調灰色味がある

- ② 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下赤褐色焼土多く含む

- ③ ①と同じ、ロームブロック少ない

J14号住居跡炉

1. 赤褐色土 締り有、粘性有、シルト質の赤褐色焼土主体、5~10mm焼土ブロックやや多く含む
2. 灰色土 締り有、粘性有、明るい灰色土の薄層、しみ状に焼土を多く含む
3. 橙褐色土 締り強、粘性有、灰色みある赤褐色土主体、5mm以下赤褐色・橙褐色焼土多く含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、黒色土を多く含む、10mm以下ロームブロック粒やや多く含む

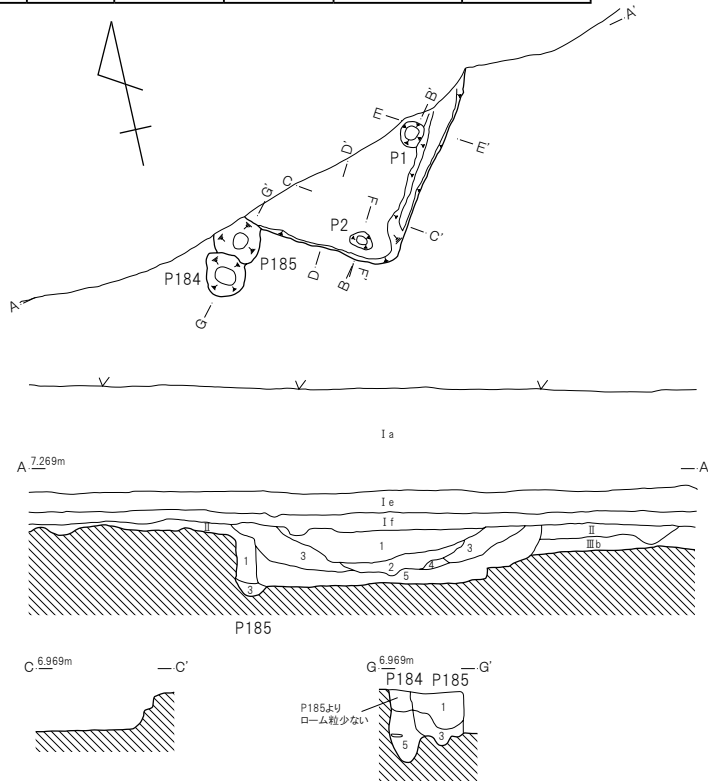
第39図 長宮遺跡第41地点 J14号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)

第11表 長宮遺跡第41地点 J11号住居跡遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	楕円形	14 × 7	5 × 2	34	
P2	円形	17 × 16	9 × 8	42	
P3	円形	17 × 16	6 × 4	49	
P4	方形	16 × 14	11 × 10	36	
P5	円形	10 × 6	5 × 3	13	土器
P6	円形	10 × 9	4 × 3	14	
P7	円形	10 × 10	4 × 4	10	
P8	円形	9 × 9	5 × 4	8	
P9	円形	15 × 12	4 × 4	39	
P10	円形	21 × 17	11 × 7	42	
P11	方形	24 × 15	12 × 7	19	
P12	円形	16 × 14	7 × 5	17	
P13	円形	22 × 20	6 × 6	57	
P14	円形	10 × 9	4 × 3	23	
P15	円形	17 × 9	5 × 3	48	
P16	円形	15 × 12	8 × 4	10	
P17	瓢箪形	25 × 12	9 × 6	25	
P18	円形	17 × 11	8 × 5	10	
P19	円形	14 × 14	7 × 6	26	
P20	円形	31 × 28	5 × 5	39	土器
P21	円形	11 × 9	3 × 3	7	
P22	楕円形	20 × 7	12 × 3	16	
P23	円形	14 × 13	6 × 6	37	
P24	円形	13 × 11	5 × 4	15	
P25	円形	14 × 13	5 × 2	21	
P26	円形	17 × 14	8 × 4	42	
P27	円形	10 × 10	6 × 4	7	
P28	円形	15 × 10	5 × 4	12	
P29	円形	13 × 9	6 × 4	17	
P30	円形	12 × 11	8 × 5	19	
P31	円形	14 × 9	5 × 4	6	
P32	円形	25 × 20	10 × 7	42	
P33	円形	11 × 11	3 × 3	16	
P34	円形	9 × 9	3 × 3	17	
炉1	円形	60 × 51	15 × 11	6	炉石
炉2	円形	51 × 41	25 × 14	5	

第12表 長宮遺跡第41地点 J12号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	不明	17 × (15)	8 × 7	41	
P2	円形	16 × 10	5 × 4	11	
P3	方形	12 × 10	4 × 3	13	
P4	円形	12 × 11	4 × 4	29	
P5	円形	12 × 8	5 × 3	13	
P6	円形	15 × 12	5 × 4	36	
P7	円形	10 × 9	4 × 4	11	
P8	円形	13 × 10	4 × 3	12	
P9	円形	15 × 13	4 × 4	38	
P10	円形	18 × 15	6 × 4	24	
P11	円形	15 × 11	5 × 3	10	
P12	円形	15 × 15	4 × 4	39	
P13	円形	25 × 18	15 × 12	30	
P14	円形	16 × 11	8 × 5	11	
P15	円形	20 × 19	5 × 4	27	
P16	円形	19 × 17	8 × 4	39	
P17	円形	12 × 8	4 × 3	8	
P18	円形	11 × 10	5 × 4	22	
P19	円形	13 × 9	4 × 3	13	
P20	不明	11 × (7)	4 × 4	22	
P21	円形	14 × 14	6 × 4	3	
P22	円形	7 × 7	4 × 2	13	
P23	円形	18 × 15	6 × 5	26	
P24	円形	21 × 18	8 × 7	40	
P25	円形	11 × 8	4 × 3	13	
P26	不明	12 × —	4 × 3	20	
P27	不明	15 × —	5 × 5	30	
P28	円形	12 × 10	3 × 3	20	
P29	円形	15 × 11	6 × 4	55	
P30	円形	13 × 12	5 × 3	14	
P31	不明	23 × (7)	×	14	



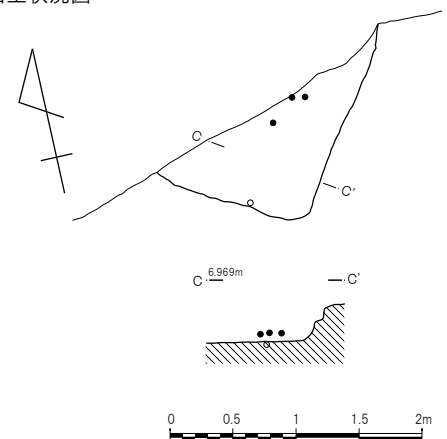
J15号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、色調灰色味あり明るい、灰白色化した5mm以下ローム粒やや多く含む
 2. 灰白色土 締り強、粘性強、灰色味ある黒褐色土ベースに3cm以下灰白色ロームブロック多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm以下灰白色ローム粒多く含む、色調灰色味がある
 4. 黒褐色土 締り強、粘性強、2cm黄褐色ロームブロック同2～5mmローム粒やや多く含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む、上層より黒色味強い
- I f. 黄灰色土 (灰色味ある黒褐色土) 締り強、粘性強、5mm以下ローム粒やや多く、2cm以下灰色粘土少し含む、酸化土目立ち、I eより褐色味がある

ピット1・2

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、色調灰色味がある、5mm以下ローム粒やや多い
2. 黄灰色土 締り強、灰色味ある、黒褐色土主体に2cm以下ロームブロック多く含む

遺物出土状況図



第40図 長宮遺跡第41地点 J15号住居跡遺物出土状況図 (1/60)

第13表 長宮遺跡第41地点 J13号住居跡遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	不明	18 × (13)	13 × (6)	32	
P2	円形	19 × 12	8 × 5	28	
P3	円形	17 × 14	4 × 3	23	
P4	円形	9 × 9	5 × 3	10	
P5	円形	10 × 9	2 × 2	16	
P6	三角形	19 × 11	2 × 2	24	
P7	円形	15 × 10	5 × 3	27	
P8	円形	(13) × 10	4 × 2	22	
P9	円形	13 × (10)	2 × 2	23	
P10	円形	12 × 9	8 × 4	38	
P11	円形	10 × 8	2 × 2	22	
P12	円形	7 × 7	3 × 2	23	
P13	円形	12 × 8	3 × 2	20	
P14	方形	(13) × 9	3 × 3	21	
P15	円形	14 × (12)	3 × 2	29	
P16	円形	13 × 12	6 × 5	44	
P17	円形	19 × 14	10 × 5	32	
P18	円形	17 × 10	3 × 2	26	
P19	円形	12 × (11)	6 × 2	22	
P20	円形	15 × (11)	5 × 4	43	
P21	円形	16 × 10	3 × 3	20	
P22	円形	19 × 16	7 × 5	33	
P23	円形	20 × 18	9 × 4	23	
P24	方形	11 × 9	4 × 3	21	
P25	方形	19 × 10	4 × 4	33	
P26	円形	13 × 12	4 × 3	25	
P27	円形	9 × 8	5 × 3	15	
P28	円形	15 × 11	3 × 2	29	
P29	円形	11 × 10	5 × 3	25	
P30	円形	16 × 10	8 × 3	28	
P31	円形	12 × 12	3 × 3	26	
P32	円形	11 × 10	2 × 2	8	
炉	楕円形	77 × 48	11 × 11	45	

第14表 長宮遺跡第41地点 J14号住居跡遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	だるま形	21 × 14	3 × 3	33	
P2	円形	20 × 13	3 × 3	13	
P3	円形	17 × 14	11 × 7	57	
P4	円形	16 × 10	3 × 3	13	
P5	円形	8 × 7	4 × 2	16	
P6	だるま形	19 × 10	3 × 2	11	
P7	円形	9 × 9	2 × 2	15	
P8	円形	13 × 11	3 × 3	21	
P9	円形	12 × 11	3 × 3	7	
P10	円形	15 × 14	11 × 9	11	
P11	円形	15 × 15	7 × 4	28	
P12	円形	11 × 8	2 × 2	13	
炉	不整形	124 × 97	58 × 29	13	チャート

溝3は調査区中央、東西方向に位置し、溝1より古い。北側が浅く、南側で一段深くなる。7.1 m検出した。上幅45～80 cm、下幅5～30 cm、確認面からの深さ24 cm。近世陶磁器が出土した。

溝4は溝1の40cm東に平行する。土坑14の付近で立ち消える。2.7 m検出した。上幅35～50 cm、下幅15～25 cm、確認面からの深さ8 cm。

(5) 井戸

1基検出した。近代以降の井戸である。

(6) 土坑・ピット

土坑27基、ピット190基検出した。

土坑3・7・8・13・14・17・27から縄文土器が出土した。土坑9からは近世遺物が出土した。

土坑10～12は重複しあう一群の土坑群。

土坑14・16～22・25・26も一群の土坑群で重複しあう。底面は灰色の粘土層に達し、粘土採掘坑の可能性がある。

第15表 長宮遺跡第41地点 J15号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	円形	21 × 18	12 × 10	43	
P2	円形	19 × 13	8 × 6	37	礫

第16表 長宮遺跡第41地点遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
炉穴1	不明	(120) × 74	(87) × 55	12	
炉穴2	不明	(71) × (28)	(62) × (28)	10	
炉穴3	不明	(110) × 88	97 × 52	28	土器、チャート
炉穴4	不明	(72) × 65	(54) × 40	25	土器、礫
炉穴5	不明	(67) × (12)	(40) × (6)	7	土器
炉穴6	楕円形	(143) × 83	52 × 32	22	土器
炉穴7	不明	(127) × (49)	(85) × (27)	14	土器、チャート
炉穴8	不明	(138) × 85	(88) × 60	20	土器
炉穴9	不明	(148) × (71)	(132) × (59)	43	土器
炉穴10	不明	(88) × 83	45 × 38	13	
井戸1	円形	105 × 105	90 × 85	59	土器、礫
焼土面1	円形	90 × 64	25 × 15	6	
焼土面2	円形	56 × 44	8 × 5	4	
焼土面3	方形	60 × 47	37 × 8	4	
焼土面4	円形	54 × 45	19 × 13	6	
焼土面5	不明	(61) × (34)	(56) × (26)	9	
落とし穴1	楕円形	132 × 85	110 × 62	148	土器、石器
落とし穴2	楕円形	145 × 98	65 × 21	120	土器、石器、礫
土坑1	円形	79 × 70	61 × 56	39	礫
土坑2	長方形	86 × 56	74 × 39	24	
土坑3	円形	81 × 69	70 × 54	19	土器
土坑4	不明	68 × (46)	53 × (40)	23	
土坑5	円形	88 × 81	74 × 68	18	
土坑6	隅丸長方形	91 × 60	76 × 38	25	
土坑7	不整形	125 × 88	20 × 11	32	土器、礫
土坑8	方形	77 × 74	60 × 53	35	土器
土坑9	円形	315 × 308	150 × (55)	75	土器、陶磁器
土坑10	楕円形	134 × 70	105 × 36	50	
土坑11	不明	(101) × 70	(70) × 28	42	
土坑12	不明	(132) × (64)	(119) × (50)	32	
土坑13	井戸1に変更	×	×		
土坑14	円形	156 × 117	152 × 123	56	土器
土坑15	長方形	124 × 83	97 × 55	32	
土坑16	不明	216 × 197	114 × 80	42	石器
土坑17	不明	(245) × 215	(195) × 184	31	土器、礫
土坑18	楕円形	212 × 100	50 × 39	66	
土坑19	不整形	260 × 55	231 × 27	54	礫
土坑20	不明	242 × (39)	190 × (24)	51	
土坑21	方形	141 × 81	75 × 49	31	
土坑22	不明	300 × (170)	251 × (153)	31	
土坑23	方形	137 × 115	46 × 15	39	
土坑24	不明	139 × (70)	75 × (43)	48	
土坑25	不明	(132) × 115	(95) × 44	47	
土坑26	不明	168 × (55)	135 × (44)	27	
土坑27	隅丸長方形	121 × 74	97 × 47	32	土器

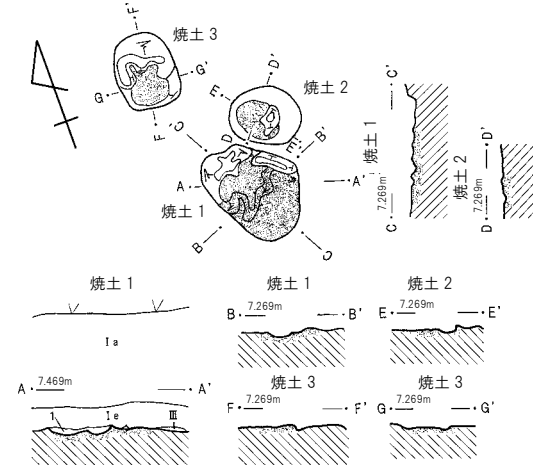
(7) 出土遺物

J10号住居出土遺物

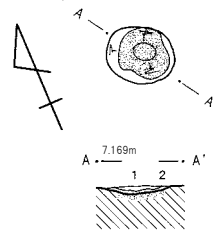
1は、口縁部は一部欠損、胴部も一部欠損するが、全周している。口径31.5 cm。器面の剥落が激しい。口唇部には幅1 cmの5・6個の貼付突起群が4カ所、3個の貼付突起群が1カ所、1個の貼付突起が1カ所、幅3 cmの1個の貼付突起がある。地文に組紐RRLを全面施文の後、①口唇部直下より4本単位の櫛歯工具で鋸歯文、②8本単位の櫛歯のコンパス文、③4～6本単位の櫛歯状工具による鋸歯文を施文後、右上からの刺突文を加えている。(1カ所に沈線で縦に引く、また1カ所に刺突で山形を加える)、④8本単位の櫛歯のコンパス文、③と④の間を組紐帯を③'とすると、①②③③'④は等間隔に区画されている。刺突文は、神ノ木式の影響を受けたものであろう。

2は、口縁部1/4現存。口径(推)34 cm。二股波頂を4単位で全面組紐LLRRを施したもの。器面は風

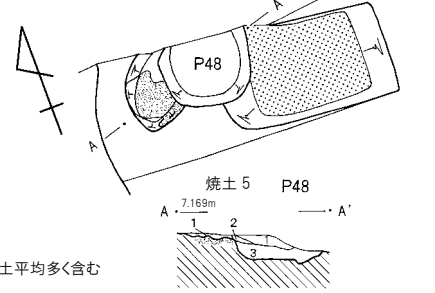
焼土 1～3



焼土 4



焼土 5



焼土 1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下焼土平均多く含む

焼土 4

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下焼土やや多く、1mm 以下ローム粒少し含む
2. 赤褐色土 締り強、粘性有、シルト質の焼土主体

焼土 5

1. 桃灰色土 締り強、粘性強、黄灰色土にシミ状の焼土を多く含む

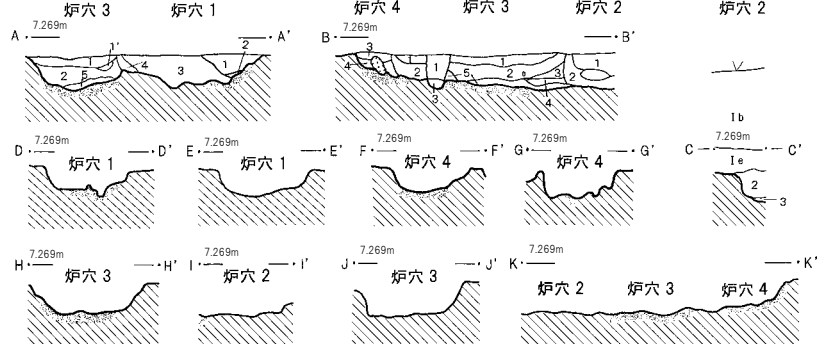
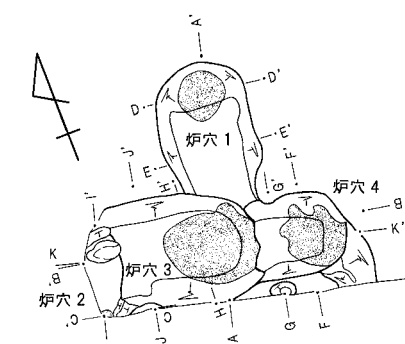
ピット 48

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、3～10mm ロームブロック・粒やや多く含む、酸化土が目立つ

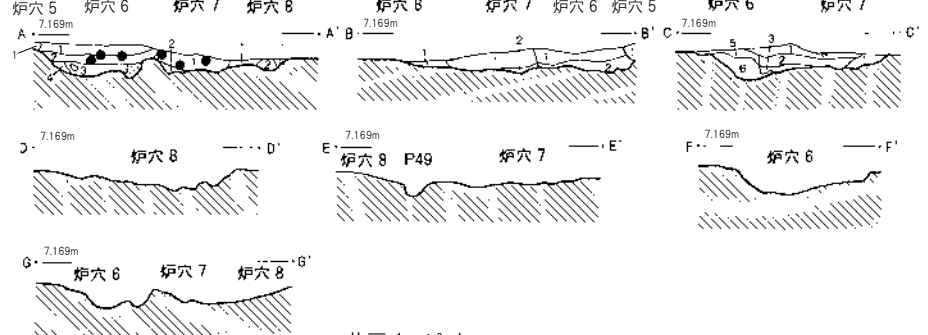
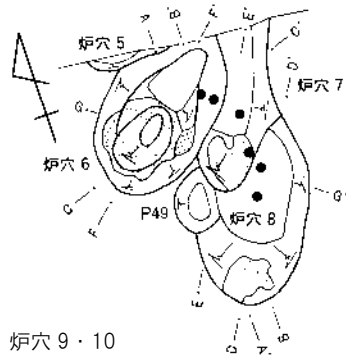
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、焼土面から流れ込む 3mm 以下焼土多く含む、赤灰色味が有る

3. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 層より黒色味強い、5mm 以下ローム粒やや多く、5mm 以下焼土少し含む、酸化土が目立つ

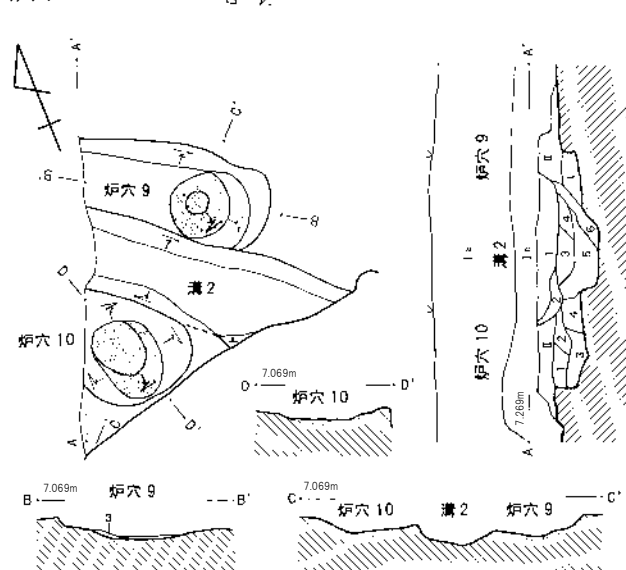
炉穴 1～4



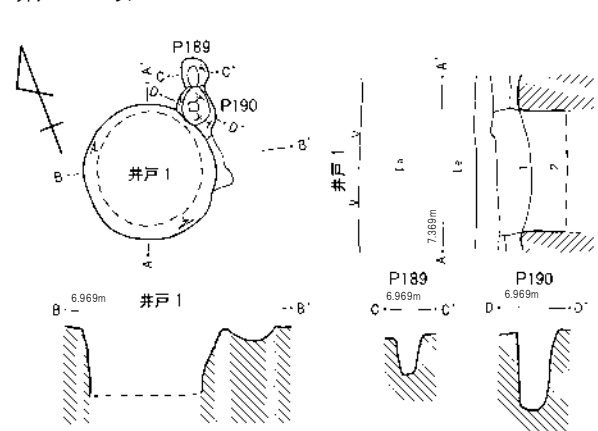
炉穴 5～8



炉穴 9・10



井戸 1・ピット



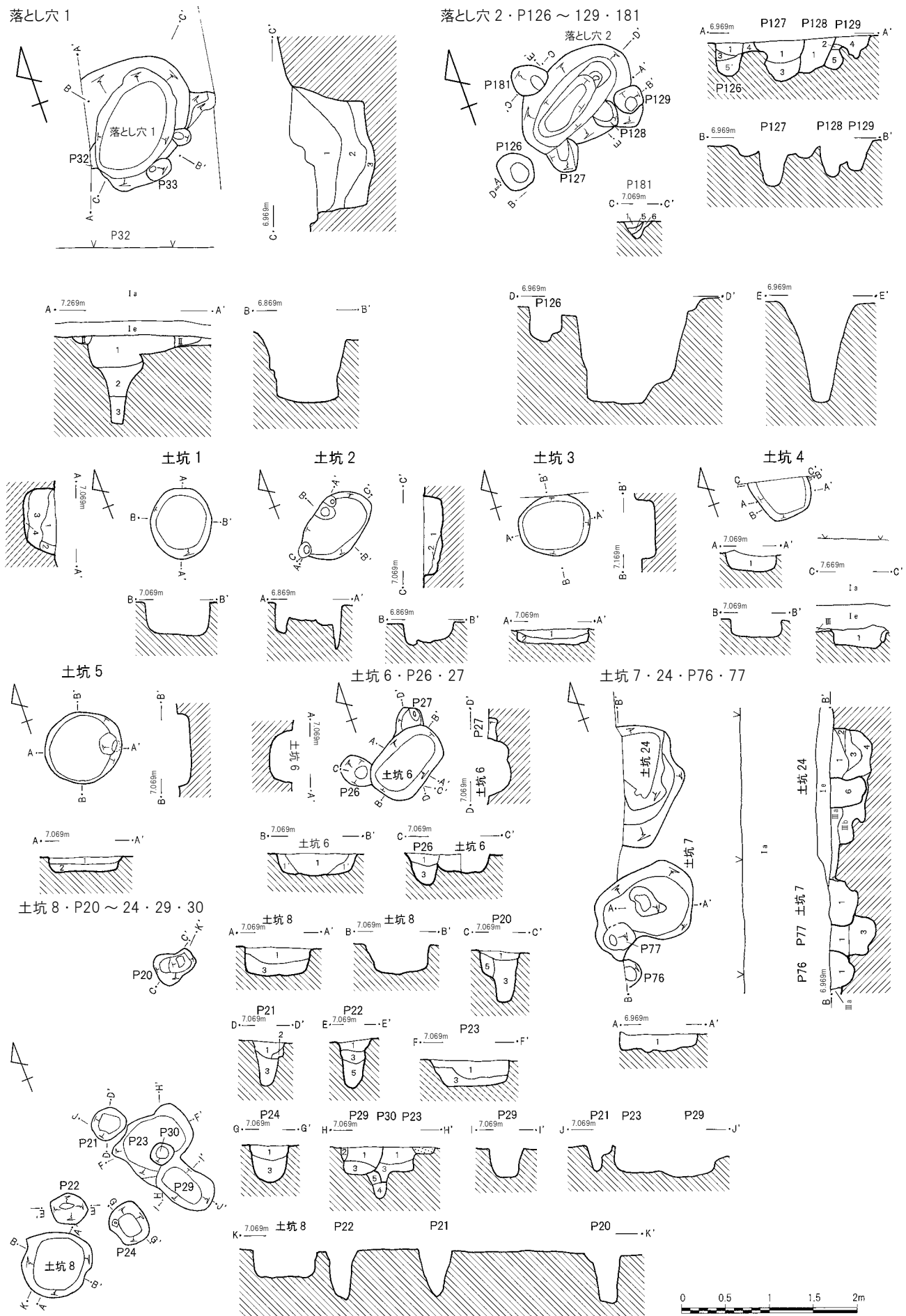
井戸 1

1. 暗褐色土 締り強、粘性強、粘土質、混入物は 5mm 以下炭化物僅かに含むのみ、やや酸化目立つ

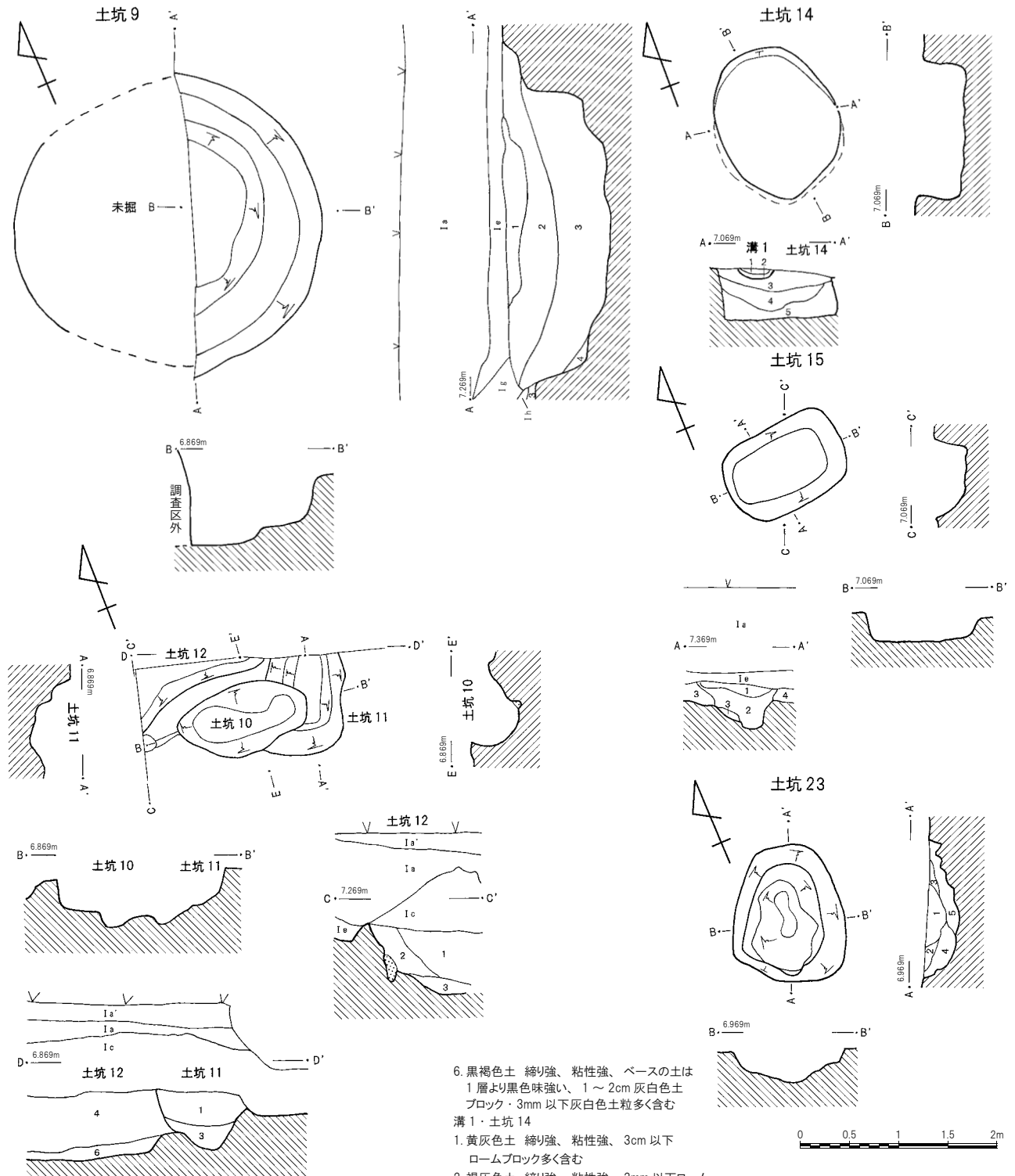
2. 暗褐色土 締り強、粘性強、シミ状に 5cm 以下灰白色土・ブロックを上部に多く含む、上層より酸化目立たない

0 0.5 1 1.5 2m

第 41 図 長宮遺跡第 41 地点焼土・炉穴・井戸・ピット (1/60)



第42図 長宮遺跡第41地点落とし穴・土坑・ピット (1/60)



土坑 9

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、シミ状に 3cm 以下ロームブロック多く含む
2. 灰白色土 締り強、粘性強、シミ状に 3cm 以下ロームブロックやや多く含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性強、1 ~ 2cm ロームブロック少し、材を含む
4. 灰オリーブ色土 締り有、粘性強、5 ~ 10mm ロームブロックやや多く含む

土坑 11・12

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 ~ 8cm 灰白色土ブロック少し含む、ロームブロック・粒が少ない点でピットの 5 層に似る、(酸化土と 1 ~ 2cm 大の灰色粘土は土坑 11 の 1 層にも目立ち、動植物による攪乱と思われる)
2. 灰オリーブ色土 締り強、粘性強、2mm 以下ローム粒多く含む、大型の 17cm 大ロームブロック含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、ベースの土は 1 層より黒色味強い、1 ~ 2cm 灰白色土ブロック・3mm 以下灰白色土粒多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 ~ 8cm 灰白色土ブロック少し含む、ロームブロック・粒が少ない(酸化土と 1 ~ 2cm 大の灰色粘土は、土坑 11 の 1 層にも目立ち、動植物による攪乱と思われる)
5. 灰オリーブ色土 締り強、粘性強、2mm 以下ローム粒多く、大型の 17cm 大ロームブロック含む

6. 黒褐色土 締り強、粘性強、ベースの土は 1 層より黒色味強い、1 ~ 2cm 灰白色土ブロック・3mm 以下灰白色土粒多く含む

溝 1・土坑 14

1. 黄灰色土 締り強、粘性強、3cm 以下ロームブロック多く含む
2. 褐灰色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒やや多く含む

3. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒多く含む、黄灰色味が有る
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 層より黒色味が有る、5mm 以下ローム粒やや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰白色化した 6cm 以下ロームブロックをシミ状に多く含む

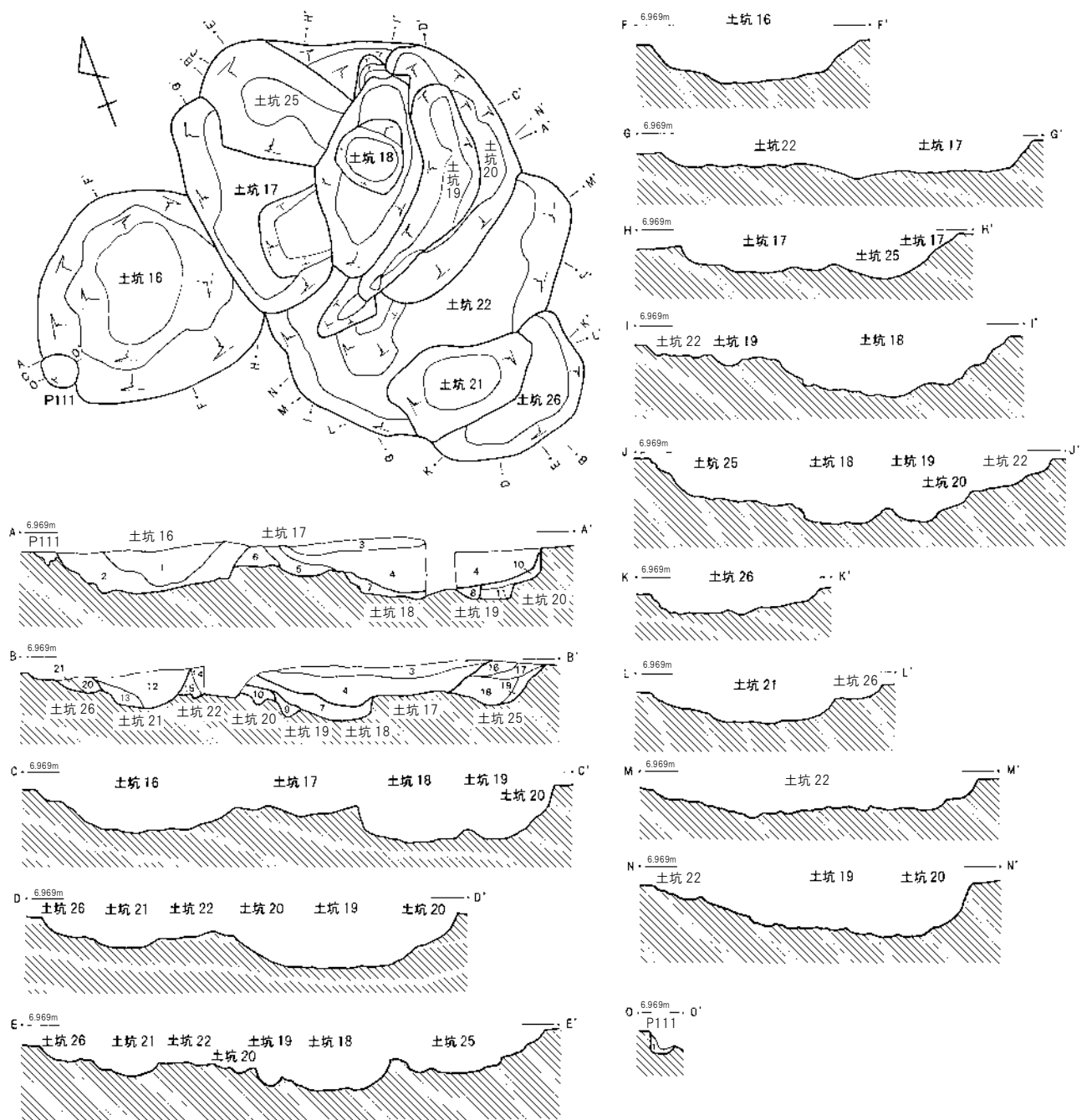
土坑 15

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、3cm 以下灰色粘土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味有る黒褐色土、シミ状にローム土少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味有る黒褐色土、シミ状に 3mm 以下灰白色土・黄白色粒多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、3 層より灰白色土粒少なめ

土坑 23・24

1. 黒褐色土 土坑 1 の 1 層に同じ
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、黄褐色味が有る、3mm 以下ローム粒多く含む
3. 黒褐色土 2 層の黄褐色ローム粒を灰白色土に置き換えたような土質
4. 黄灰色土 締り強、粘性強、シミ状にローム土多く、5mm 以下ローム粒やや多く含む
5. 黄灰色土 4 層のローム土・粒を灰白色土に置き換えたような土質
6. 黄灰色土 締り強、粘性強、2cm ロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む(含有物は少ない)

第 43 図 長宮遺跡第 41 地点土坑 (1/60)



土坑 16

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下灰白色ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下灰白色ローム粒やや多く含む

土坑 17

3. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下灰白色ローム粒やや多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下灰白色ローム粒少し含む、縄文時代の遺物を含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 以下灰白色ロームブロック・3mm 以下灰白色ローム粒やや多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 以下灰白色ロームブロック・粒 3 層より多く含む

土坑 18

7. 黒褐色土 締り強、粘性強、ベースの土は土坑 17 より黒色味強いが、5mm 以下ローム粒やや多く含む、全体の色調は土坑 17 より黄色味が有る

土坑 19

8. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下ローム粒少し含む

9. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰白色ローム粒を多く含む

土坑 20

10. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰白色ロームをシミ状に多く、2cm 以下灰白色ロームブロック少し含む
11. 灰白色土 締り強、粘性強、灰白色のローム主体、3cm 以下ロームブロック、シミ状に黒褐色土を少し含む、1 層より灰色味強い

土坑 21

12. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒少し含む

13. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 以下ロームブロック・5mm 以下ローム粒やや多く含む

土坑 22

14. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 以下灰白色ロームブロック・3mm 以下灰白色ローム粒やや多く含む

15. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下ローム粒多く含む

土坑 25

16. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下黄白色ローム粒やや多く、2 層より色調明める

17. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下黄白色ローム粒・微細なローム粒多く含む、色調明るい

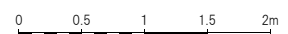
18. 黒褐色土 締り強、粘性強、ベースの土は黒色味強い、5mm 以下灰白色ローム粒少し含む

19. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下黄白色ローム粒多く含む

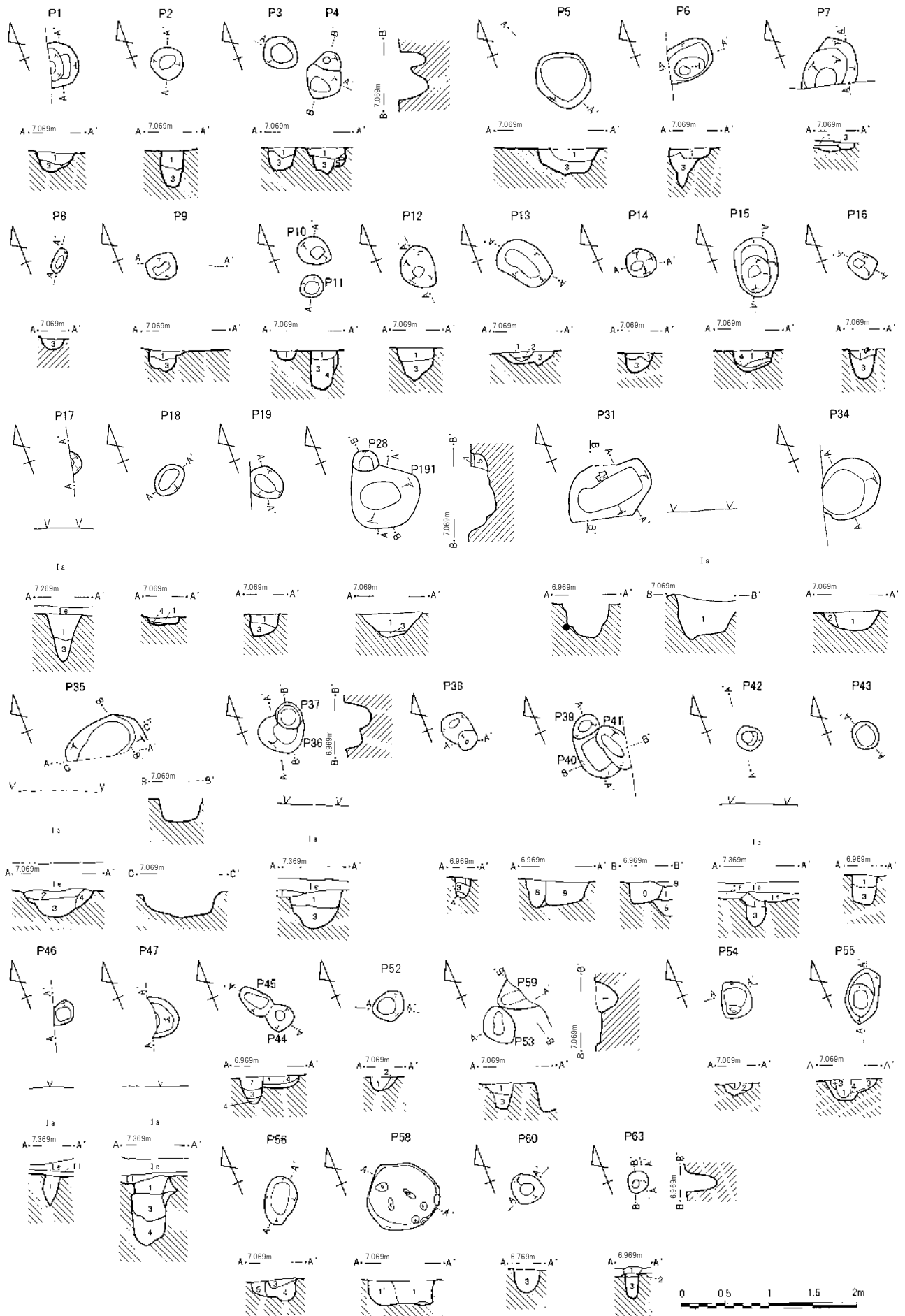
土坑 26

20. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 以下シミ状ロームブロック・5mm 以下ローム粒やや多く含む

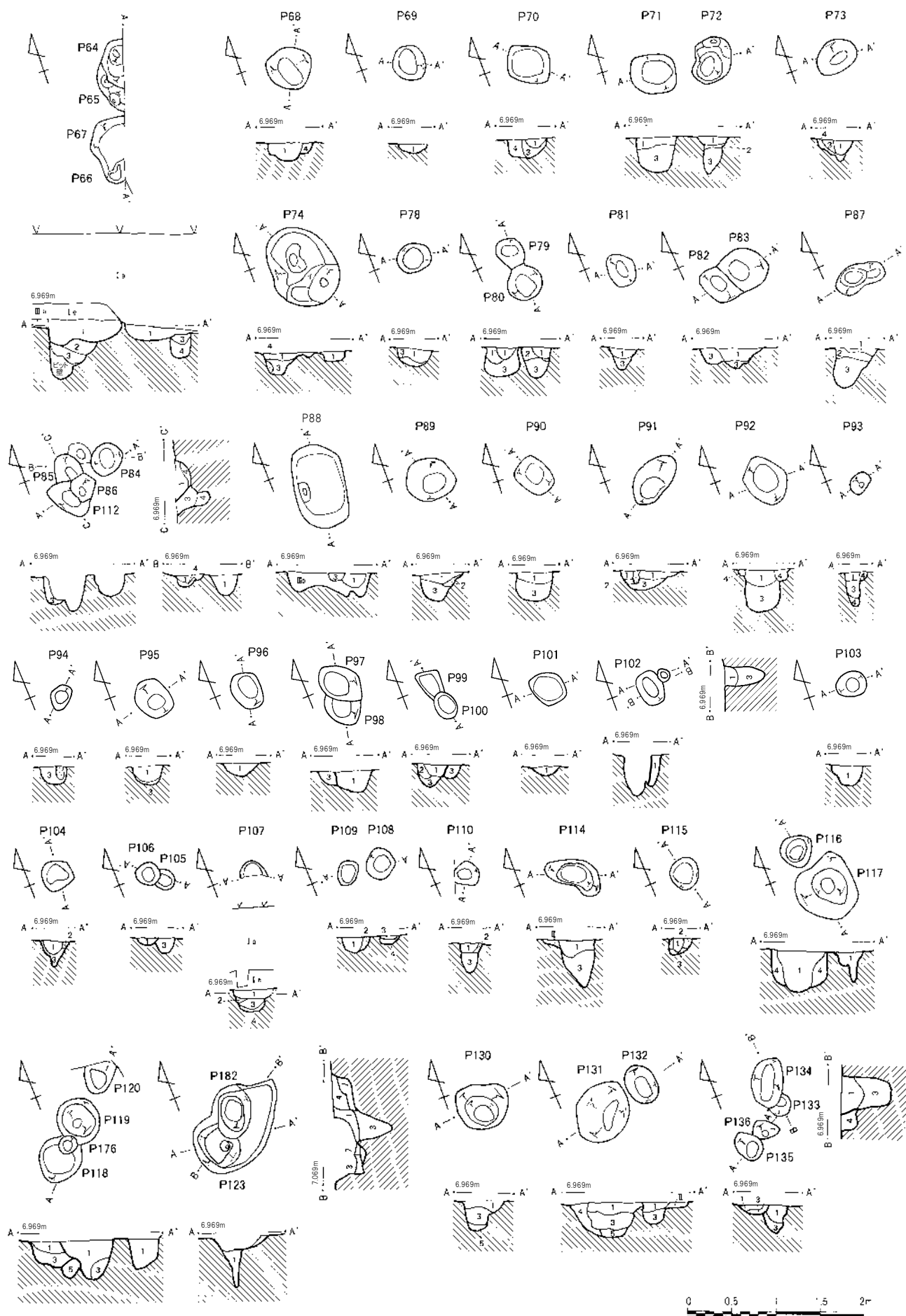
21. 黄灰色土 締り強、粘性強、黒褐色土主体に、シミ状のローム土を多く含む



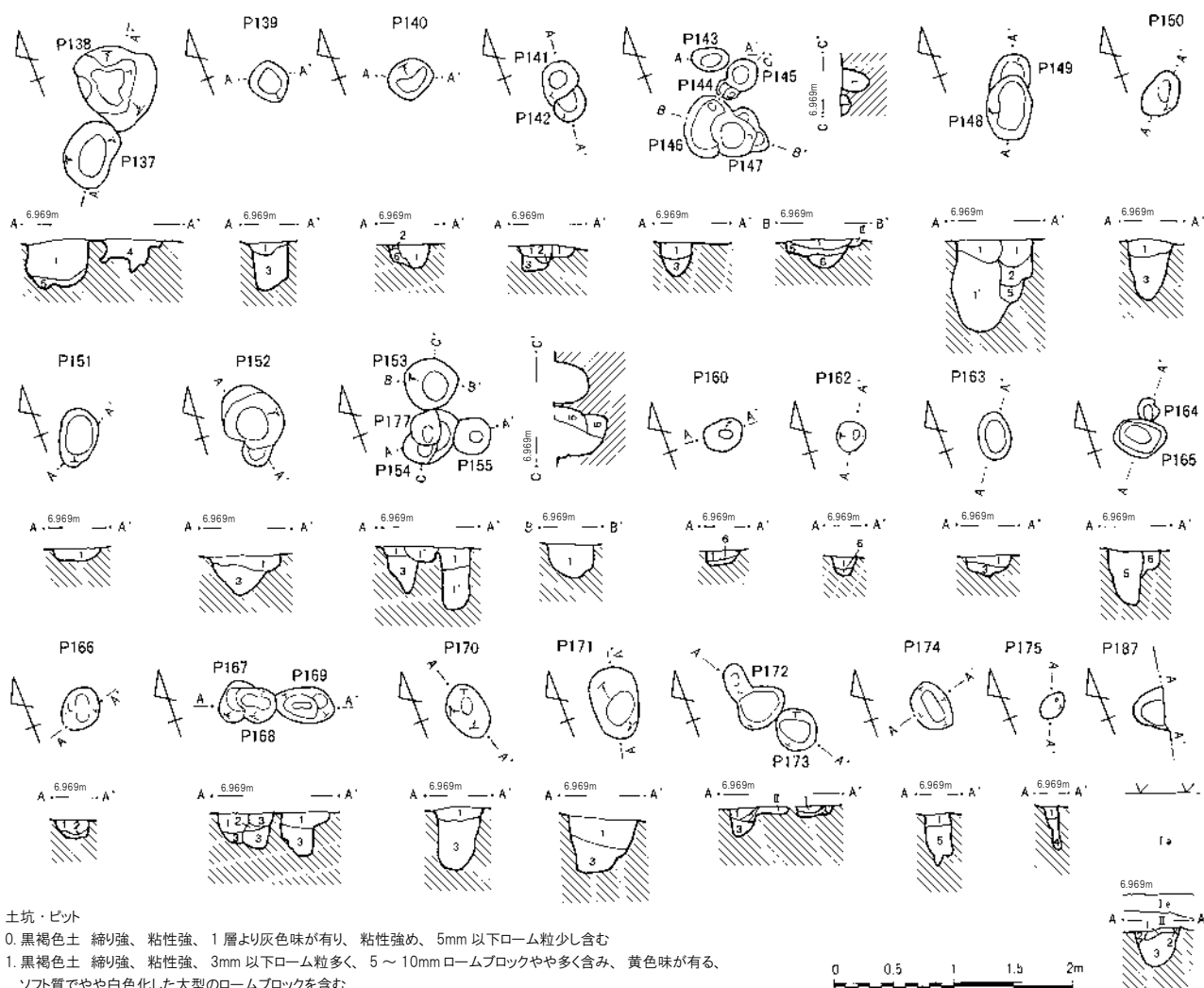
第 44 図 長宮遺跡第 41 地点土坑・ピット (1/60)



第45図 長宮遺跡第41地点ピット① (1/60)



第46図 長宮遺跡第41地点ピット② (1/60)



土坑・ピット

0. 黒褐色土 締り強、粘性強、1層より灰色味が有り、粘性強め、5mm以下ローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm以下ローム粒多く、5～10mmロームブロックやや多く含む、黄色味が有る、ソフト質でやや白色化した大型のロームブロックを含む
- 1'. 黒褐色土 締り強、粘性強、1層に似るが2cm大ロームブロック、5mm以下ローム粒をより多く含む
2. 黄灰色土 締り強、粘性強、(基本的に3層の上)ローム土を多く含む、5～10mmロームブロックやや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、色調は1層より、黒色味強い、5～30mmロームブロックやや多く含む
4. 黄灰色土 締り強、粘性強、黒褐色土とローム土が混ざったような色調、5～10mmロームブロックやや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm以下ローム粒少し含む、3層よりロームブロックは少ない
- 5'. 但し4cm以下灰色粘土多い
6. 黒褐色土主体 締り強、粘性強、5～20mmロームブロック多く含む
7. 鈍い黄褐色土 締り強、粘性強、灰色味有るローム土主体、シミ状に黒褐色土を含む
8. 黒灰色土 締り強、粘性強、粘性特に強い、灰白色化した5mm以下ローム粒多く、1cm大ロームブロック少し含む
9. 黒色土 締り強、粘性強、1層より黒色味が有る、灰白色化した3mm以下ローム粒やや多く含む
10. 黄灰色土 締り強、粘性強、5mm以下ローム粒やや多く含む
11. 黄灰色土 締り強、粘性強、2cmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む(含有物は少ない)

第47図 長宮遺跡第41地点ピット③ (1/60)

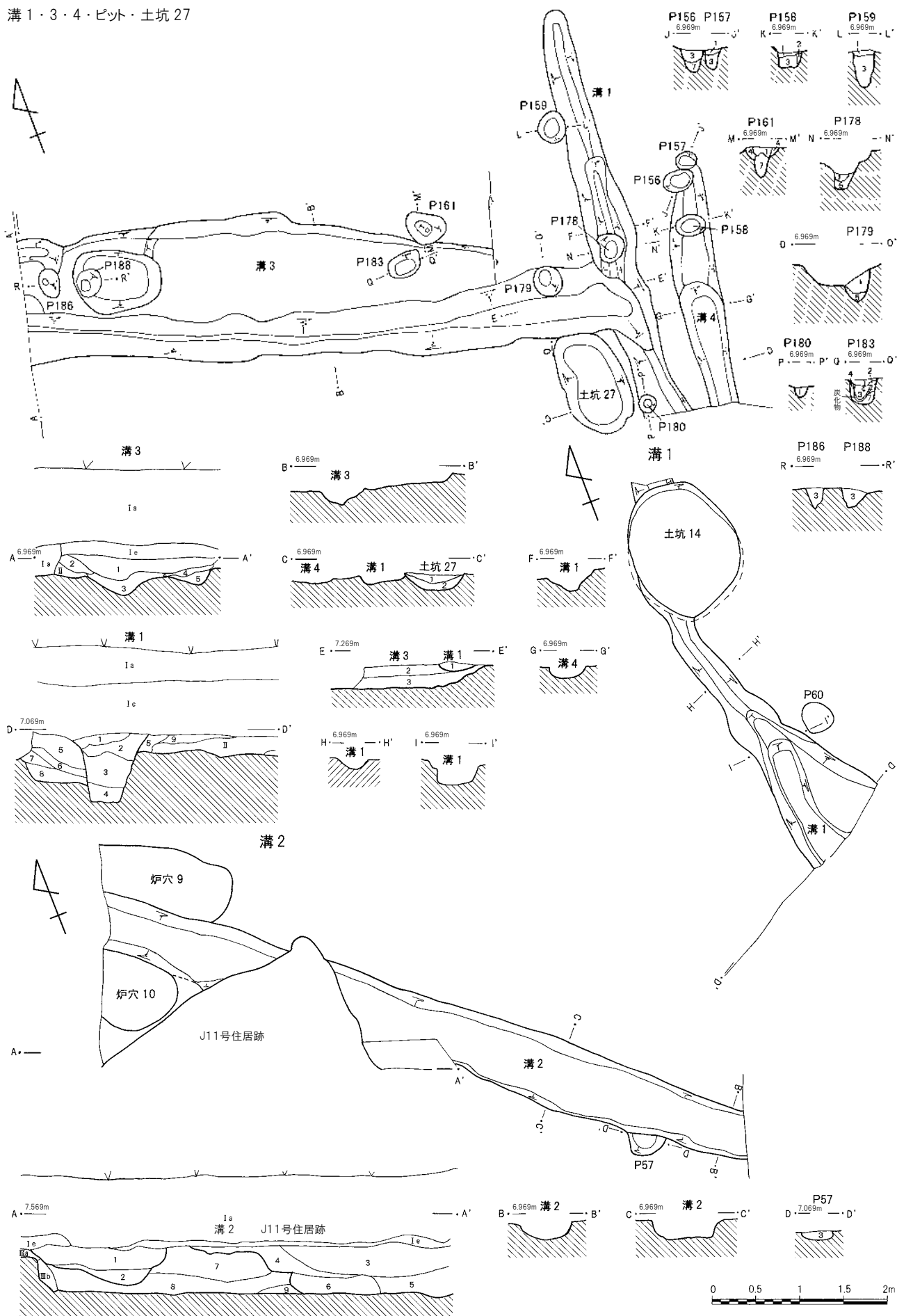
化が激しい。コンパス文等は施文されていないようである。3は、口縁部2/3現存。口径28cm。直線的な半楕円の4単位波状口縁。全面組紐LLRRを施し、口縁直下と同部最大径の箇所には4単位の櫛歯状工具によるコンパス文を施文。

4は、片口土器。口縁部一部欠損するが、破片は全周する。底部はなし。口径(推)22.5cm。片口の幅は1cmで、現状では大人の指はぎりぎりに入らない。焼成により縮んだものと思われる。口唇部直下からLR単節の端末ループ文を7段ほど横位に施す。端末ループは大きめの円をなし、半裁竹管の爪形文に似せているものか。その下には4段の端末ループ文で鋸

歯文をつくり、片口部直下は乱れるが全周し5単位となる。鋸歯文の間には端末ループの原体による横位にLRの単節斜縄文を密に施す。以下、横位の4段ループ文、3段のループ文による鋸歯文と施文がうかがえる。

5は、口径14.5cm。器高15cm。ほぼ全面RLとLRの単節による第1種結節による羽状縄文が施される。6は、台付き浅鉢で、内外面ともに非常に丁寧にみがかれている。文様は外面に付けられ、半裁竹管による2本単位で施文されるが、一部重ねて3本単位となる部分がある。地文には全面組紐が施文されているが擦れている。

溝1・3・4・ピット・土坑27



第48図 長宮遺跡第41地点土坑・ピット・溝 (1/60)

炉穴 1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒・焼土多く含む、全体にローム混じりで黄色味が有る
2. 赤褐色土 締り強、粘性有、5mm 大焼土多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 層より黒色味が有る、2mm 以下ローム粒多く、2mm 以下焼土少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む、3 層より黒色味強い

炉穴 2

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下橙褐色・赤褐色焼土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下赤褐色焼土多く含む
- 2'. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状にローム土やや多く含む
3. 赤褐色土 締り強、粘性有

炉穴 3

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
- 1'. 黒褐色土 締り強、粘性有、混入物少ない、1mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土主体にシミ状にローム土・焼土を多く含む、5mm 以下焼土粒を多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に 5mm 以下ローム粒多く含む、褐色味が有る
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・焼土多く含む

炉穴 4

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下焼土少し含む（炉穴 3 の 1 層より色調明るい）
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ロームの細粒多く含む、黄色味が有る、3mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
3. 褐灰色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、5mm 以下焼土少し含む
4. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、シミ状に 5mm 以下焼土少し含む

炉穴 5

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒多く、3mm 以下焼土少し含む

炉穴 6

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む、1 層よりロームの細粒が少なく、黒色味強い
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下焼土やや多く含む、2 層より黒色味強い
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒多く含む
5. 桃灰色土 締り強、粘性強、白色味有る焼土主体
6. 黄灰色土 締り強、粘性強、シミ状に桃灰色の焼土を多く含む

炉穴 7

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、黄灰色味が有る、5mm 以下ローム粒多く、5mm 以下焼土少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に 1cm 大ロームブロック・1cm 大焼土少し含む
3. 黄灰色土 締り強、粘性強、シミ状に 3mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下焼土少し含む

炉穴 8

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、2mm 以下ローム粒多く、3mm 以下焼土少し含む
2. 赤褐色土 締り強、粘性強、焼土主体、黄灰色土をシミ状に少し含む

炉穴 9

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、2cm 以下灰白色土をシミ状に、2mm 以下焼土やや多く含む

炉穴 9・10・溝 2

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、粘土質、3mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、粘土質、灰色味が有る、3mm 以下ローム粒少し含む
3. 緑灰色土 締り強、粘性強、粘土質、黒褐色土ベースで 5cm 緑灰色粘土ブロック主体
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒・緑灰色粘土粒多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性強、2 ～ 5cm 緑灰色粘土ブロック、1 ～ 3cm ロームブロックやや多く含む

6. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 以下ロームブロック・粒・緑灰色粘土少し含む

炉穴 10

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、1mm 以下ロームの細粒やや多く含む、黄灰色味が有る
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、1mm 以下ローム粒やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、5 ～ 20mm ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒やや多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、1mm 以下ローム粒少し含む

落とし穴 1

1. 黒褐色土 締り有、粘性強、5 ～ 30mm 灰白色ロームブロック・2mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 + 白色土 締り強、粘性強、黒褐色土を主体に灰白色化したローム土を多く含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性強、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
全体に植物根状の酸化土が目立つ

ピット 32

1. 黒褐色土 締り有、粘性強、5 ～ 30mm 灰白色ロームブロック・2mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、シミ状に灰白色土をやや多く、5 ～ 40mm ロームブロック少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、シミ状に灰白色土、5mm 以下ローム粒やや多く含む

土坑 1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、色調明るい
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、色調やや灰色味が有る
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む
- 4'. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒、2 ～ 10mm 焼土もしくは土器片やや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む、黒色味強い
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、ソフト質ローム土や 2cm 以下ロームブロック多く含む
8. 黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム土をベースにロームブロック主体、貼床構築土の可能性がある

土坑 3

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、1cm 大ロームブロック多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 層より黒色味有る、5mm 以下ローム粒やや多く含む、5cm 灰オリーブ色ロームブロック少し含む

土坑 4

1. 土坑 3 の 2 層に同じで酸化土が目立つ

土坑 27

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、色調は灰色味が有る、シミ状に 1cm 大ロームブロック、1mm 以下ローム粒少し含む
2. 黄灰色土 締り強、粘性強、黒褐色土主体にシミ状のローム土を多く含む

溝 1 D-D'

1. 黄灰色土 締り強、粘性強、5 ～ 15mm ロームブロックやや多く含む、酸化土目立つ
2. 黄灰色土主体 締り強、粘性有、8cm 以下ロームブロック主体
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、5 ～ 50mm ロームブロックやや多く含む、酸化土目立ち、灰色味も有る
4. 黒褐色土 締り有、粘性強、含水しており締り上層より弱い、5mm 以下ローム粒やや多く含む、色調灰色味が有る
5. 黒褐色土主体 締り強、粘性有、5 ～ 50mm ロームブロック、細かな 1mm 以下ローム粒多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性強、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
7. 淡黄褐色土 締り強、粘性強、黄褐色と灰白色化したローム土が混ざる
8. 黒褐色土 締り強、粘性強、3cm 以下ロームブロックシミ状にやや多く含む
9. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒少し含む、やや酸化土目立つ

溝 2 A-A'

1. 黒褐色土 締り強、粘性強、5mm 以下ローム粒多く含む、全体の色調は褐色味が有る
2. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味有る黒褐色土、5mm 以下ローム粒多く含む
3. 黒色土 締り強、粘性強、粘土質、5cm 以下緑灰色粘土シミ状にやや多く含む
4. 黒色粘土主体 締り強、粘性強、ブロック状の緑灰色粘土主体
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、灰色味有る黒褐色土、粘土化した黄褐色ロームをやや多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味有る黒褐色土主体に、粘土化した 3cm 以下黄褐色ロームブロックを多く含む、ややボソボソしている
7. 黒褐色土 締り強、粘性強、灰色味有る黒褐色土、3mm 以下ローム粒多く含む
8. 黒褐色土 締り強、粘性強、黒色味強い、4cm 以下ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒多く含む、3 ～ 10mm 炭化物、縄文遺物やや多く含む
9. 8 層より褐色味が有る、5mm 以下ローム粒多く含む、3 ～ 10mm 橙褐色土・5mm 以下炭化物少し含む

溝 3 A-A'

1. 黄灰色土 締り強、粘性強、1cm 以下灰白色ロームブロック多く含む
2. 黄灰色土 締り強、粘性強、3mm 以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性強、1 ～ 3cm ロームブロック少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、シミ状に灰色粘土を多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性強、色調黄灰色味が有りシルト質、3mm 以下ローム粒少し含む

溝 1・溝 3 E-E'

1. 褐灰色土 締り強、粘性強、2mm 以下ローム粒少し含む
2. 褐灰色土 締り強、粘性強、5mm 以下灰色粘土粒・3mm 以下ローム粒やや多く含む
3. 褐灰色土 締り強、粘性強、1 層より黒色味が有る、5mm 以下ローム粒やや多く含む

第17表 長宮遺跡第41地点ピット一覧表(単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	不明	51 × (32)	13 × (5)	28	
P2	円形	38 × 35	16 × 16	45	
P3	円形	37 × 37	24 × 20	29	
P4	不明	40 × 38	22 × 17	33	
P5	円形	68 × 59	54 × 47	25	土器
P6	不明	(52) × 45	11 × 10	42	
P7	不明	(53) × 50	23 × (20)	20	土器、礫
P8	方形	28 × 14	16 × 6	13	土器
P9	円形	34 × 28	20 × 9	24	
P10	円形	36 × 33	14 × 13	50	
P11	円形	27 × 25	17 × 14	14	
P12	円形	48 × 43	12 × 10	37	
P13	長方形	64 × 41	44 × 18	15	
P14	円形	33 × 32	16 × 10	23	
P15	横円形	66 × 46	15 × 11	26	土器
P16	方形	32 × 26	11 × 10	36	土器
P17	不明	27 × (12)	10 × (4)	33	
P18	円形	40 × 29	29 × 15	11	
P19	円形	44 × 35	27 × 15	27	
P20	瓢箪形	46 × 37	12 × 8	60	
P21	円形	38 × 37	11 × 7	54	土器
P22	円形	45 × 35	17 × 7	58	
P23	方形	86 × 60	68 × 47	33	土器
P24	円形	47 × 42	26 × 20	42	
P25	円形	29 × 22	9 × 8	29	
P26	不明	(35) × 32	13 × 13	38	
P27	不明	30 × (23)	8 × 3	20	
P28	不明	29 × (23)	17 × (16)	19	
P29	方形	70 × 44	49 × 26	34	
P30	円形	25 × 23	15 × 14	19	
P31	不整形	91 × 60	75 × 30	38	土器、黒曜石
P32	不明	(28) × (6)	—	—	
P33	円形	30 × 19	7 × 5	47	
P34	円形	74 × 63	53 × 47	24	
P35	不明	90 × 45	65 × 36	31	
P36	不明	50 × (28)	28 × (18)	18	
P37	円形	31 × 28	19 × 16	30	
P38	だるま形	46 × 33	3 × 3	23	
P39	円形	32 × 22	15 × 11	36	土器
P40	不明	(52) × (30)	37 × (21)	29	
P41	不明	56 × 30	33 × 12	39	
P42	円形	29 × 27	12 × 12	22	
P43	円形	32 × 30	24 × 19	32	
P44	円形	30 × 29	12 × 10	30	土器
P45	円形	40 × 27	26 × 14	14	
P46	円形	26 × 23	18 × 15	22	
P47	不明	45 × (25)	17 × (3)	59	土器
P48	不明	71 × 53	55 × 46	20	土器
P49	円形	50 × 34	30 × 16	20	
P50	不明	(90) × (61)	(85) × (55)	17	土器
P51	方形	35 × 27	30 × 21	26	
P52	円形	37 × 35	22 × 19	18	
P53	円形	38 × 37	26 × 11	32	
P54	円形	42 × 34	4 × 3	31	
P55	横円形	59 × 37	22 × 15	27	
P56	横円形	57 × 32	35 × 19	23	礫
P57	不明	47 × (23)	28 × (14)	13	土器
P58	円形	83 × 75	74 × 68	27	土器
P59	不明	43 × (29)	(24) × 12	25	
P60	円形	38 × 34	16 × 14	29	
P61	円形	41 × 36	21 × 16	20	土器
P62	円形	39 × 35	19 × 11	26	
P63	円形	24 × 23	9 × 8	34	
P64	不明	58 × (23)	12 × 7	59	
P65	不明	(26) × (25)	4 × 3	34	
P66	不明	75 × (38)	16 × 13	34	
P67	不明	75 × (37)	18 × 13	34	
P68	円形	50 × 47	35 × 19	20	
P69	円形	38 × 36	30 × 19	12	
P70	方形	48 × 42	35 × 30	25	
P71	円形	52 × 43	35 × 27	39	
P72	円形	52 × 43	23 × 15	42	
P73	円形	49 × 36	23 × 10	19	
P74	円形	94 × 75	10 × 8	30	
P75	土坑 7 に変更	—	—	—	
P76	不明	33 × (19)	16 × (14)	17	
P77	不明	38 × 33	11 × 7	52	
P78	円形	39 × 32	23 × 21	20	
P79	円形	34 × 30	19 × 11	35	礫
P80	円形	40 × 38	24 × 20	35	
P81	円形	39 × 31	20 × 10	27	
P82	方形	45 × 28	21 × 17	16	
P83	円形	50 × 45	25 × 18	23	
P84	円形	37 × 34	23 × 15	24	
P85	不明	32 × (30)	(15) × 9	19	
P86	円形	29 × 28	12 × 7	41	
P87	瓢箪形	59 × 30	19 × 14	46	
P88	隅丸長方形	96 × 57	8 × 4	39	
P89	円形	52 × 50	28 × 21	36	
P90	方形	43 × 34	21 × 18	34	
P91	横円形	65 × 37	28 × 20	24	
P92	円形	51 × 45	30 × 26	49	石器
P93	方形	25 × 18	7 × 5	42	
P94	円形	30 × 21	15 × 14	22	
P95	円形	47 × 36	18 × 15	24	土器、礫
P96	円形	42 × 32	26 × 18	17	
P97	方形	48 × 39	32 × 24	27	
P98	不明	41 × (27)	21 × (19)	18	

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P99	不明	30 × (27)	(26) × 16	17	
P100	円形	32 × 23	22 × 15	25	
P101	円形	37 × 37	28 × 28	10	
P102	円形	38 × 29	25 × 11	50	土器
P103	円形	35 × 29	15 × 15	24	
P104	円形	35 × 34	24 × 23	20	
P105	円形	(18) × 17	(14) × 12	6	
P106	円形	27 × 25	14 × 14	19	
P107	不明	30 × (17)	22 × (14)	10	
P108	円形	33 × 31	19 × 17	20	
P109	円形	28 × 22	21 × 16	12	
P110	円形	27 × 26	15 × 12	35	
P111	円形	36 × 32	18 × 11	22	
P112	不明	50 × (30)	23 × (13)	32	
P113	円形	15 × 13	8 × 8	37	
P114	円形	67 × 30	29 × 17	64	
P115	円形	34 × 33	25 × 22	22	
P116	円形	36 × 35	18 × 13	48	
P117	円形	70 × 70	17 × 15	55	
P118	円形	49 × 48	34 × 33	29	
P119	円形	50 × 48	10 × 9	56	
P120	不明	35 × (33)	21 × 18	36	石器
P121	円形	48 × 36	21 × 20	28	
P122	不明	33 × (32)	18 × (16)	25	
P123	不明	49 × 38	3 × 3	47	
P124	円形	35 × 34	18 × 17	42	
P125	円形	63 × 50	25 × 14	73	石器、礫
P126	円形	43 × 38	22 × 18	41	
P127	不明	(36) × 35	(21) × 13	46	
P128	不明	(27) × 23	22 × (18)	36	
P129	円形	33 × 30	15 × 13	32	
P130	円形	68 × 51	22 × 18	37	
P131	円形	73 × 59	35 × 12	43	土器、礫
P132	円形	47 × 34	25 × 14	24	
P133	不明	25 × (16)	10 × (9)	20	
P134	横円形	56 × 35	42 × 15	61	
P135	円形	37 × 27	19 × 14	12	
P136	円形	30 × 21	8 × 7	29	
P137	横円形	57 × 39	36 × 21	46	
P138	円形	71 × 70	31 × 27	30	
P139	円形	33 × 31	19 × 19	42	
P140	円形	36 × 33	27 × 13	20	
P141	円形	31 × 29	16 × 13	30	
P142	不明	29 × (22)	16 × (15)	12	
P143	円形	32 × 20	19 × 11	28	土器、石器
P144	不明	35 × 24	6 × 4	16	
P145	円形	28 × 25	14 × 14	25	
P146	不明	52 × (23)	41 × (17)	12	
P147	円形	36 × 36	22 × 20	23	土器
P148	横円形	53 × 37	40 × 20	89	
P149	不明	32 × (17)	18 × (11)	54	
P150	円形	38 × 24	19 × 10	50	礫
P151	円形	48 × 32	33 × 23	13	
P152	不整形	68 × 50	27 × 26	33	
P153	円形	44 × 44	24 × 20	30	
P154	不明	51 × 32	11 × (8)	32	
P155	円形	32 × 30	11 × 10	55	土器
P156	円形	36 × 23	18 × 9	28	
P157	円形	25 × 18	20 × 11	25	
P158	円形	34 × 24	21 × 12	17	
P159	円形	33 × 32	23 × 16	43	土器、石器
P160	円形	34 × 25	11 × 7	16	
P161	円形	44 × 39	4 × 3	35	
P162	円形	25 × 23	9 × 6	18	
P163	円形	40 × 27	26 × 17	17	
P164	不明	(18) × 17	(11) × 8	12	
P165	円形	41 × 33	23 × 11	48	
P166	円形	35 × 29	24 × 11	21	
P167	不明	36 × 23	17 × (7)	24	
P168	不整形	35 × 30	25 × 10	36	
P169	横円形	48 × 30	16 × 5	38	
P170	円形	48 × 34	15 × 8	49	
P171	横円形	60 × 40	29 × 21	50	
P172	瓢箪形	58 × 43	11 × 7	27	
P173	円形	36 × 33	27 × 17	14	
P174	円形	42 × 29	29 × 10	49	
P175	円形	25 × 19	4 × 3	39	
P176	円形	22 × 20	12 × 9	41	
P177	円形	28 × 25	15 × 9	45	土器
P178	円形	33 × 27	19 × 14	32	
P179	円形	32 × 32	17 × 13	41	
P180	円形	21 × 18	9 × 9	17	
P181	不明	40 × (37)	(17) × 12	18	
P182	横円形	53 × 37	24 × 18	51	土器
P183	円形	40 × 27	24 × 15	31	
P184	円形	35 × 30	17 × 13	61	土器、礫
P185	不明	37 × (30)	14 × 11	53	土器、石器
P186	円形	31 × 24	7 × 6	24	土器
P187	不明	36 × (26)	21 × (20)	30	
P188	円形	29 × 29	12 × 10	22	
P189	円形	23 × 20	16 × 10	38	
P190	不明	32 × (28)	7 × 7	62	
P191	円形	77 × 72	45 × 31	34	

7～10は半裁竹管で文様を施文したもの。7は片口土器。組紐 LLRR。半裁竹管でカマボコ状の沈線で重鋸歯文を構成するもの。交点に円形の押捺がある。8は組紐 RRRR。半裁竹管を重ねてカマボコ状に集合沈線4本となる。9は組紐 LLRR。半裁竹管でカマボコ状の平行線。10は半裁竹管を重ねてカマボコ状に集合沈線、ループ文を多段化して施文。11は口縁直下に2本の半裁竹管の間にコンパス文を施文したもので組紐は LLRR。12は4本単位の櫛歯で鋸歯文を描くもの。地文は LLRR。

13～17は櫛歯でコンパス文を加えたもの。13は、波状口縁。現存 1/4。全面組紐 LLRR。口縁部とくびれ部に6本の櫛歯状工具でコンパス文を施文したものの。14と15は同一個体。波状口縁。器面の風化が激しく組紐は不明。くびれ部に櫛歯状工具によるコンパス文が施文。16も波状口縁でくびれ部にコンパス文を施文。LLRR。17はLRの単節でくびれ部に櫛歯状工具でコンパス文。

18～25は沈線やコンパス文がないもの。18は口縁部を1/3欠損するが底部・胴部は全周する。片口土器で0段1条による組紐。19は風化が激しい。口縁部直下は無紋。以下詳細が不明な組紐。20は0段1条による組紐。21は組紐 RRLL。22と23は同一個体。口縁 1/2 現存。片口土器で縄文原体が緩くなったものか組紐は不明。23は LLRR の組紐。25は多段化したループ文。

26～38は上記の胴部破片。26～28は櫛歯状工具によるコンパス文がつくもの。いずれも組紐は LLRR。26の櫛歯は8本、27は6本、28は4本と思われる。29は半裁竹管による平行沈線の直下に全面組紐 LLRR を施したもの。30・31・32 胴部下半の土器で同一個体の可能性がある。組紐 LLRR である。33・34も組紐 LLRR である。35は RRLL、36は LLRR。37は不明。38は RRLL の組紐。

39は正反の合による異状斜縄文で羽状であるが菱形を構成したものと思われる。

40～44は底部の破片。いずれも、底部は上げ底で、底部側面が横に張り出す。40の組紐は風化により不明。41・42は0段による組紐。43はRLの単節。44は、正反の合による菱形を構成する。

45は、口唇部直下に3条の刺突列が廻る特異な土器。刺突列の直下に3本の櫛歯のコンパス文、縄文RLの単節が施されている。3条の刺突のうち最上段は、そ

れ以下の2本とは別に施されたようである。神之木式の影響があろう。刺突列について、早坂広人氏に見てもらったところ、なんらかの縄文の原体によるものという。刺突は深さ2mm、直径2mmで、竹のような工具の疑いもある。

J11 号住居

1・2は、全面組紐で半裁竹管で文様を施文。口縁部に半裁竹管で集合沈線による鋸歯文を描く同一個体の破片。波状口縁。地文は組紐であるが、風化が著しく不明。

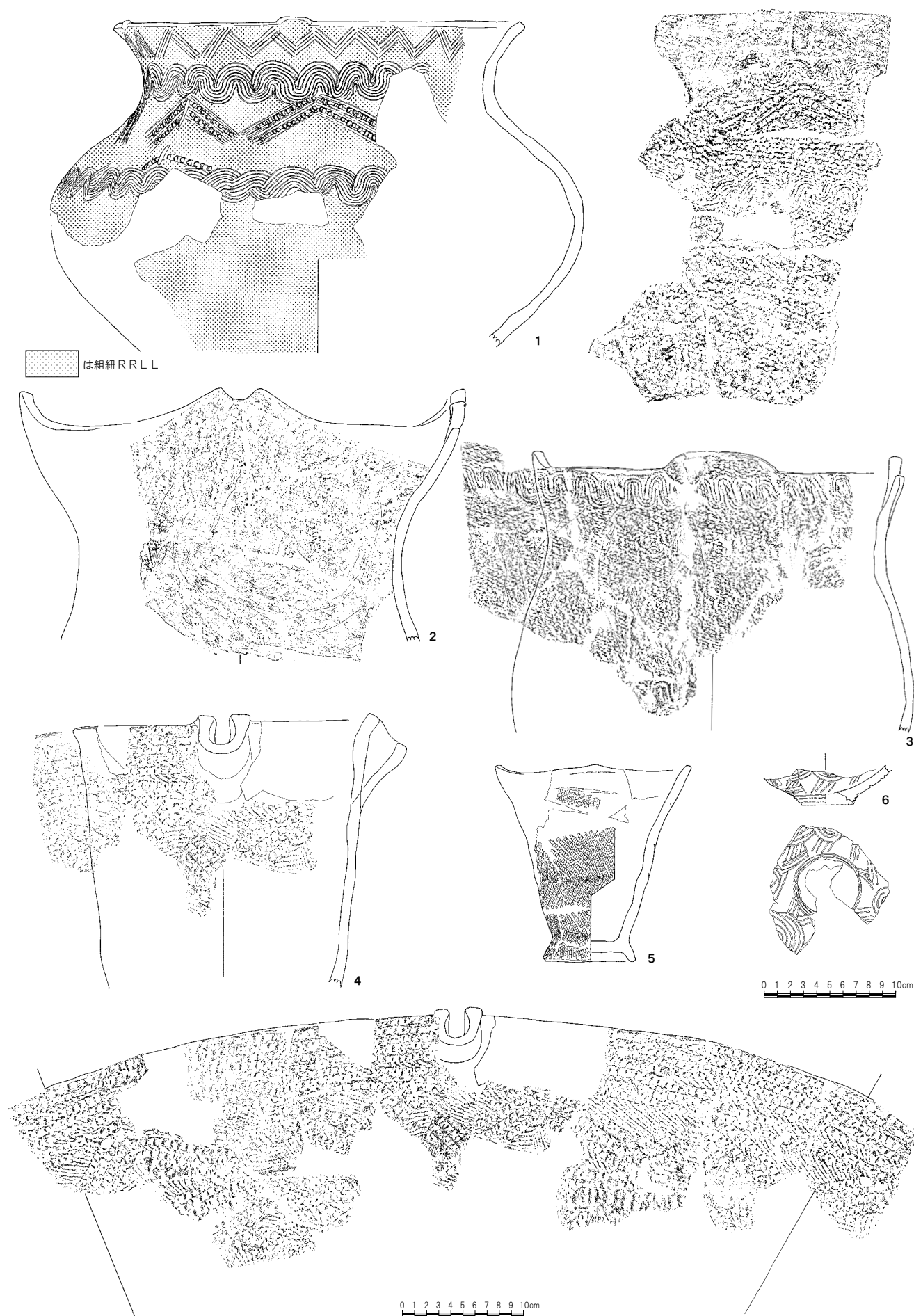
3～11は全面組紐を施文後、櫛歯で文様を施文するもの。3は、全面組紐 RRLL を施した後、口唇部に4本の櫛歯による横S状に入り組むコンパス文とその下に半裁竹管による一条の鋸歯文。4は、全面 LLRR の組紐を施文の後、4本の櫛歯によるコンパス文を口唇部から8cmの等間隔で施文。胎土に2～3mmの白色の砂粒（石英か）や黒色の砂粒を含む。5は、片口土器で、口唇部直下に6本の櫛歯のコンパス文。全面組紐を施文するが摩耗のため不明。6は、台付き浅鉢。組紐 LLRR で6本の櫛歯により、口唇部と脚の境に2段のコンパス文。コンパス文の間隔は7cmほど。7・8は二股波状口縁の同一個体。口唇部に5本の櫛歯によるコンパス文。RLの単節。9は、口唇部に半円状の突起が直立してつく。4本の櫛歯によるコンパス文であるが、半円の突起部には口縁に沿って櫛歯文を直線施文。組紐は RRLL。10は、平縁の土器で5本の櫛歯、組紐 LLRR。11は、内傾する平縁の土器。口唇部と胴部に6本の櫛歯によるコンパス文を上下7cmの間隔で施文。組紐 LLLL。

12・13・14は全面組紐で施文するもの。12・13は全面組紐 LLLL を施文。14は半円状突起に0段の組紐。

15～18は、正反の合による原体で施文し、コンパス文が施文されている。15は非常に摩耗しているが、菱形に施文構成し、くびれ部に櫛歯によるコンパス文が施文。16は片口土器で、口唇部直下と胴部に5本単位の櫛歯によるコンパス文が施文されている。17も口唇部に櫛歯ではなく半裁竹管によるコンパス文を施文。18は、口唇部より6cm下にコンパス文。

19は、1/2 現存。口径 14.5 cm。地文 LRL の複節を施文。小形の単口縁の土器。

20～27は、上記の類の胴部破片。20は RRLL。21・22は同一個体。6単位の櫛歯によるコンパス文。



第50図 長宮遺跡第41地点J10号住居跡出土遺物① (1/4)



第 51 図 長宮遺跡第 41 地点 J10 号住居跡出土遺物② (1/4)

2種の前前段合燃の原体で羽状縄文とする。幅10mmの半裁竹管によるコンパス文を施文。23は6本単位の櫛歯によるコンパス文。0段の組紐。風化が激しい。11と同一の破片かもしれない。24はLとRをR巻きにした撚り戻し。

25～27は、正反の合で、菱形に施文したものであろう。

28～32は上記の類の底部破片である。28はRLとLRの単節による菱形の縄文になったもの。29は上げ底が台のように横に張出す。底部に櫛歯によるコンパス文を施文。30は風化していて詳細は不明。31・32は、上げ底だが、横に張り出さない。31は組紐LLRR。32はLRとRLの単節による羽状縄文。

33・34はその他の破片。33は、補修孔がある。途中で止めた未完の補修孔もある。縄文はLRの原体にLを2本単位に付加したものか。器面は薄く、丁寧な磨きが施されてる。

34は、土器型式不明である。地文はない。口唇部上面に、粘土を貼り付けたものか否か不明であるが、刻みを付けている。器面に幅2.4cm・厚さ3mmほどの粘土紐を貼り付けている。口唇部直下に横一条を貼り付け、円形と交点から斜め方向に貼り付けている。粘土紐の上には半裁竹管による斜め45度で右上から押し引きを3条をカマボコ状に粘土紐全面に施す。胎

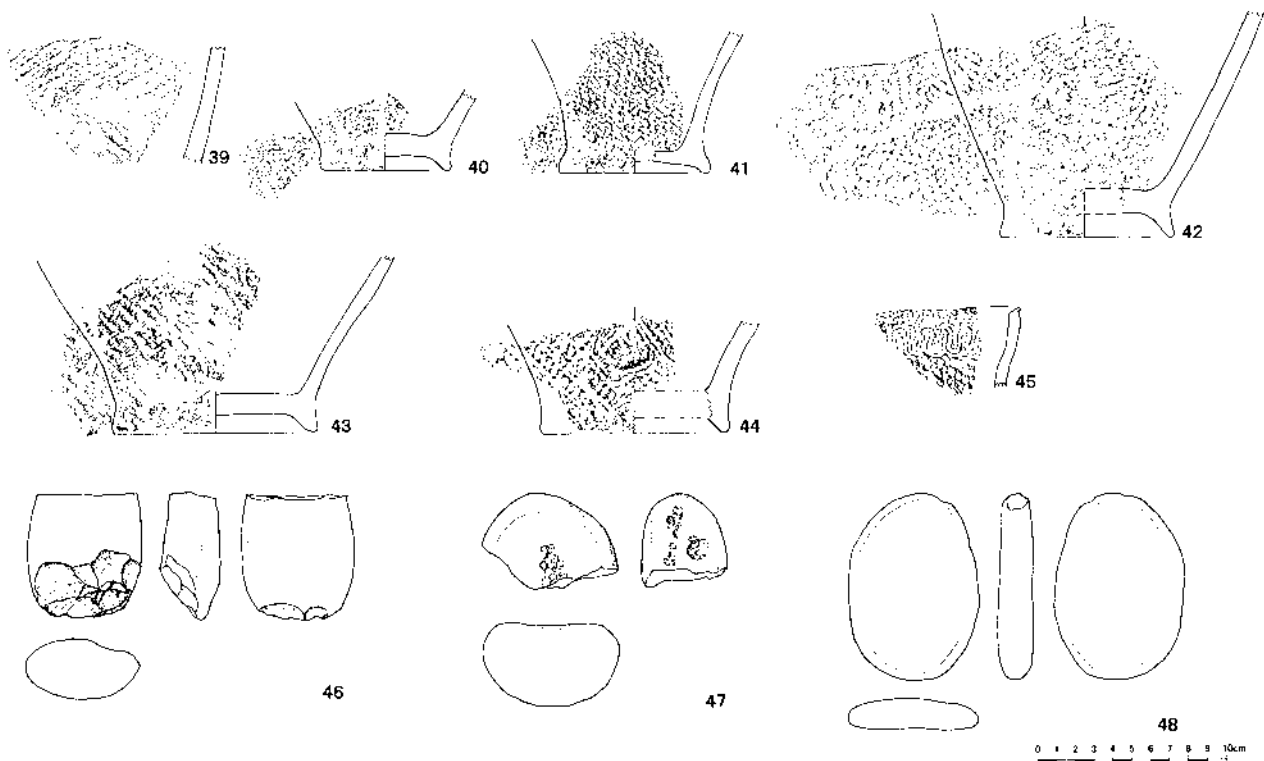
土・色調は黄がつよい褐色で、口縁断面には黒い層が厚く、以下徐々に薄く、サンドイッチ状になっている。繊維はみたところ確認できないようである。関山式とは全く異にし、インパクトの強い土器破片である。

これについては、何人かの研究者の手を煩わした。新井和之氏は、時期を除外して考える必要があるのではないかと、という観点から、半裁竹管の押し引きの技法の類似から、十三菩提式の可能性を示唆された。早坂広人氏、鈴木徳男氏は、検討が付かないが同一時期を前提とし、東海系を考える必要があろう、というものでした。

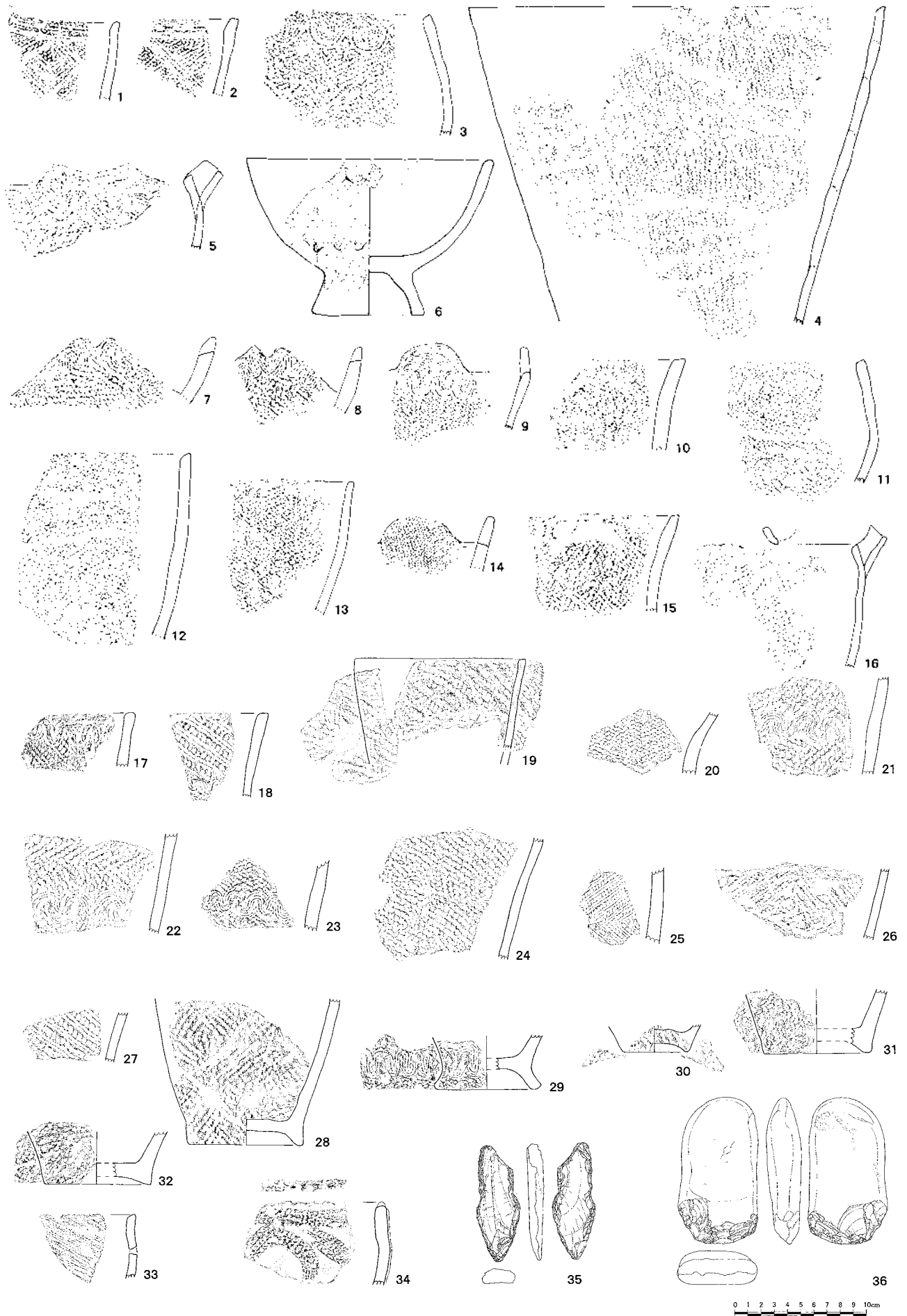
J12号住居出土遺物

1は、口径16cmの小型の土器。RLの単節を横位に施文。2は、全面半裁竹管による全面格子状に施したもの、口唇部直下に櫛歯状工具で縦にコンパス文が細長く施文されている。3は風化が激しいが撚り戻しか。4は0段4条を施文。5は、櫛歯のコンパス文のみ。6は正反の合による菱形文。

7～16は地文が組紐によるもの。7・8はLLRR。9はRRRR。10は0段による組紐。11はRRRR。12・13は同一個体でLLLL。14はRLRの複節。15はRRLL。16はRRLL。17はRRLの撚り戻しか。18はRLの多段ループ文に櫛歯状工具で縦長のコンパス文を施文。19は開端自条結節。20は前前段合撚らし

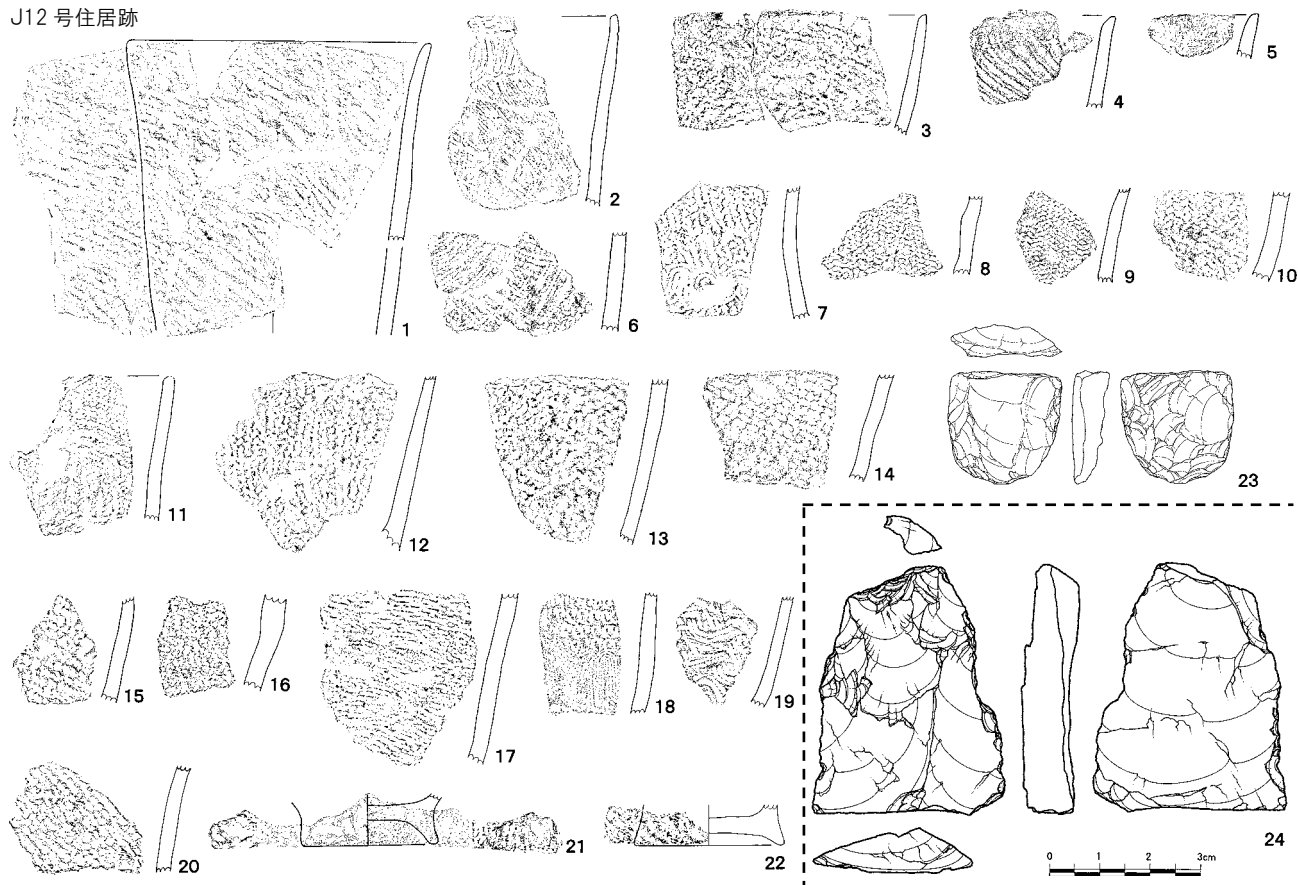


第52図 長宮遺跡第41地点J10号住居跡出土遺物③ (1/4)

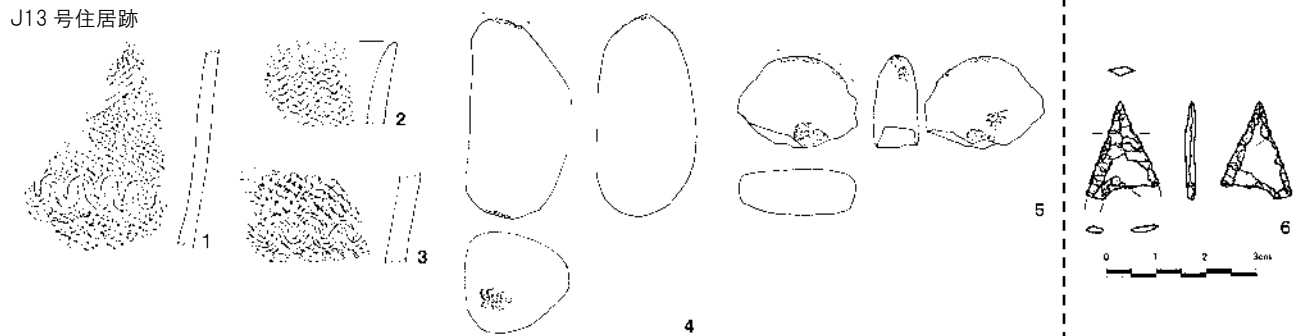


第 53 図 長宮遺跡第 41 地点 J11 号住居跡出土遺物 (1/4)

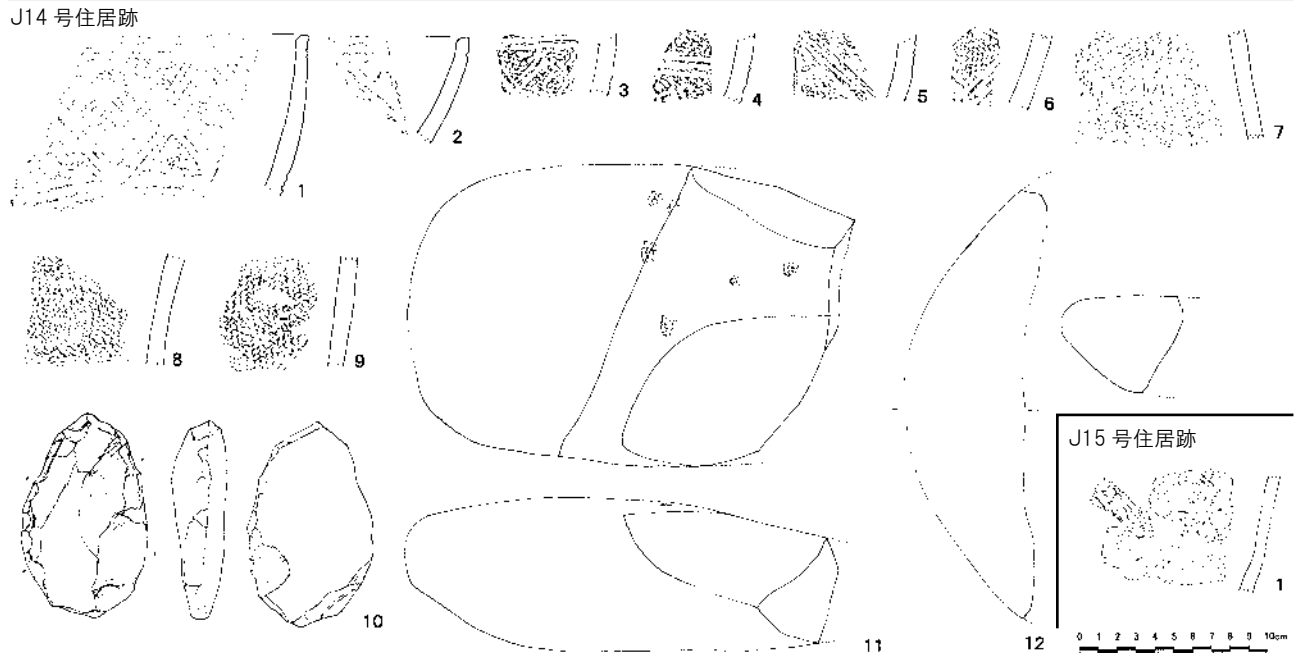
J12号住居跡



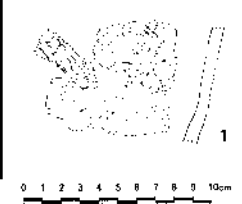
J13号住居跡



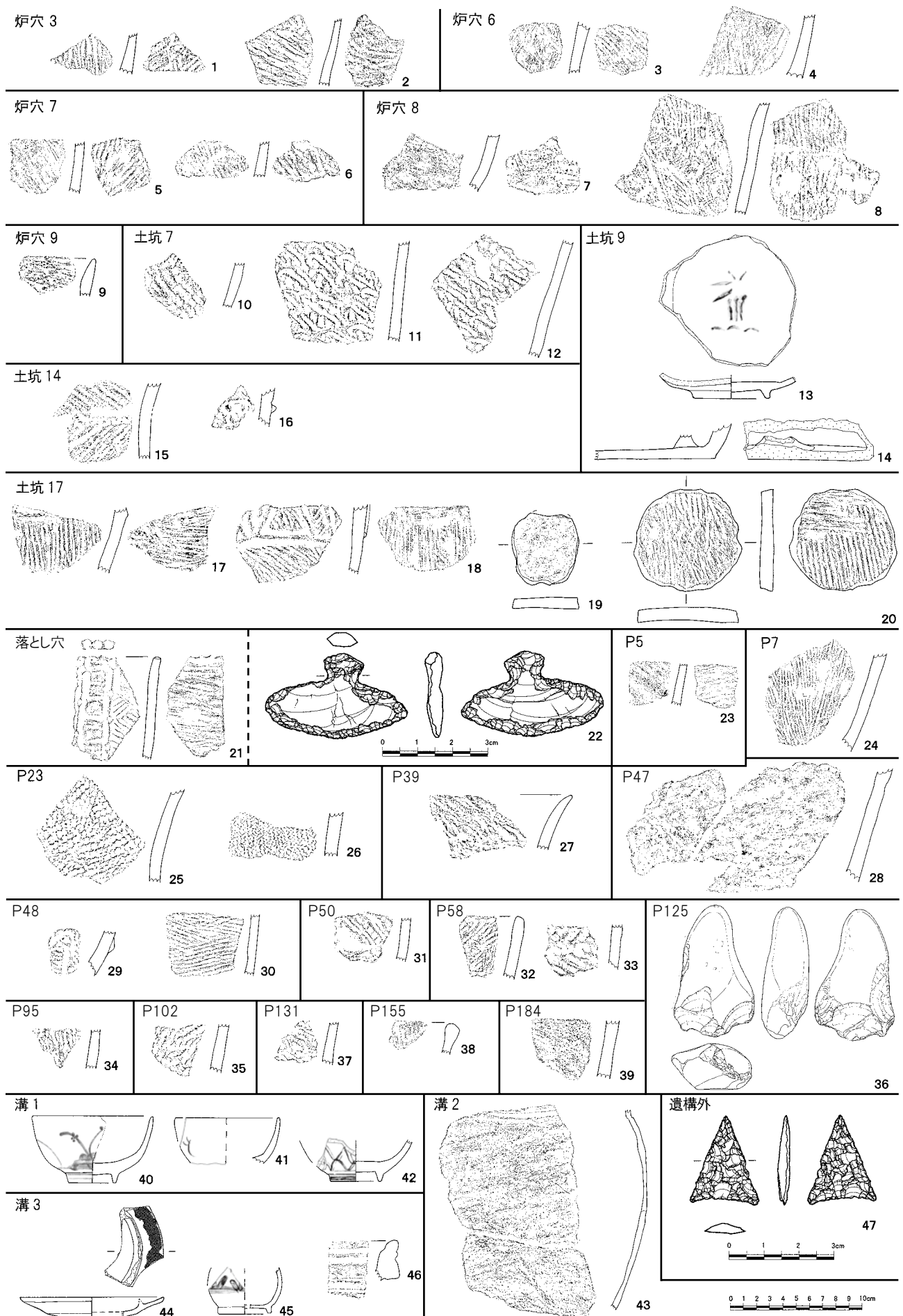
J14号住居跡



J15号住居跡



第54図 長宮遺跡第41地点 J12～J15号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)



第 55 図 長宮遺跡第 41 地点炉穴・土坑・落とし穴・ピット・溝・遺構外出土遺物 (1/4・2/3)

い。風化して細部がみえない。21・22は底部破片。
22はRLの単節を施文。

J13号住居出土遺物

1は前前段合撚を地文にして4単位の櫛歯状工具によりコンパス文と鋸歯文を施文。2は、口唇部に櫛歯によるコンパス文、組紐は0段による。3はRLの単節で末端のループ文をつけ4本単位のコンパス文を施文。

J14号住居出土遺物

1～6は、半裁竹管による鋸歯文を構成するものである。1・2は同一個体で、風化が著しい。RRRRの組紐を地文とする。半裁竹管を重ねて集合沈線で、口唇部直下と8cm下の横位の直線の間に鋸歯文を配置したもの。3・4は半裁竹管でカマボコ状の平行沈線を一条とする文様。地文は風化により不明。5は、半裁竹管による鋸歯文であるが、浅く施文している。地文は不明。6は地文組紐LLLLで半裁竹管をかさねて集合沈線としたもの。7は組紐LLLLを地文とし、櫛歯状工具でコンパス文を施文。8はくびれ部にコンパス文を施文し、撚り戻しの原体らしいが風化により不明。9は組紐LLRRである。

J15号住居出土遺物

出土遺物は非常に少ない。1は、正反の合による撚り戻しで、コンパス文がある。

炉穴出土遺物

炉穴出土の1～9はすべて早期条痕文系土器で、1～4は貝殻条痕文。4は底部近くで内面はなめらか。

雲母含む。7の表面は無文。

土坑出土遺物

10～12は土坑7出土。11・12は前期関山式で開端自条結節文。13・14は土坑9出土で、13は瀬戸・美濃の灰釉摺絵皿、18世紀中頃。14は近世ホウロクの底部破片。15・16は土坑14出土でともに前期関山式。15は正反の合による。17～20は土坑17出土。全て早期条痕文系で、18は細隆起線区画の鶺鴒ガ島台式。19・20は土製円盤。

落とし穴出土遺物

21は早期条痕文系で、文様区画の細隆起線に刺突をした鶺鴒ガ島台式。22は石匙。

ピット出土遺物

23・24は早期条痕文系土器。25は前々段合撚、26は組紐RRRR。27・28は前期土器で繊維含む。27は風化が激しく文様は不明。29は前期関山式。30は早期条痕文系。31は異条斜縄文、33は上LR下RLのループ羽状縄文。34は早期の貝殻背圧痕。35は0段4条のLR。36は打製石斧。37はRL単節縄文。38は早期撚糸文。39には石英含む。

溝出土遺物

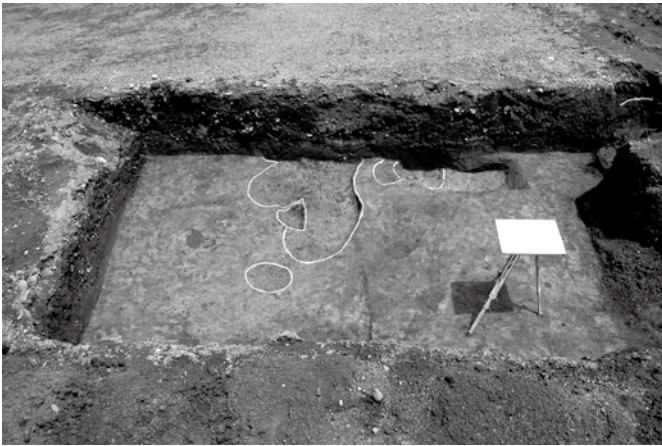
40～42は溝1出土でいずれも肥前染付碗、いわゆる「くらわんか手」18世紀。43は土師器甕破片。44～46は溝3出土。44は瀬戸・美濃の鉄釉灯明受皿、18世紀後半。45は肥前の染付徳利、19世紀。46は堺産の陶器搗鉢口縁破片。

第18表 長宮遺跡第41地点出土石器一覧表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別	長さ	刃部幅	厚さ	重量	技法 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
52	46	J10号住居	打製石斧	6.3	6.0	3.2	192.0g	敲打 / No. 84	凝灰岩	縄文時代	基部欠
52	47	J10号住居	磨石・敲石	5.2	7.2	4.5	169.4g	敲打 / No. 15	凝灰岩	縄文時代	1/2以下
52	48	J10号住居	磨石	9.8	6.9	1.8	196.9g	No. 72	凝灰岩	縄文時代	完形
53	35	J11号住居	打製石斧	8.9	3.3	1.1	38.3g	両極敲打技法 / No. 8	頁岩	縄文時代	基部欠
53	36	J11号住居	打製石斧	11.1	6.0	2.6	306.5g	両極敲打技法 / No. 182	砂岩	縄文時代	完形
54	23	J12号住居	打製石斧	5.8	5.9	1.8	84.3g	両極敲打技法 / No. 47	ホルンフェルス	縄文時代	基部欠
54	24	J12号住居	剥片	4.8	3.6	0.9	19.3g	縦長剥片の側辺を不規則に剥離 / No. 36	チャート	縄文時代	破折
54	4	J13号住居	磨石・敲石	10.6	5.5	5.3	458.8g	敲打 / No. 1	閃緑岩	縄文時代	完形
54	5	J13号住居	敲石	4.8	6.0	2.4	87.2g	敲打 / No. 7	砂岩	縄文時代	1/2
54	6	J13号住居	石鏃	2.9	1.4	0.2	0.4g	押圧剥離技法 / No. 13	頁岩	縄文時代	基部欠
54	10	J14号住居	打製石斧	10.6	6.7	3.0	187.1g	両極敲打技法 / No. 10	片岩	縄文時代	完形
54	11	J14号住居	台石	15.9	22.6	8.0	3,900g	No. 35+34	砂岩	縄文時代	一部欠
54	12	J14号住居	台石	27.7	6.4	5.1	766.9g	No. 12	閃緑岩	縄文時代	一部のみ
55	22	落とし穴	石匙	2.4	4.0	0.4	3.4g	押圧剥離技法	チャート	縄文時代	完形
55	36	P125	敲石	10.0	6.0	3.5	263.0g	敲打	凝灰岩	縄文時代	完形
55	47	遺構外	石鏃	3.5	1.9	0.3	1.2g	押圧剥離技法	チャート	縄文時代	完形



トレンチ 2 中央部 (南から)



トレンチ 3・4 中央部 (南から)



トレンチ 7 南側 (北から)



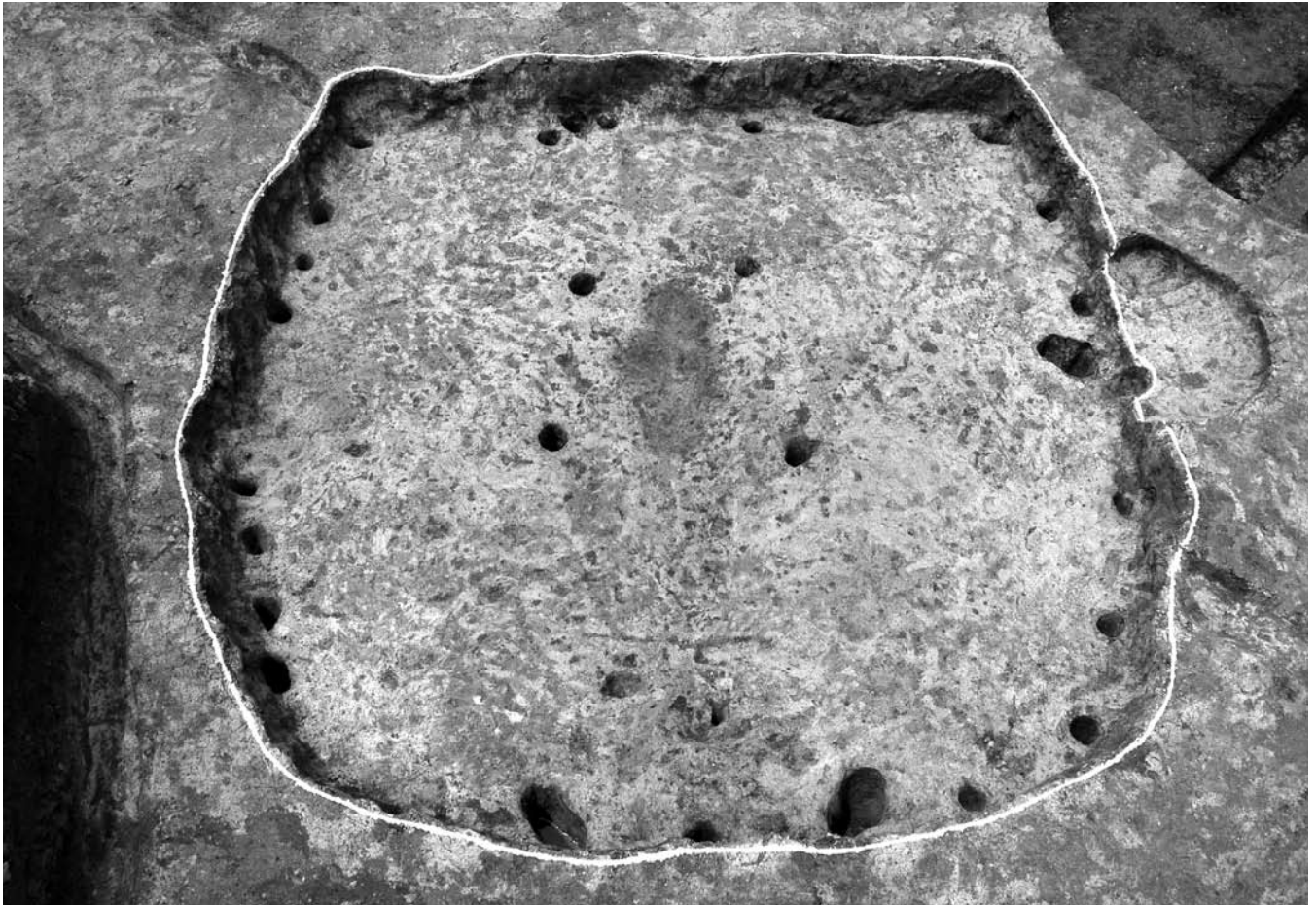
J10～13 号住居跡 (南から)



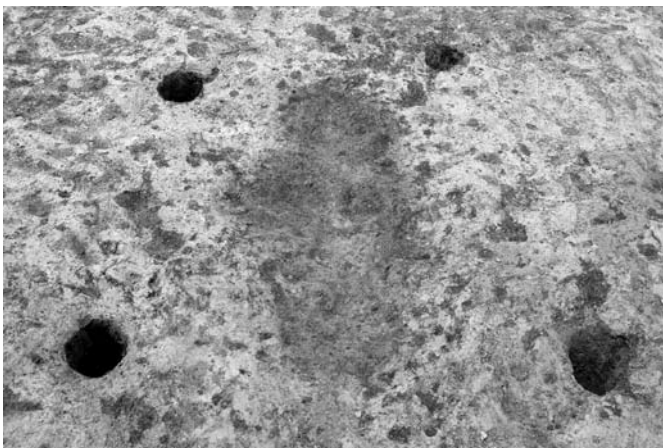
土坑・ピット群（北から）



J14・15号住居跡（南から）



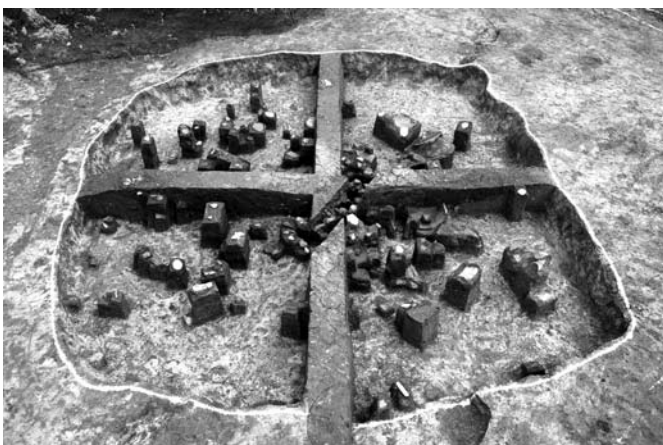
J10 号住居跡 全景 (東から)



J10 号住居跡 炉



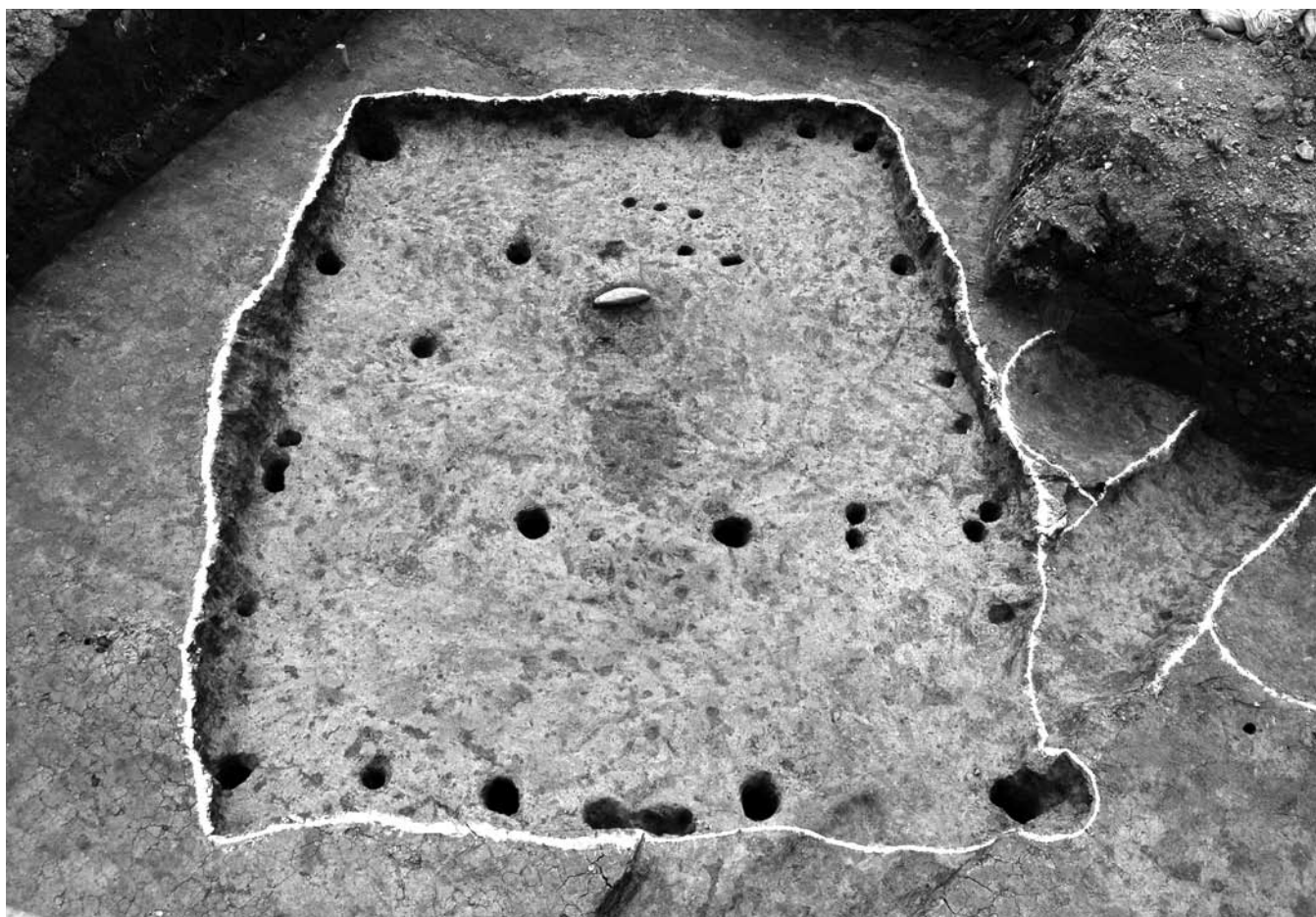
J10 号住居跡 遺物出土状況



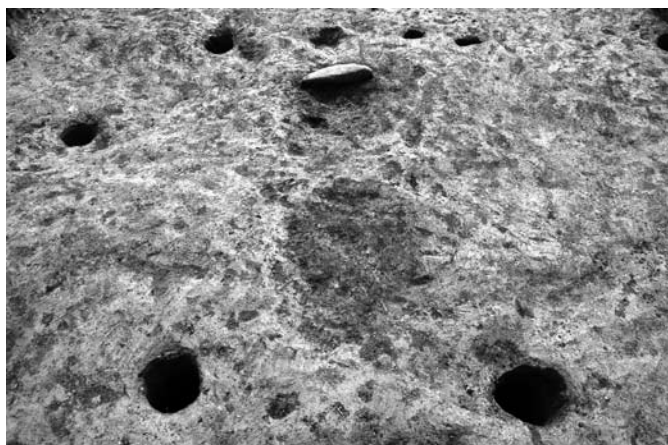
J10 号住居跡 遺物出土状況



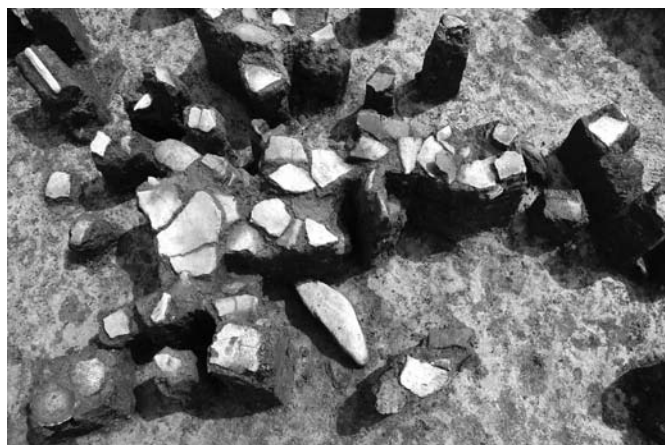
J10 号住居跡 ピット完掘



J11 号住居跡 全景 (東から)



J11 号住居跡 炉



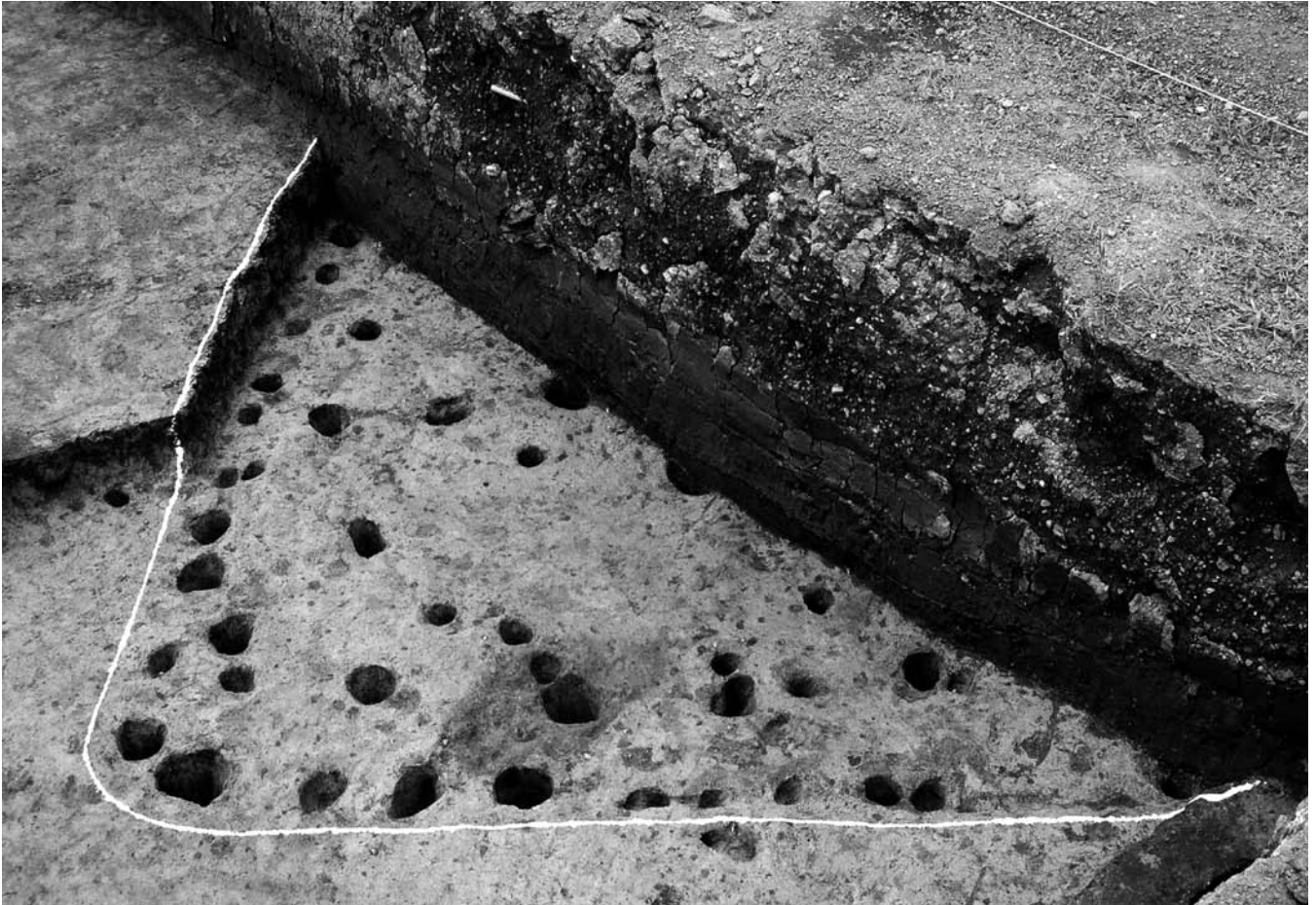
J11 号住居跡 遺物出土状況



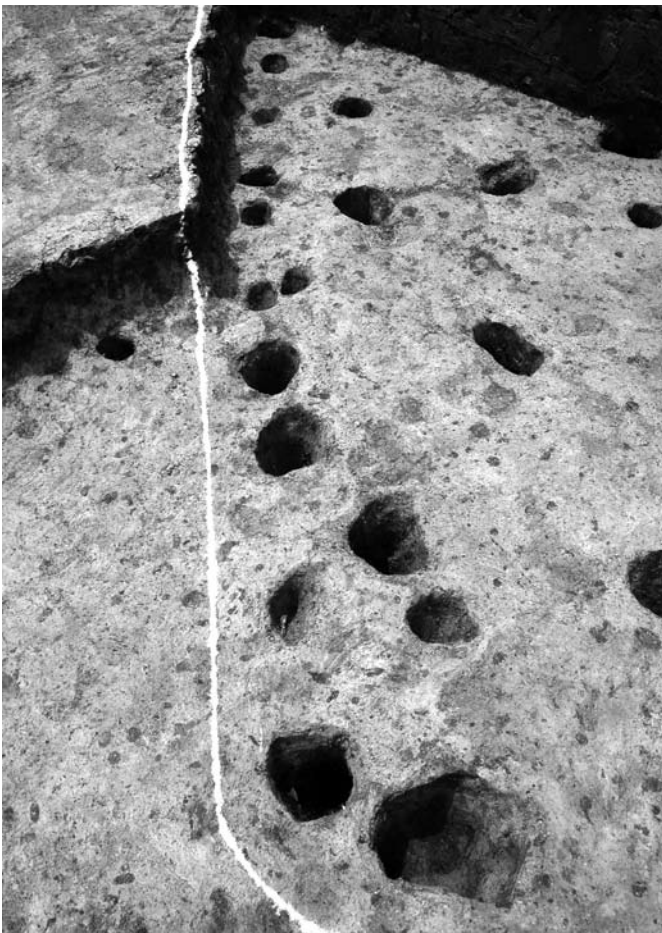
J11 号住居跡 遺物出土状況



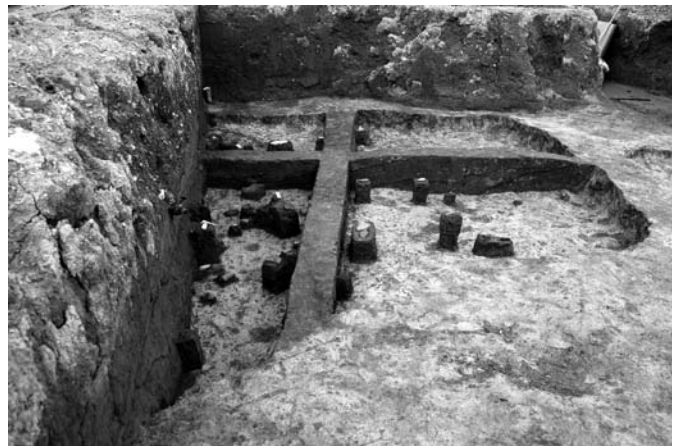
J11 号住居跡ピット 32



J12 号住居跡 全景 (東から)



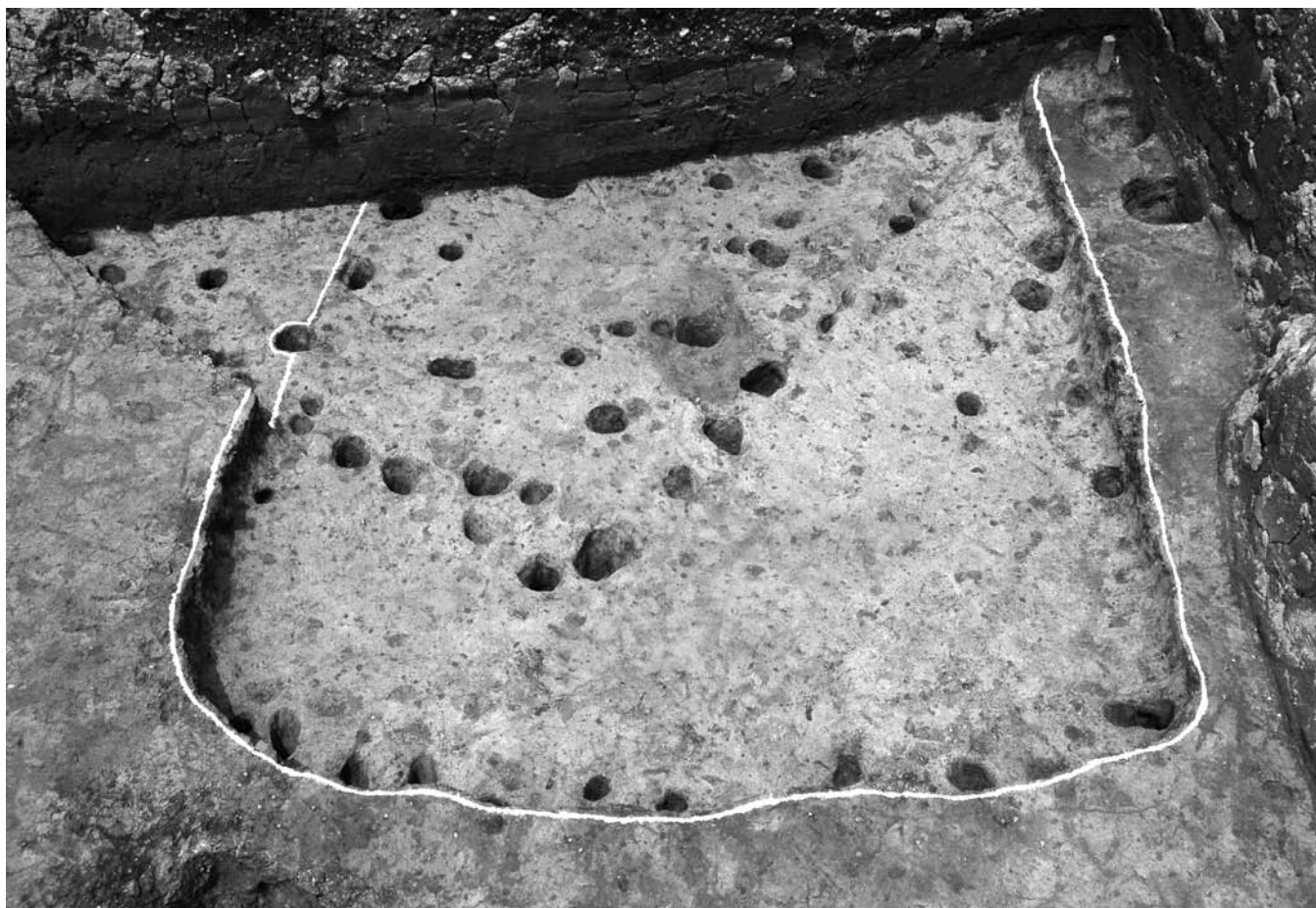
J12 号住居跡ピット 完掘



J12 号住居跡 遺物出土状況



J12 号住居跡 調査風景



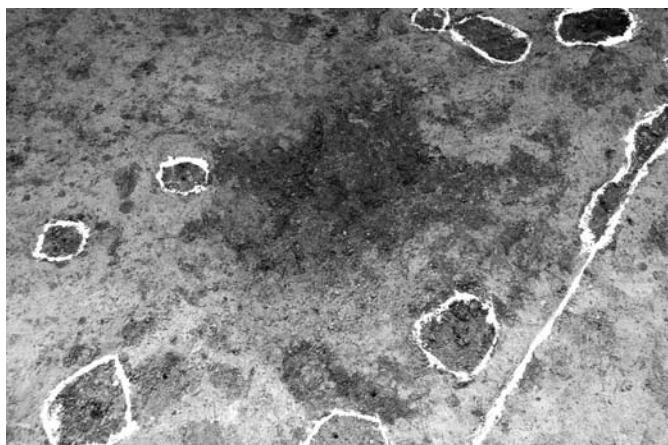
J13 号住居跡 全景 (東から)



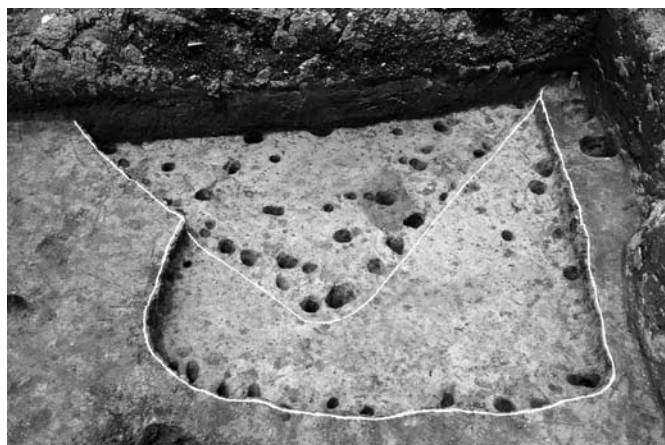
J13 号住居跡 遺物出土状況



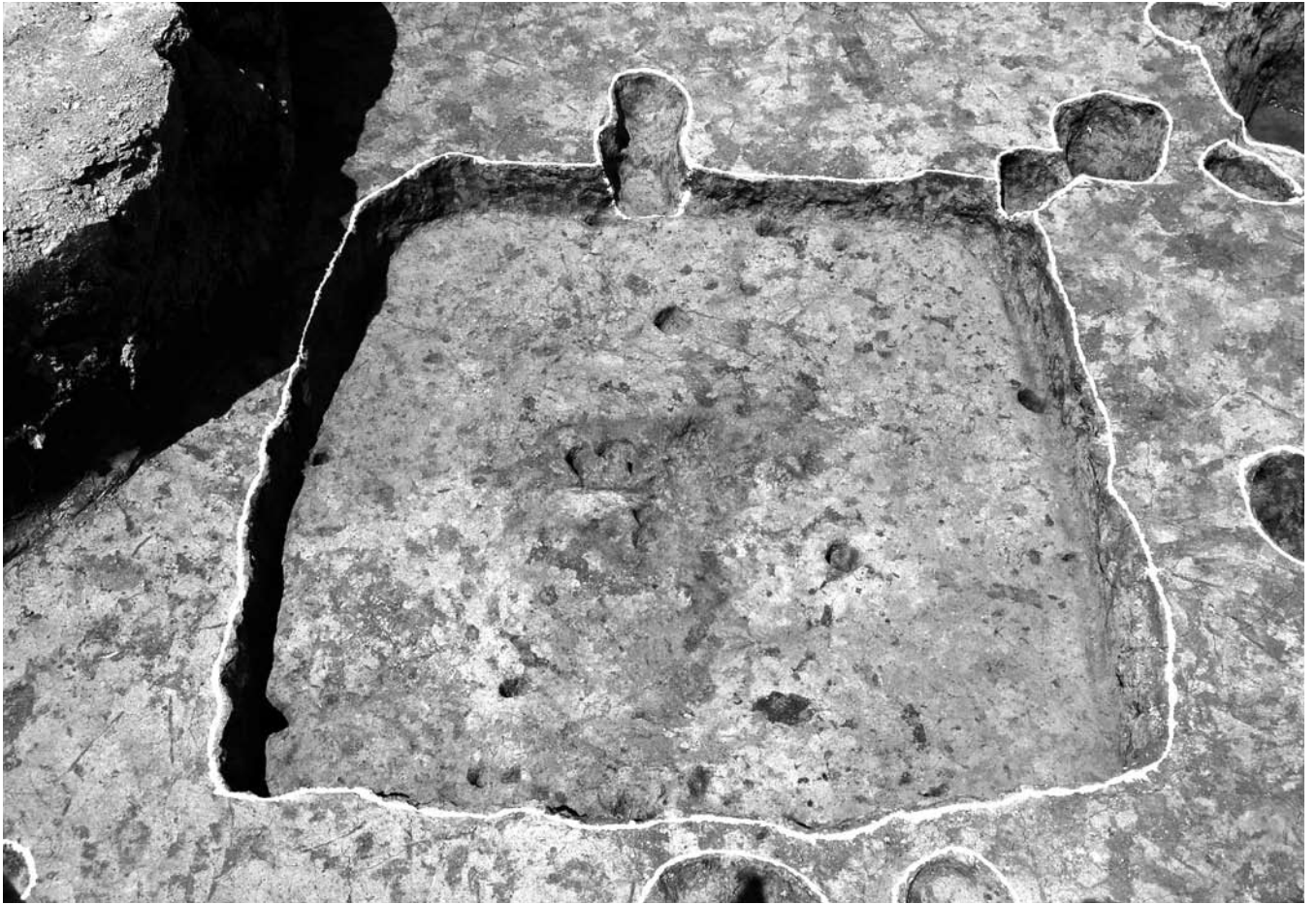
J13 号住居跡 遺物出土状況



J13 号住居跡 炉



J12・13 号住居跡 全景



J14 号住居跡 全景 (南から)



J14 号住居跡 遺物出土状況



J14 号住居跡 炉



J14 号住居跡 遺物出土状況



J14 号住居跡 全景



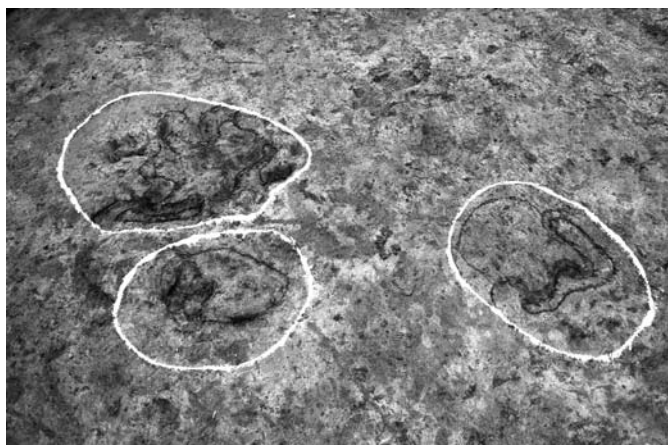
J15 号住居跡 全景 (東から)



溝 1・3・4



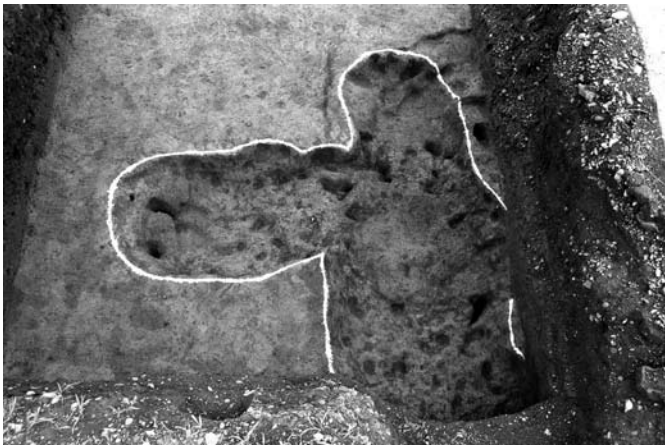
溝 2



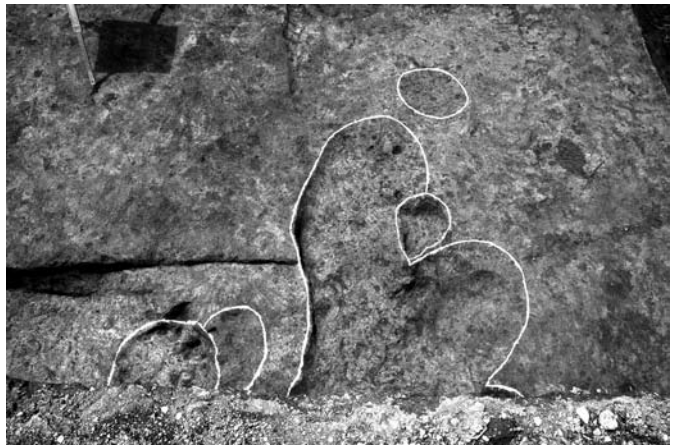
焼土面 1～3



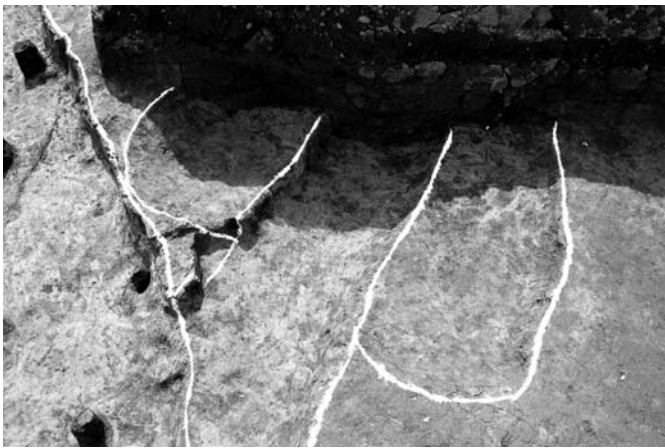
焼土面 4



炉穴 1 ~ 4



炉穴 5 ~ 8



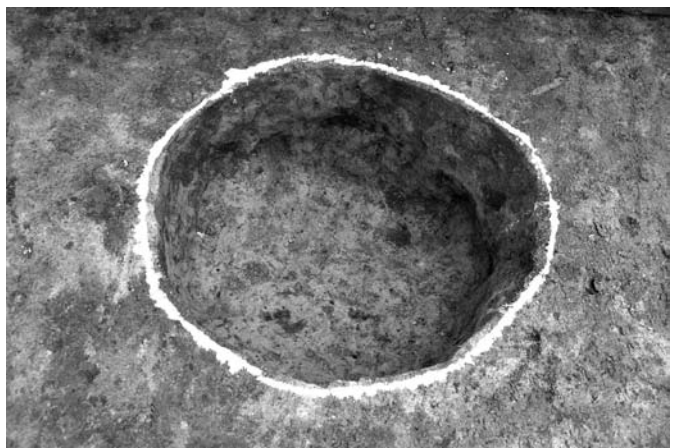
炉穴 9・10



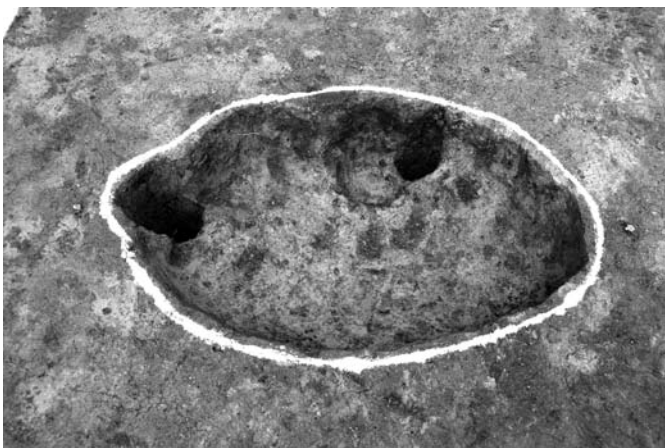
落とし穴 1



落とし穴 2



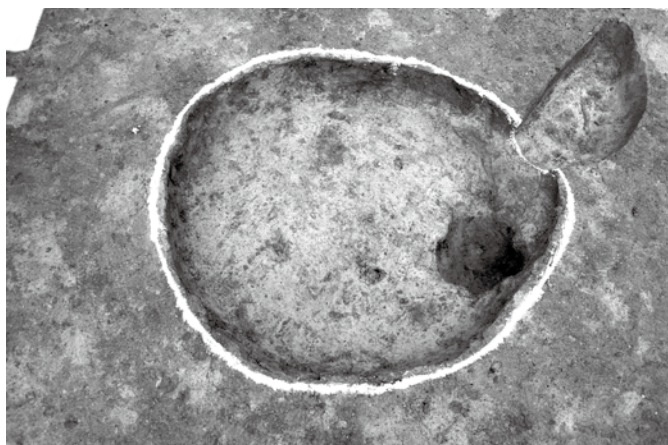
土坑 1



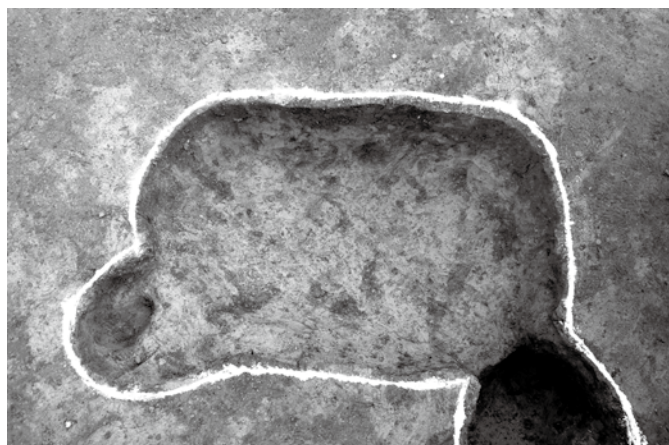
土坑 2



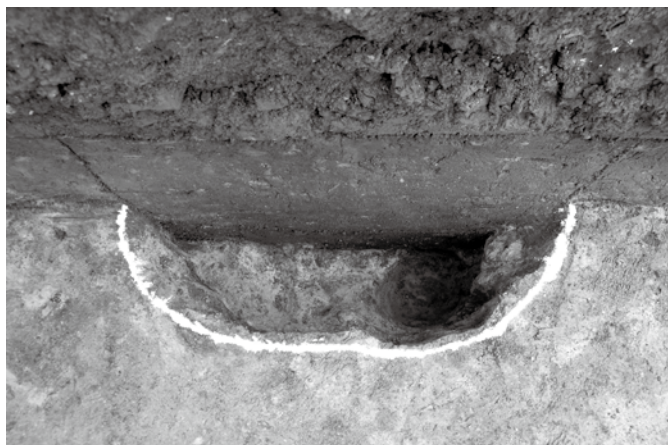
土坑 3・4



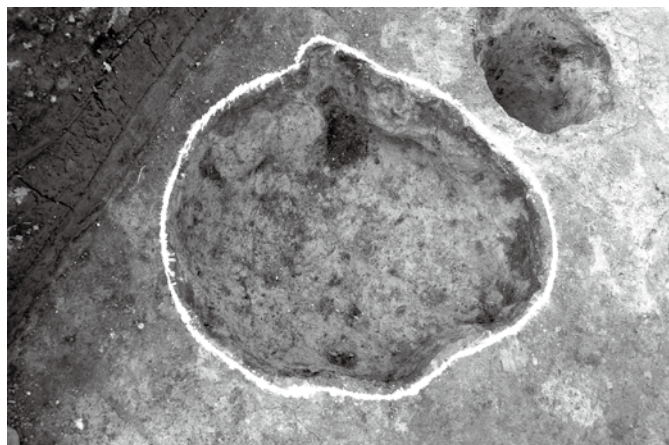
土坑 5



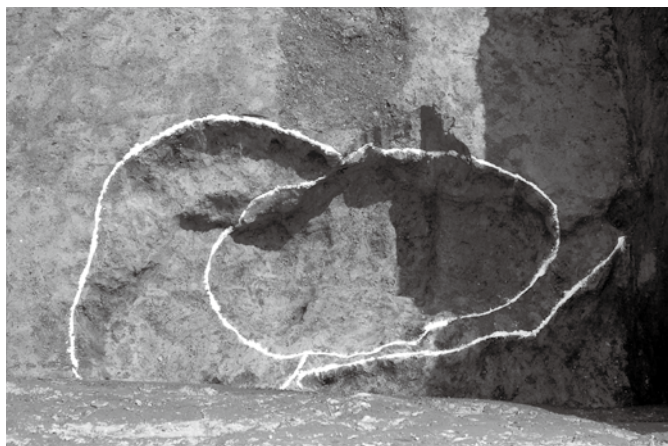
土坑 6



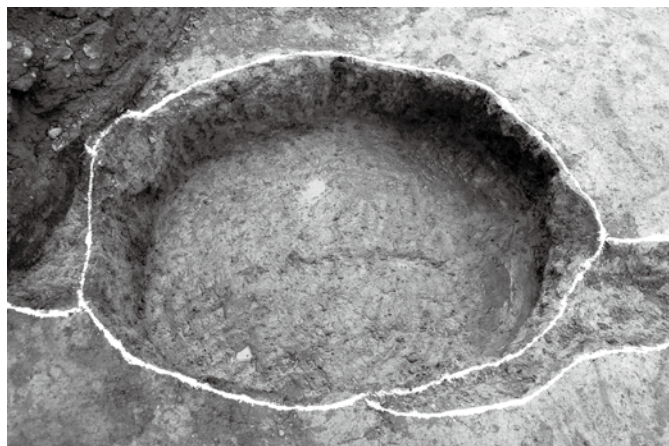
土坑 7



土坑 8



土坑 10 ~ 12



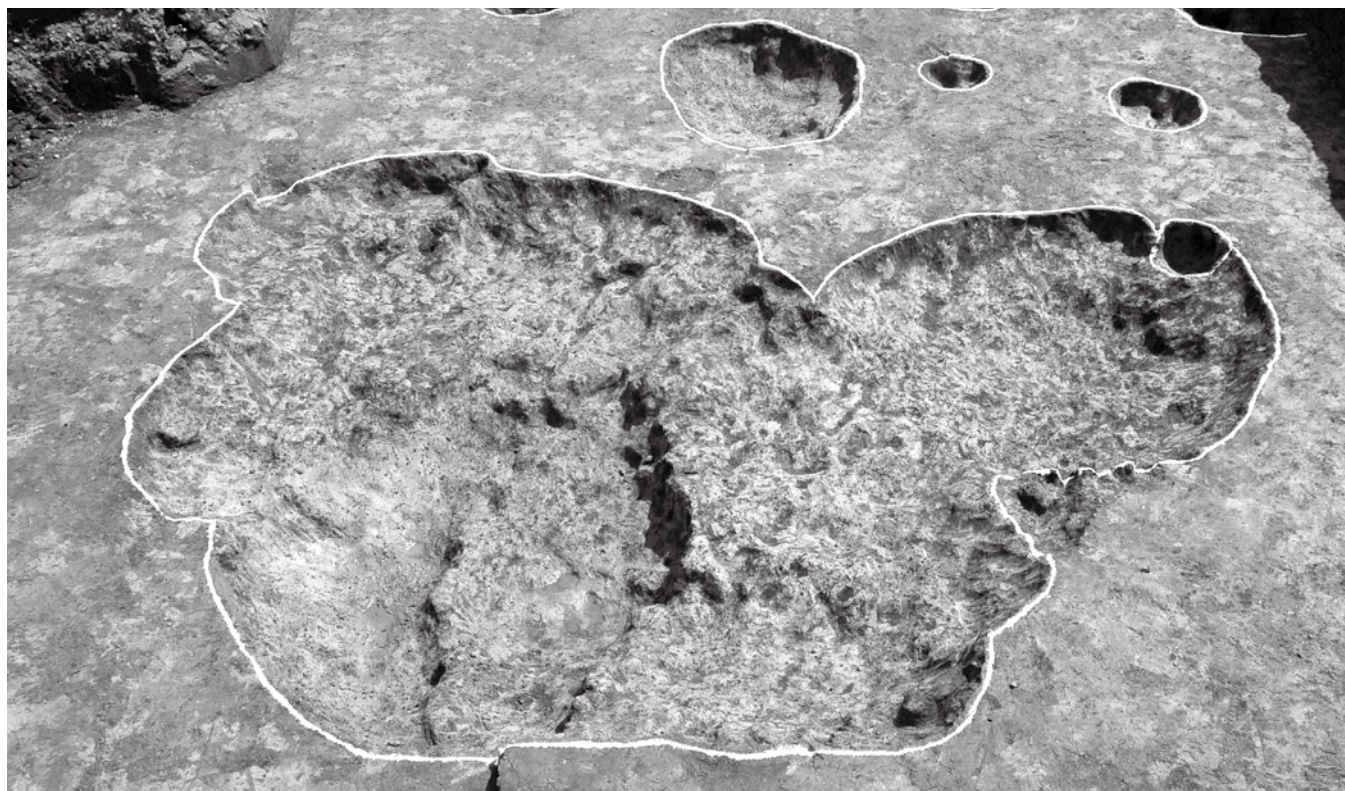
土坑 14



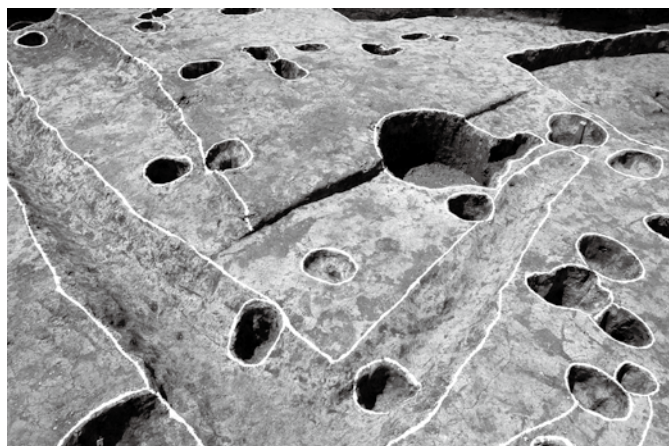
土坑 27



トレンチ 1 土坑 6・8、ピット群



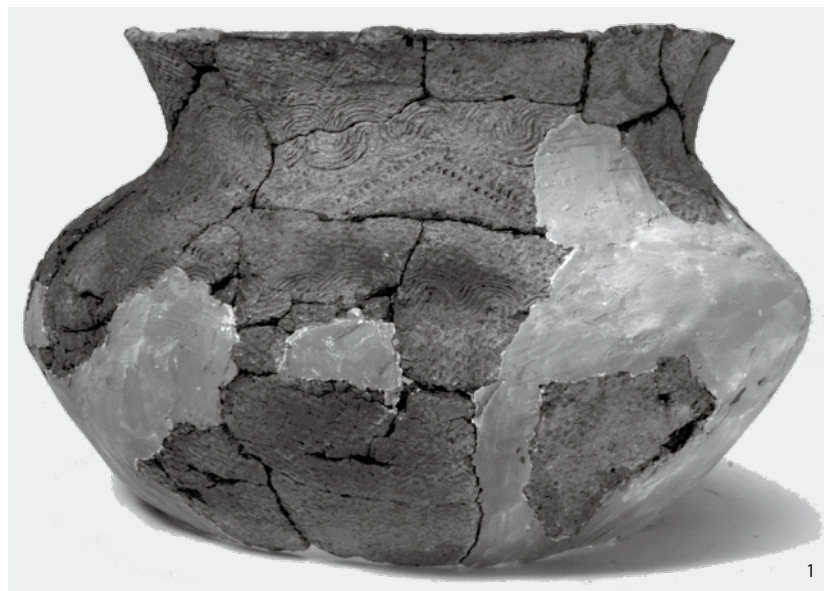
土坑 16 ~ 22、25・26



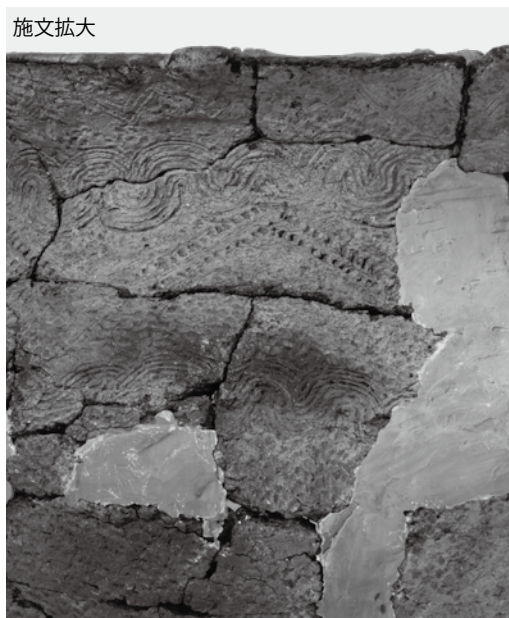
ピット群



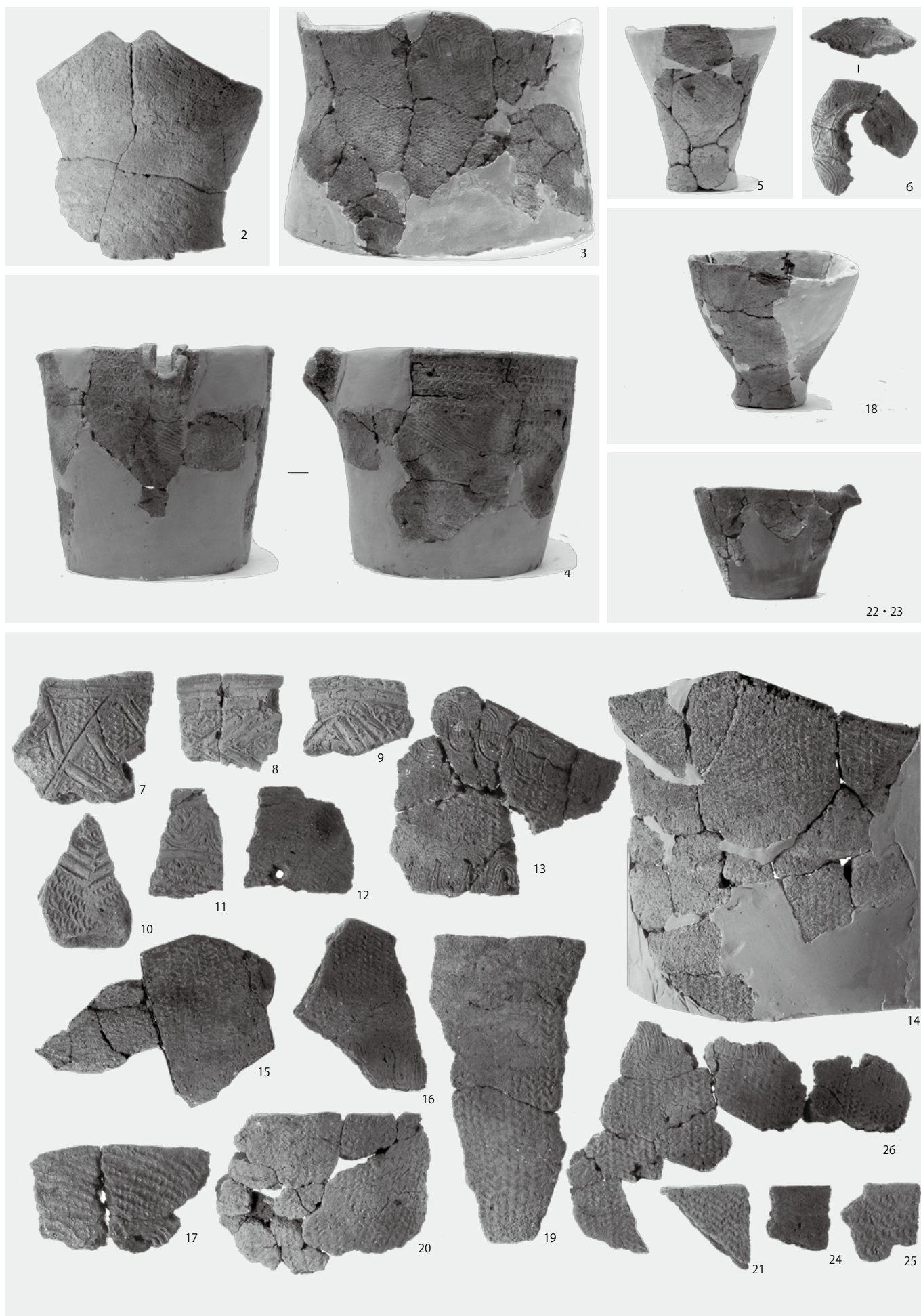
調査風景

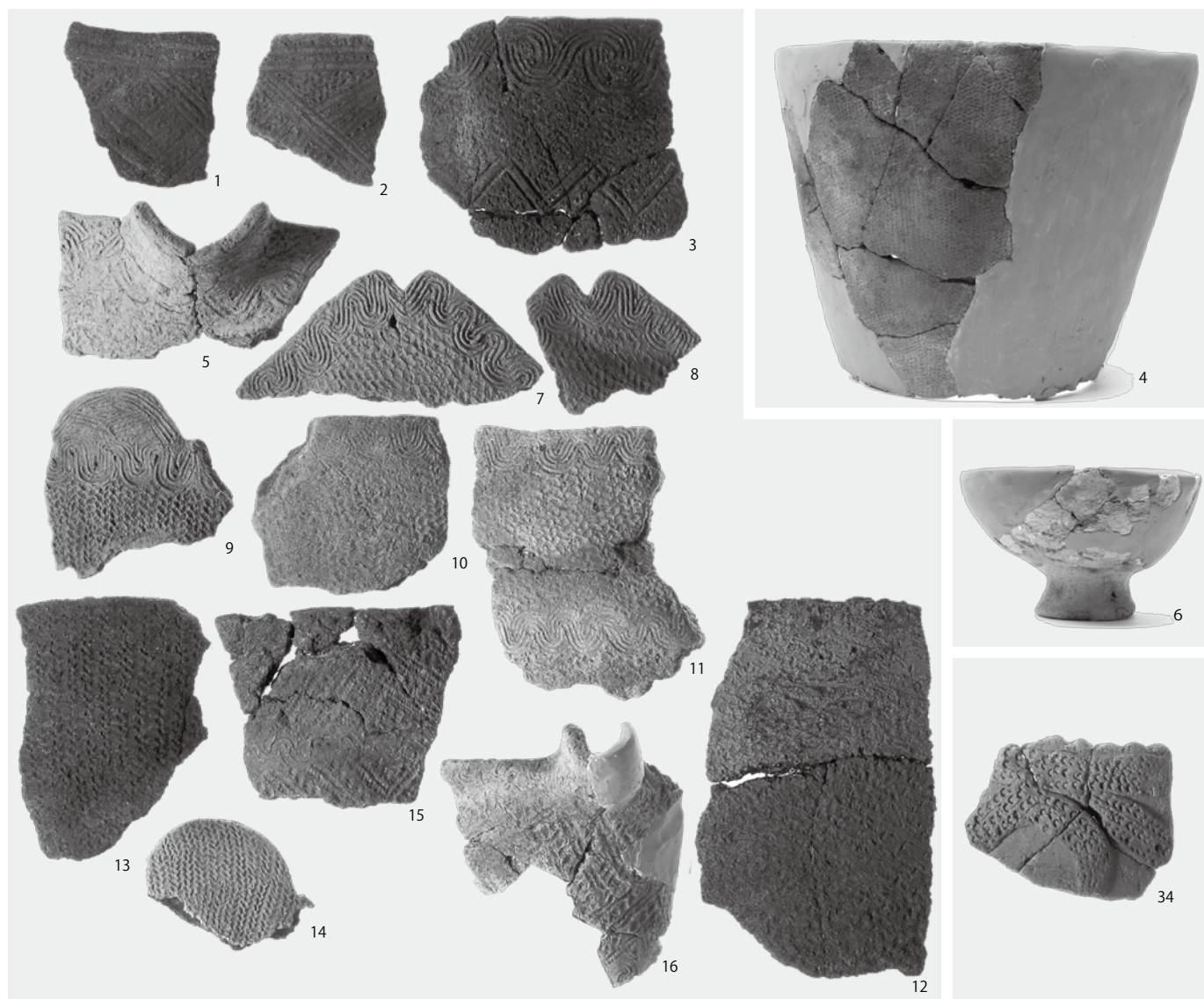


J10 号住居跡出土遺物 No.1

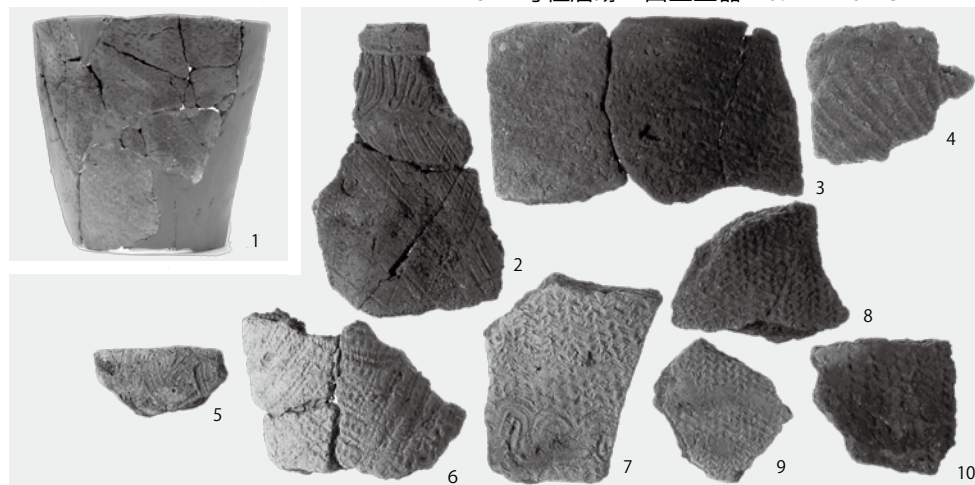


施文拡大

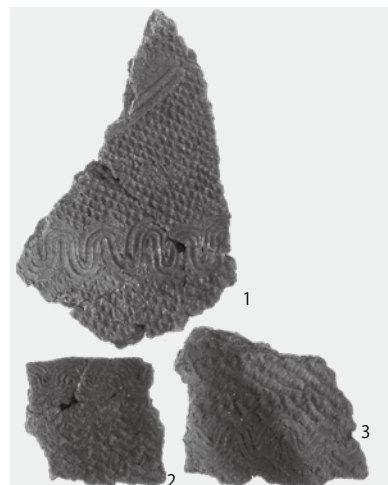




J11 号住居跡 出土土器 No.1 ~ 16・34



J12 号住居跡 出土遺物 No.1 ~ 10



J13 号住居跡 出土遺物 No.1 ~ 3



J14 号住居跡 出土遺物 No.1 ~ 9



J15 号住居跡
出土遺物 No.1